

令和7年度 脇ノ山公民館新築工事

特記仕様書		構 造 図		機械設備図	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
AT - 01	特記仕様書(建築工事編)(1)	S - 01	構造設計特記仕様書(1)	M - 01	特記仕様書(1)
AT - 02	特記仕様書(建築工事編)(2)	S - 02	構造設計特記仕様書(2)	M - 02	特記仕様書(2)
AT - 03	特記仕様書(建築工事編)(3)	S - 03	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	M - 03	特記仕様書(3)
AT - 04	特記仕様書(建築工事編)(4)	S - 04	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	M - 04	配置図
AT - 05	特記仕様書(建築工事編)(5)	S - 05	基礎伏図	M - 05	衛生平面詳細図
AT - 06	特記仕様書(建築工事編)(6)	S - 06	基礎部材断面リスト	M - 06	合併浄化槽図
AT - 07	特記仕様書(建築工事編)(7)	S - 07	壁・壁梁伏図	M - 07	空調・換気機器リスト
AT - 08	特記仕様書(建築工事編)(8)	S - 08	軸組図(1)	M - 08	空調・換気平面図
AT - 09	特記仕様書(建築工事編)(9)	S - 09	軸組図(2)		
AT - 10	特記仕様書(建築工事編)(10)	S - 10	部材断面リスト		
AT - 11	特記仕様書(建築工事編)(11)	S - 11	壁配筋詳細図		
AK - 01	仮設詳細図	S - 12	架構配筋詳細図(1)		
		S - 13	架構配筋詳細図(2)		
意 匠 図		電気設備図			
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称		
A - 01	付近見取図	E - 01	特記仕様書		
A - 02	配置図	E - 02	機材指定表		
A - 03	面積表, 排煙・採光・換気計算	E - 03	配置図(改修前)		
A - 04	平面図・仕上表	E - 04	配置図(改修後)		
A - 05	屋根伏図, 天井伏図	E - 05	盤結線図		
A - 06	断面図, 立面図	E - 06	照明器具姿図		
A - 07	矩計図・断面詳細図	E - 07	電灯設備図		
A - 08	平面詳細図	E - 08	コンセント設備図		
A - 09	展開図(1)	E - 09	弱電設備図		
A - 10	展開図(2)	E - 10	非常照明・誘導灯・非常警報設備図		
A - 11	建具表(1)				
A - 12	建具表(2)				
A - 13	家具詳細図(1)				
A - 14	外構図				
A - 15	カーポート詳細図				

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778		高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 表紙・図面リスト		縮 尺 1 / -	年 月 日 R7. 05	図 面 No. A — 00	意匠担当	構造担当	

	<div><div><div><div><div><div>杭先端部形状</div><div>(4.3.3)</div></div><div><div>・開放形</div><div>・半開放形</div><div>・閉そく形</div><div>・</div></div></div><div><div>・セメントミルク工法</div><div>(4.2.2)(4.3.1)(4.3.4)</div></div><div><div>試験杭</div><div>試験杭の位置</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>掘削深さ</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の支持層への根入れ深さ</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の精度</div><div>水平方向の位置ずれ</div><div>・杭径の1/4かつ100mm以下</div><div>・</div></div><div><div>杭の傾斜</div><div>・1/100以内</div><div>・</div></div></div><div><div>・特定埋込杭工法</div><div>(4.2.2)(4.3.1)(4.3.5)</div></div><div><div>・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で$\alpha=250$を採用できる工法</div><div>・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法</div><div>$\alpha=()$、$\beta=()$、$\gamma=()$</div></div><div><div>工法</div><div>・プレボーリング拡大根固め工法</div><div>・中堀り拡大根固め工法</div><div>・</div></div><div><div>杭周固定液</div><div>・使用する</div><div>・使用しない</div></div><div><div>試験杭</div><div>試験杭の位置</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の支持層への根入れ深さ</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の精度</div><div>水平方向の位置ずれ</div><div>※杭径の1/4かつ100mm以下</div><div>・</div></div><div><div>杭の傾斜</div><div>※1/100以内</div><div>・</div></div></div><div><div>杭の継手の工法</div><div>(4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)</div></div><div><div>・アーク溶接継手</div><div>溶接材料</div><div>・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による</div><div>・</div></div><div><div>・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)</div><div>工法</div><div>※評定等を受けた工法</div><div>検査</div><div>※評定等により定められた項目</div><div>施工</div><div>※評定等をされた施工管理基準による</div></div><div><div>杭頭の処理等</div><div>(4.3.8)</div></div><div><div>・処理しない</div><div>・処理する</div><div>処理方法(切断にともなう補強方法含む)</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭頭の中詰め材料</div><div>(4.3.8)</div></div><div><div>・基礎のコンクリートと同調合のもの</div><div>・</div></div><div><div>材料、寸法、継手等</div><div>(4.2.2)(4.43)(4.4.5)</div></div><table><tr><td></td><td>種類</td><td>厚さ (mm)</td><td>杭径 (mm)</td><td>杭長 (m)</td><td>継手数</td><td>セツト数</td><td>長期設計支持力 (kN/本)</td><td>備 考</td></tr><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本 杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table><div><div>杭先端部形状</div><div>・開放形</div><div>・半開放形</div><div>・閉塞形</div><div>・</div></div><div><div>先端部の補強</div><div>・標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による</div><div>・</div></div><div><div>先端部の補強(補強バンドなど)及びその他付属品の材質</div><div>・SS400と同等またはそれ以上</div><div>・</div></div></div>		種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考	試験杭	上杭								中杭								下杭								本 杭	上杭								中杭								下杭							
	種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考																																																				
試験杭	上杭																																																											
	中杭																																																											
	下杭																																																											
本 杭	上杭																																																											
	中杭																																																											
	下杭																																																											

・特定埋込杭工法

(4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法

$\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$

工法

・中堀り拡大根固め工法

・

試験杭

試験杭の位置

・図示による()

・

杭の精度

水平方向の位置ずれ

※杭径の1/4かつ100mm以下

・

杭の傾斜

※1/100以内

・

杭の継手の工法

(4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)

・溶接継手

形状

・JIS A 5525による

・

溶接材料

・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による

・

・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)

工法

※評定等を受けた工法

検査

※評定等により定められた項目

施工

※評定等をされた施工管理基準による

杭頭の処理等

(4.3.8)(4.4.6)

・処理しない

・処理する

処理方法(切断にともなう補強方法含む)

・図示による()

・

杭頭の中詰め材料

(4.3.8)

・基礎のコンクリートと同調合のもの

・

工法

(4.5.1)(4.5.5)

・アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・使用しない)

・リバース工法

・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない)

併用する工法

(4.5.1)(4.5.6)

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

鋼管の種類

・SKK400

・SKK490

・

・拡底杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない)

・

寸法等

(4.2.2)

試験杭

(4.5.5)

試験杭の位置

・図示による()

・

孔壁の保持状況(孔壁測定)

(4.5.5)

測定箇所

・試験杭()箇所及び本杭()箇所

・

杭の支持層への根入れ深さ

・図示による()

・

杭の精度

水平方向の位置ずれ

※杭径の1/4かつ100mm以下

・

杭の傾斜

※1/100以内

・

鉄筋の種類

(4.5.4)

帯筋

(4.5.4)

・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)6.2帯筋(b)(3)Ⓔ(ロ))

・

鉄筋の最小かぶり厚さ

(4.5.4)

・100mm

・

鉄筋かごの補強

(4.5.4)

・図示による()

・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リング を3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する

組み立てた鉄筋の節ごとの継手

(4.5.4)(5.3.4)

※重ね継手

重ね継手の長さ

・図示による()

・

主筋の基礎底盤への定着長さ

(4.5.4)(5.3.4)

・図示による()

・

セメントの種類

(4.5.4)

※高炉セメントB種G

・

コンクリートの設計基準強度

(4.5.4)

・図示による()

・

コンクリートの種別

(4.5.4)

・A種

・B種

・評定等の内容による

スランブ

(4.5.4)

※18cm

・

構造体強度補正值

(4.5.4)

※ $3\text{N}/\text{mm}^2$

・図示による()

・評定等の内容による

材料

(4.6.2)

・再生クラッシュランG

・切込砂利又は切込碎石

砂利厚さ

(4.6.3)

※60mm

・

施工範囲

(4.6.3)

・基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下

・図示による()

厚さ

(4.6.4)

※50mm

・

施工範囲

(4.6.4)(6.14.1)

・基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下

・図示による()

設計基準強度

(4.6.4)(6.14.1)

※ $18\text{N}/\text{mm}^2$

・

スランブ

(4.6.4)(6.14.1)

※15cm又は18cm

・

材 料

(4.6.2、5)

※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

施工範囲

・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ビット下を除く)

・図示

種類及び施工方法等

・図示による()

・

六価クロム溶出試験

※現場説明書による

・

・砂利地業

○捨コンクリート地業

○床下防湿層

・地盤改良工法

特記仕様書(建築工事編)(2)

令和4年度版

高知県土木部建築課

令和7年度 脇ノ山公民館新築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント

高知県南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779

高知県知事登録119号 管理建築士 2025/05

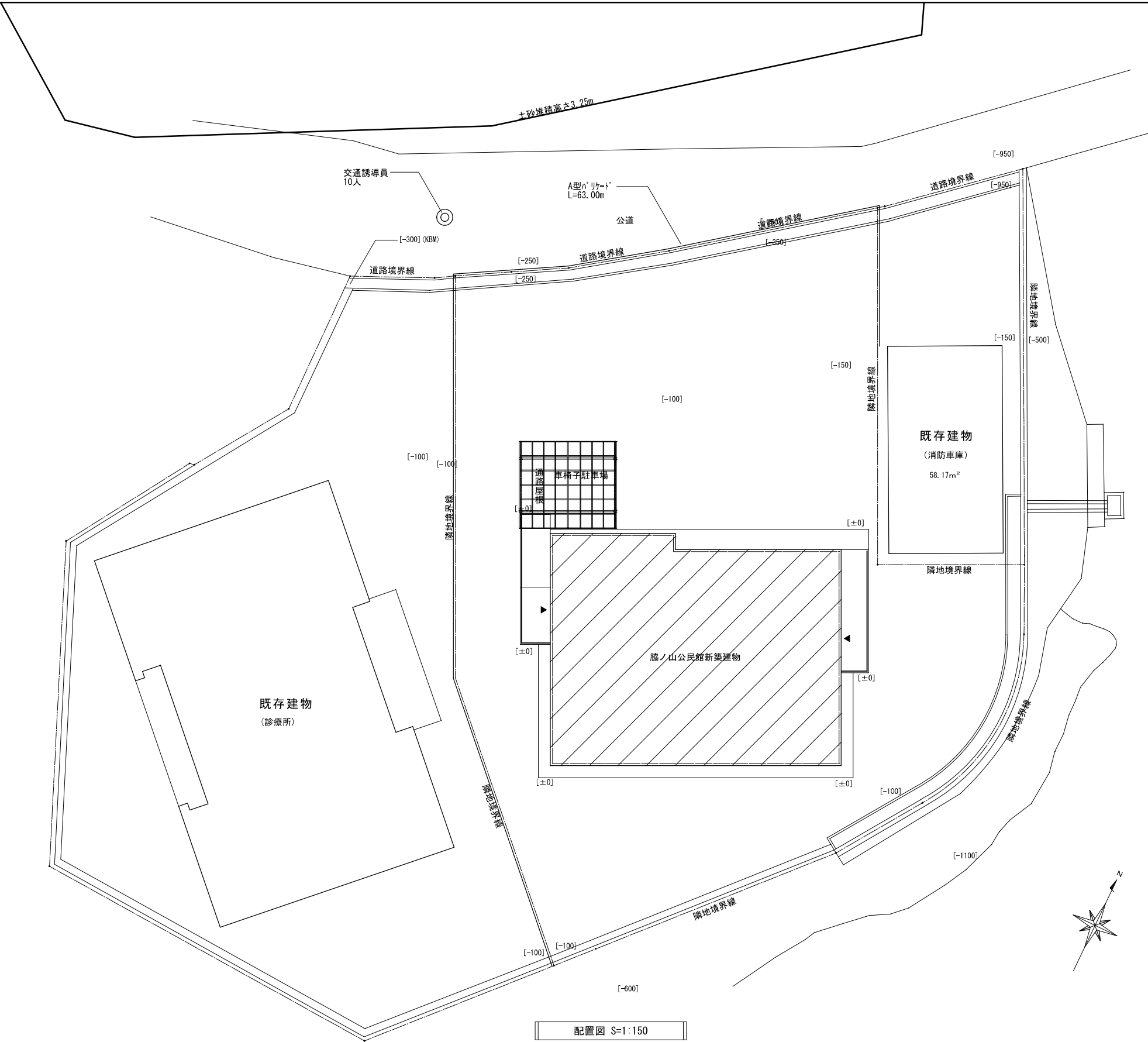
代表取締役 一級建築士登録第203207号 AT-02

福 家 正 義 村 田 憲 明 令和5年7月改正

5 鉄 筋 工 事	○鉄筋	<table><tr><td colspan="3">鉄筋の種類等 (5.2.1)</td></tr><tr><td>種類の記号</td><td>呼び径 (mm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>○SD295</td><td>※D16以下</td><td>JIS規格品</td></tr><tr><td>○SD345</td><td>※D19以上</td><td>JIS規格品</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	鉄筋の種類等 (5.2.1)			種類の記号	呼び径 (mm)	備 考	○SD295	※D16以下	JIS規格品	○SD345	※D19以上	JIS規格品	・			・			○溶接金網	<table><tr><td colspan="4">鉄線の形状等 (5.2.2)</td></tr><tr><td>種 類</td><td>種類の記号</td><td>網目寸法、鉄線の径 (mm)</td><td>使用部位</td></tr><tr><td>・溶接金網</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	鉄線の形状等 (5.2.2)				種 類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				○鉄筋の継手及び定着	<table><tr><td colspan="3">鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3)</td></tr><tr><td>部 位</td><td>継手の方法</td><td>呼び径 (mm)</td></tr><tr><td>柱及び梁主筋</td><td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td><td>※D19以上</td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>※重ね継手</td><td></td></tr><tr><td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td><td>・重ね継手 ・ガス圧接</td><td></td></tr><tr><td>上記以外 ()</td><td>※重ね継手</td><td></td></tr></table> <div>継手位置</div> <div>・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による</div> <div>○図示 構造図参照</div> <div>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</div> <div>・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (2) による</div> <div>・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (3) による</div> <div>○図示 構造図参照</div> <div>鉄筋の定着長さ (5.3.4)</div> <div>・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による</div> <div>○図示 構造図参照</div>	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3)			部 位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接		上記以外 ()	※重ね継手		○鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	<div>最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う)</div> <div>・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による</div> <div>○図示 構造図参照</div> <div>柱及び梁の主筋にD29以上の使用</div> <div>・あり 適用箇所 ()</div> <div>主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する</div> <div>耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等)</div> <div>・適用箇所 ()</div> <div>・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm</div> <div>・ ()</div>	○各部配筋	<div>各部配筋 (5.3.7)</div> <div>・構造関係共通図 (配筋標準図) による</div> <div>○図示 構造図参照</div> <div>・ ()</div>	○圧接完了後の試験	<div>外観試験 (5.4.10) (5.4.11)</div> <div>☒行う (全数)</div> <div>抜取試験</div> <div>※超音波探傷試験</div> <div>試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。</div> <div>試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。</div> <div>・引張試験</div> <div>試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする</div> <div>試験の箇所数：1ロットに対して (※3本 ・) とする</div>	・機械式継手	<div>適用箇所 (5.5.2)</div> <div>・図示による () ・</div> <div>H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)</div> <div>・A級 ・</div> <div>機械式継手の種類 (5.5.2)</div> <div>・図示による () ・</div> <div>鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.2)</div> <div>・図示による () ・</div> <div>施工完了後の継手部の試験 (5.5.2)</div> <div>・図示による ()</div> <div>不合格となった継手部への措置 (5.5.2)</div> <div>・図示による ()</div>
	鉄筋の種類等 (5.2.1)																																																																	
	種類の記号	呼び径 (mm)	備 考																																																															
	○SD295	※D16以下	JIS規格品																																																															
	○SD345	※D19以上	JIS規格品																																																															
	・																																																																	
	・																																																																	
	鉄線の形状等 (5.2.2)																																																																	
	種 類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																														
	・溶接金網																																																																	
・鉄筋格子																																																																		
鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3)																																																																		
部 位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																																
柱及び梁主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※D19以上																																																																
耐力壁の鉄筋	※重ね継手																																																																	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接																																																																	
上記以外 ()	※重ね継手																																																																	
○溶接継手	<div>適用箇所 (5.6.3)</div> <div>○図示による (構造図参照) ・</div> <div>H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)</div> <div>・A級 ・</div> <div>溶接継手の工法 (5.6.3)</div> <div>・図示による () ・</div> <div>鉄筋相互のあき (5.6.3)</div> <div>・図示による () ・</div> <div>溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)</div> <div>・図示による ()</div> <div>不合格となった継手部への措置 (5.6.3)</div> <div>・図示による ()</div>	○コンクリートの種類等	<div>・普通コンクリート (6.2.1~4) (6.3.2) (6.10.1、2)</div> <table><tr><td>設計基準強度 (N/mm²)</td><td>スラブ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○24</td><td>○15</td><td>構造図参照</td></tr><tr><td>○21</td><td>○15</td><td>構造図参照</td></tr><tr><td>・18</td><td>・</td><td></td></tr></table> <div>・軽量コンクリート</div> <table><tr><td>設計基準強度 (N/mm²)</td><td>スラブ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> <div>構造体強度補正值 (6.3.2)</div> <div>※標準仕様書表6.3.2による</div> <div>・</div>	設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	適用箇所	○24	○15	構造図参照	○21	○15	構造図参照	・18	・		設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	適用箇所	・	・		・	・		○コンクリートの種別	<div>コンクリートの 類別 (6.2.1)</div> <div>※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</div> <div>・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</div>	○セメント	<div>種 類 (6.3.1)</div> <div>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</div> <div>適用箇所 (※下記以外全て ()</div> <div>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする</div> <div>・高炉セメントB種 G</div> <div>適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む) ()</div> <div>・フライアッシュセメントB種 G</div> <div>適用箇所 ()</div> <div>・</div>	○骨材	<div>アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)</div> <div>※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m³ 以下)</div> <div>・再生骨材H</div> <div>本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。</div>	○混和材料	<div>○混和剤 (6.3.1、2)</div> <div>混和剤の種類</div> <div>○標準仕様書 6.3.1(4) (a)による ()</div> <div>○混和材</div> <div>混和材の種類</div> <div>○標準仕様書 6.3.1(4) (b)による ()</div>	・気乾単位容積質量	<div>普通コンクリート (6.2.3)</div> <div>※2.3t/m³ 程度</div> <div>軽量コンクリート</div> <div>・</div>	・軽量コンクリート	<div>種 別 (6.10.1)</div> <div>・1種 ・2種</div> <div>適用箇所</div> <div>・図示 ()</div>	・寒中コンクリート	<div>適用期間 (6.2.1) (6.11.1)</div> <div>・図示による</div> <div>・積算温度を基に定める場合</div> <div>・図示による ()</div> <div>・</div>	・暑中コンクリート	<div>構造体強度補正值 ※6N/mm² (6.12.1、2)</div> <div>・</div>																										
設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	適用箇所																																																																
○24	○15	構造図参照																																																																
○21	○15	構造図参照																																																																
・18	・																																																																	
設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	適用箇所																																																																
・	・																																																																	
・	・																																																																	
	・マスコンクリート	<div>適用箇所 (6.2.1) (6.13.1)</div> <div>・図示による () ・</div> <div>セメントの種類 (6.13.2)</div> <div>・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント</div> <div>・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G</div> <div>・普通ポルトランドセメント ・</div> <div>混和材料 (6.13.2)</div> <div>・混和剤</div> <div>混和剤の種類</div> <div>※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 ・</div> <div>スランプ (6.13.2)</div> <div>※15cm ・</div> <div>・無筋コンクリート</div> <div>コンクリートの種類 (6.2.1) (6.14.1)</div> <div>※普通コンクリート</div> <div>セメントの種類 (6.3.1)</div> <div>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</div> <div>・高炉セメントB種 G</div> <div>・フライアッシュセメントB種 G</div> <div>設計基準強度 (6.14.1)</div> <div>※18 (N/mm²) ・</div> <div>スラブ (6.14.1)</div> <div>※15cm又は18cm ・</div> <div>適用箇所 (6.14.1)</div> <div>・標準仕様書 6.14.1(4) (7)~(カ)による</div> <div>・図示による () ・</div> <div>・流動化コンクリート</div> <div>適用箇所 (6.2.1) (6.15.1)</div> <div>・図示による () ・</div> <div>○打継ぎの位置</div> <div>ひび割れ誘発目地</div> <div>打継目地</div> <div>打継ぎの位置 (6.6.4)</div> <div>梁及びスラブ</div> <div>※スパンの中央又は端から1/4の付近</div> <div>・図示による () ・</div> <div>柱及び壁</div> <div>※スラブ、壁梁又は基礎の上端</div> <div>・図示による () ・</div> <div>目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)</div> <div>・標準仕様書 9.7.3(1) (7)~(カ)による</div> <div>※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する</div> <div>・図示による () ・</div> <div>ひび割れ誘発目地の位置 (6.8.1)</div> <div>・図示による ()</div> <div>○コンクリートの仕上り</div> <div>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2)</div> <table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○A種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr><tr><td>・B種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>○C種</td><td>※図示による (構造図参照)</td></tr></table> <div>コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5) (6.8.2)</div> <table><tr><td>種 別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・a種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・b種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・c種</td><td>※図示による ()</td></tr></table> <div>○打増し厚さ (打放し仕上げ部)</div> <div>○打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) (6.8.1)</div> <div>・20mm ○ (図示)</div> <div>○打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)</div> <div>・10mm ・20mm ○ (図示)</div> <div>・外装タイル後張り面の打増し処理</div> <div>・20mm ・ ()</div> <div>打増し範囲</div> <div>・図示による ()</div>	種 別	適用箇所	○A種	※図示による (構造図参照)	・B種	※図示による ()	○C種	※図示による (構造図参照)	種 別	適用箇所	・a種	※図示による ()	・b種	※図示による ()	・c種	※図示による ()	<div>特記仕様書 (建築工事編) (3)</div> <div>令和4年度版</div> <div>高知県土木部建築課</div>		令和7年度 脇ノ山公民館新築工事						(株)ハウジング総合コンサルタント 高知県南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779 高知県知事登録119号 管理建築士 一級建築士登録第203207号 代表取締役 福 家 正 義 村 田 憲 明	2025/05 AT-03 令和5年7月改正																																						
種 別	適用箇所																																																																	
○A種	※図示による (構造図参照)																																																																	
・B種	※図示による ()																																																																	
○C種	※図示による (構造図参照)																																																																	
種 別	適用箇所																																																																	
・a種	※図示による ()																																																																	
・b種	※図示による ()																																																																	
・c種	※図示による ()																																																																	
	令和7年度 脇ノ山公民館新築工事																																																																	
	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知県南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779 高知県知事登録119号 管理建築士 一級建築士登録第203207号 代表取締役 福 家 正 義 村 田 憲 明	2025/05 AT-03 令和5年7月改正																																																																

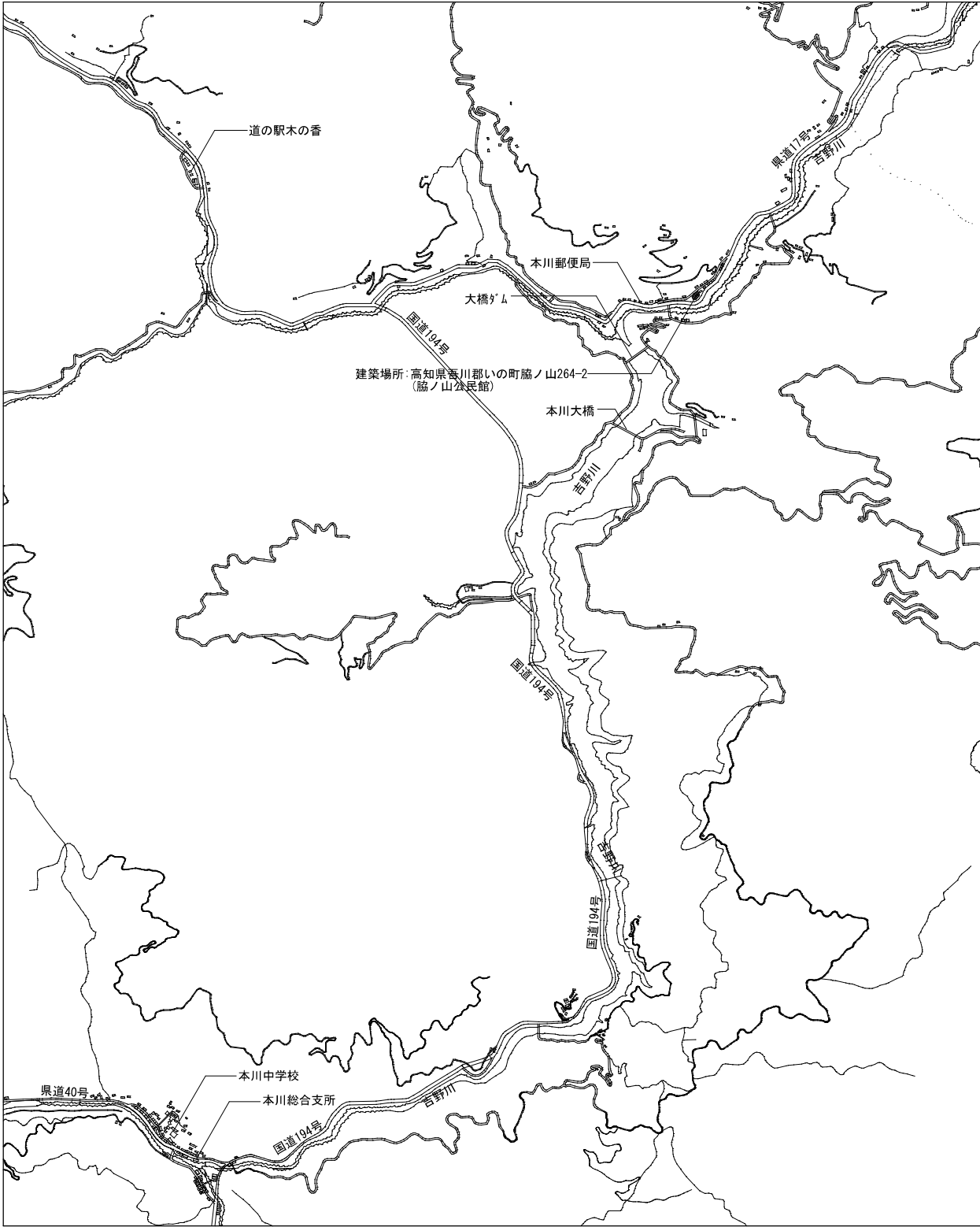
<div>●重量シャッター</div> <div>●軽量シャッター</div> <div>●オートヘッドドア</div> <div>●ガラス</div> <div>●ガラス積み</div> <div>●建築窓ガラス用フィルム</div>	<div>シャッターの種類</div> <div>・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</div> <div>開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式</div> <div>安全装置</div> <div>電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※建具表による ・（ ）</div> <div>電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・（ ）</div> <div>屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 ※建具表による ・（ ）</div> <div>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない</div> <div>スラット及びシャッターケース用鋼板</div> <div>鋼板の種類</div> <div>・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）</div> <div>・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）</div> <div>めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・（ ）</div> <div>ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質</div> <div>ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1</div>	18 塗 装 工 事	<div>○材 料</div> <div>○素地ごしらえ</div> <div>○塗装</div>	<div>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)</div> <div>※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。</div> <div>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする</div> <div>・次の箇所を除き防火材料とする （箇所： ）</div> <div>(18.2.2～7)</div> <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th colspan="2">種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">木部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td colspan="2">※A種 ・B種</td></tr><tr><td>透明塗料塗りの場合</td><td colspan="2">・A種 ※B種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td></td><td colspan="2">・A種 ・B種 ※C種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td></td><td colspan="2">・A種 ・B種</td></tr><tr><td>モルタル面及びプラスター面</td><td></td><td colspan="2">・A種 ※B種</td></tr><tr><td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td><td></td><td colspan="2">・A種 ※B種</td></tr><tr><td>コンクリート面(DP)及びALCパネル面</td><td></td><td colspan="2">・A種 ・B種</td></tr><tr><td rowspan="2">せっこうボード面及びその他ボード面</td><td>継目処理工法の場合</td><td colspan="2">※A種 ・B種</td></tr><tr><td>継目処理工法以外</td><td colspan="2">・A種 ※B種</td></tr></table> <div>(18.3.2、3)</div> <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>工程の種類</th><th>塗料の種類</th></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>見え掛り部分</td><td>※A種 ・B種</td><td rowspan="2">※A種 (EP-Gの場合) ・A種 ※B種</td></tr><tr><td>見え隠れ部分</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>鋼製建具等</td><td>※A種 ・B種</td><td rowspan="2">※A種 ・B種 (EP-Gの場合) ※C種</td></tr><tr><td>鋼製建具等以外</td><td>・A種 ※B種</td></tr></table> <div>(18.4.1～18.12.2)</div> <table><tr><th colspan="2">塗装</th><th>種別</th><th>塗料の種類</th></tr><tr><td rowspan="4">・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td><td>木部屋外</td><td>※A種 ・B種</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>木部屋内</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・クリアラッカー塗り(CL)</td><td>・A種 ※B種</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)</td><td>・A種 ※B種</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">・耐候性塗料塗り(DP)</td><td>鉄鋼面</td><td>—</td><td>上塗り塗料の等級 ()級</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>—</td><td>上塗り塗料の等級 ()級</td></tr><tr><td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート面 モルタル面 プラスター面 石こうボード面 その他のボード面等</td><td>・A種 ※B種</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)</td><td>・A種 ※B種</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td><td>・A種 ※B種</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">・ステイン塗り</td><td>・ビグメントステイン塗り</td><td colspan="2">—</td></tr><tr><td>・オイルステイン塗り(OS)</td><td colspan="2">—</td></tr><tr><td colspan="2">・木材保護塗料塗り(WP)</td><td>・A種 ※B種</td><td>—</td></tr></table> <div>高日射反射率塗装 [G] ・適用する（屋上、屋根面の金属面）</div> <div>クリアラッカー塗りA種の工程2の適用</div> <div>・適用する（着色材： ・溶剤系着色材 ・油性染料着色材） ・適用しない</div> <div>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用</div> <div>・適用する ・適用しない</div> <div>オイルステイン塗りの工程等</div> <div>・</div> <div>材質</div> <div>水性アクリル系樹脂塗料（※標準色 ・ ）</div> <div>仕上種別</div> <div>コーティング（ローラー刷毛塗り）</div> <div>塗布量</div> <div>主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m²以上とする</div>	下地面等		種 別		木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種		透明塗料塗りの場合	・A種 ※B種		鉄鋼面		・A種 ・B種 ※C種		亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種		モルタル面及びプラスター面		・A種 ※B種		コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種 ※B種		コンクリート面(DP)及びALCパネル面		・A種 ・B種		せっこうボード面及びその他ボード面	継目処理工法の場合	※A種 ・B種		継目処理工法以外	・A種 ※B種		下地面等		工程の種類	塗料の種類	鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・B種	※A種 (EP-Gの場合) ・A種 ※B種	見え隠れ部分	・A種 ※B種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種 ・B種	※A種 ・B種 (EP-Gの場合) ※C種	鋼製建具等以外	・A種 ※B種	塗装		種別	塗料の種類	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	—	木部屋内	・A種 ※B種	鉄鋼面	・A種 ※B種	亜鉛めっき鋼面	—	・クリアラッカー塗り(CL)		・A種 ※B種	—	・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)		・A種 ※B種	—	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 ()級	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級 ()級	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・A種 ・B種 ・C種		コンクリート面 モルタル面 プラスター面 石こうボード面 その他のボード面等	・A種 ※B種	—	・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		・A種 ※B種	—	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		・A種 ※B種	—	・ステイン塗り	・ビグメントステイン塗り	—		・オイルステイン塗り(OS)	—		・木材保護塗料塗り(WP)		・A種 ※B種	—	<div>○ビニル幅木</div> <div>・ゴム床タイル</div> <div>・視覚障害者用床タイル</div> <div>・カーペット敷き [G]</div> <div>・合成樹脂塗床</div> <div>○フローリング張り</div>	<div>材質の種類 ※軟質 ・硬質 (19.2.2)</div> <div>高さ (mm) ・60 ・75 ・100</div> <div>厚さ (mm) ※1.5以上 ・（ ）</div> <div>種類 ・単層品 ・積層品 (19.2.2)</div> <div>色 柄 （ ） ・フラット ・凹凸</div> <div>厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0</div> <div>寸法 (mm) （ ）</div> <div>(19.2.2)</div> <table><tr><th colspan="2">施工箇所</th><th>種 類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="3">屋内</td><td></td><td>・塩化ビニル製</td><td>※300×300</td><td>※7.0 ・</td></tr><tr><td></td><td>・磁器又はせっ器質タイル</td><td>※300×300</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・レジンコンクリート製</td><td>※300×300</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">屋外</td><td></td><td>・磁器又はせっ器質タイル</td><td>・300×300</td><td>※30 ・</td></tr><tr><td></td><td>・レジンコンクリート製</td><td>・300×300</td><td></td></tr></table> <div>※黄色 ブロックパターンは JIS T 9251 による</div> <div>(19.3.2、3) (表19.3.1、2)</div> <table><tr><th>織り方</th><th>バイル形状</th><th>色柄等</th><th>バイル系の種類</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ウルトンカーペット</td><td>・カットバイル</td><td>・無地</td><td>・A種</td><td>※人体帯電圧</td><td rowspan="3">3kv以下</td></tr><tr><td>・タフタカーペット</td><td>・ループバイル</td><td>・柄物</td><td>・B種</td></tr><tr><td>・タフタカーペット</td><td>・カット、ループ併用</td><td>・柄物、ループ併用</td><td>・C種</td><td>・</td></tr></table> <div>接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い</div> <div>下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・（ ）</div> <div>・タフテッドカーペット</div> <table><tr><th>バイル形状</th><th>バイル長さ(mm)</th><th>工 法</th><th>帯電性</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・カットバイル</td><td>※5～7 ・</td><td rowspan="2">・全面接着工法 ・グリッパ―工法</td><td rowspan="2">※人体帯電圧 3kv以下</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・ループバイル</td><td>※4～6 ・</td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td>・</td><td></td><td>・</td><td></td></tr></table> <div>下敷き材（グリッパ―工法の場合）</div> <div>※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・（ ）</div> <div>・タイルカーペット</div> <table><tr><th>バイル形状</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ループバイル</td><td>※第一種 ・第二種</td><td></td><td>※500×500</td><td>※ 6.5</td><td></td></tr><tr><td>・カットバイル</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ・（ ）</div> <div>タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し</div> <div>階段部分 ※模様流し ・市松敷き</div> <div>見切り、押え金物 ・適用する （材質、種類、形状等 ※図示 ・ ）</div> <div>(19.4.2、3) (表19.4.4、5)</div> <table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>工法</th><th colspan="2">仕 上 げ の 種 類</th></tr><tr><td>・厚膜型塗床材</td><td></td><td rowspan="2">・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法</td><td>※平滑仕上げ</td><td>・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床</td><td></td><td>※平滑仕上げ</td><td>・防汚仕上げ</td></tr><tr><td>・薄膜型塗床材</td><td></td><td></td><td colspan="2">※平滑仕上げ</td></tr></table> <div>塗料のホルムアルデヒド放散量</div> <div>※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。</div> <div>単層フローリング [G] (19.5.2～5) (表19.5.1～6)</div> <table><tr><th>種 類</th><th>樹 種</th><th>厚さ(mm)</th><th>大きさ(mm)</th><th>間伐材等の適用</th><th>工 法</th><th>仕上塗装</th></tr><tr><td>・フローリングボード 1等</td><td>※なら ・</td><td>※15 ・12 ・18</td><td>幅 （ ） 長さ （ ）</td><td>・</td><td>・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法</td><td>※塗装品 ・無塗装品</td></tr><tr><td>・フローリングブロック 1等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・接着工法</td><td>※塗装品 ・無塗装品</td></tr></table> <div>複合フローリング [G]</div> <table><tr><th>種 類</th><th>樹 種</th><th>種 別</th><th>厚さ(mm)</th><th>間伐材等の適用</th><th>工 法</th><th>仕上塗装</th></tr><tr><td>・天然木化粧複合 フローリング</td><td>※なら ・</td><td>・A種 ・B種 ※C種</td><td>・15 ・12</td><td>・</td><td>・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法</td><td>※塗装品 ・無塗装品</td></tr></table> <div>フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量</div> <div>※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。</div> <div>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</div>	施工箇所		種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内		・塩化ビニル製	※300×300	※7.0 ・		・磁器又はせっ器質タイル	※300×300			・レジンコンクリート製	※300×300		屋外		・磁器又はせっ器質タイル	・300×300	※30 ・		・レジンコンクリート製	・300×300		織り方	バイル形状	色柄等	バイル系の種類	帯電性	備考	・ウルトンカーペット	・カットバイル	・無地	・A種	※人体帯電圧	3kv以下	・タフタカーペット	・ループバイル	・柄物	・B種	・タフタカーペット	・カット、ループ併用	・柄物、ループ併用	・C種	・	バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	備 考	・カットバイル	※5～7 ・	・全面接着工法 ・グリッパ―工法	※人体帯電圧 3kv以下		・ループバイル	※4～6 ・	・カット、ループ併用	・		・		バイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ(mm)	備 考	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※ 6.5		・カットバイル						・カット、ループ併用						種別	施工箇所	工法	仕 上 げ の 種 類		・厚膜型塗床材		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ	・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床		※平滑仕上げ	・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ		種 類	樹 種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	間伐材等の適用	工 法	仕上塗装	・フローリングボード 1等	※なら ・	※15 ・12 ・18	幅 （ ） 長さ （ ）	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	・フローリングブロック 1等					・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	種 類	樹 種	種 別	厚さ(mm)	間伐材等の適用	工 法	仕上塗装	・天然木化粧複合 フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	<div>特記仕様書（建築工事編）（8）</div> <div>令和7年度 脇ノ山公民館新築工事</div> <div>(株)ハウジング総合コンサルタント</div> <div>高知県南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779</div> <div>高知県知事登録119号 管理建築士 代表取締役 一級建築士登録第203207号 福 家 正 義 村 田 憲 明</div> <div>2025/05 AT-08 令和5年7月改正</div> <div>令和4年度版</div> <div>高知県土木部建築課</div>
下地面等		種 別																																																																																																																																																																																																																																																																
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																
	透明塗料塗りの場合	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面		・A種 ・B種 ※C種																																																																																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																
モルタル面及びプラスター面		・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート面(DP)及びALCパネル面		・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																
せっこうボード面及びその他ボード面	継目処理工法の場合	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																
	継目処理工法以外	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
下地面等		工程の種類	塗料の種類																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・B種	※A種 (EP-Gの場合) ・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																															
	見え隠れ部分	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種 ・B種	※A種 ・B種 (EP-Gの場合) ※C種																																																																																																																																																																																																																																																															
	鋼製建具等以外	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
塗装		種別	塗料の種類																																																																																																																																																																																																																																																															
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	—																																																																																																																																																																																																																																																															
	木部屋内	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
	鉄鋼面	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																
	亜鉛めっき鋼面	—																																																																																																																																																																																																																																																																
・クリアラッカー塗り(CL)		・A種 ※B種	—																																																																																																																																																																																																																																																															
・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)		・A種 ※B種	—																																																																																																																																																																																																																																																															
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 ()級																																																																																																																																																																																																																																																															
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級 ()級																																																																																																																																																																																																																																																															
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																
	コンクリート面 モルタル面 プラスター面 石こうボード面 その他のボード面等	・A種 ※B種	—																																																																																																																																																																																																																																																															
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		・A種 ※B種	—																																																																																																																																																																																																																																																															
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		・A種 ※B種	—																																																																																																																																																																																																																																																															
・ステイン塗り	・ビグメントステイン塗り	—																																																																																																																																																																																																																																																																
	・オイルステイン塗り(OS)	—																																																																																																																																																																																																																																																																
・木材保護塗料塗り(WP)		・A種 ※B種	—																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所		種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																														
屋内		・塩化ビニル製	※300×300	※7.0 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
		・磁器又はせっ器質タイル	※300×300																																																																																																																																																																																																																																																															
		・レジンコンクリート製	※300×300																																																																																																																																																																																																																																																															
屋外		・磁器又はせっ器質タイル	・300×300	※30 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
		・レジンコンクリート製	・300×300																																																																																																																																																																																																																																																															
織り方	バイル形状	色柄等	バイル系の種類	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																													
・ウルトンカーペット	・カットバイル	・無地	・A種	※人体帯電圧	3kv以下																																																																																																																																																																																																																																																													
・タフタカーペット	・ループバイル	・柄物	・B種																																																																																																																																																																																																																																																															
・タフタカーペット	・カット、ループ併用	・柄物、ループ併用	・C種	・																																																																																																																																																																																																																																																														
バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	備 考																																																																																																																																																																																																																																																														
・カットバイル	※5～7 ・	・全面接着工法 ・グリッパ―工法	※人体帯電圧 3kv以下																																																																																																																																																																																																																																																															
・ループバイル	※4～6 ・																																																																																																																																																																																																																																																																	
・カット、ループ併用	・		・																																																																																																																																																																																																																																																															
バイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																													
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																														
・カットバイル																																																																																																																																																																																																																																																																		
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																		
種別	施工箇所	工法	仕 上 げ の 種 類																																																																																																																																																																																																																																																															
・厚膜型塗床材		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ	・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																														
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床			※平滑仕上げ	・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																														
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																															
種 類	樹 種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	間伐材等の適用	工 法	仕上塗装																																																																																																																																																																																																																																																												
・フローリングボード 1等	※なら ・	※15 ・12 ・18	幅 （ ） 長さ （ ）	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																												
・フローリングブロック 1等					・接着工法	※塗装品 ・無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類	樹 種	種 別	厚さ(mm)	間伐材等の適用	工 法	仕上塗装																																																																																																																																																																																																																																																												
・天然木化粧複合 フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																												

9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)										20 ユニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	・フリーアクセスフロア	(20.2.2)										・表 示	(20.2.11)																
	種 別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (畳床：) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア G) ホルムアルデヒド放散量 ※ 1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。 畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用 (3畳表の2等以上) ※適用する ・適用しない 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。												(19.7.2) (表19.7.1)																											
	種 類					JISの記号							厚さ (mm)、規格等																											
	・硬質木毛セメント板 G					H W							・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																											
	・中質木毛セメント板 G					M W							・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																											
	・普通木毛セメント板 G					N W							・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																											
	・硬質木片セメント板 G					H F							・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・																											
	・普通木片セメント板 G					N F							・ 30																											
	○けい酸カルシウム板					0.8 F K 1.0 F K							タイプ 2 (無石綿) ・ 6 ・ 8																											
	・ロックウール化粧吸音板					D R							※フロッグタイプ (※ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・) ・ 凹凸タイプ (※ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)																											
○せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り	・ロックウール吸音ボード1号										R W－B										※25 ・																			
	・ガラスウール吸音ボード32K										G W－B										※25 (ガラスクロス包) ・																			
	○せっこうボード										G B－R										※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 9.5																			
	・不燃積層せっこうボード										G B－N C										9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)																			
	・シーリングせっこうボード										G B－S										12.5 (・不燃 ・ 準不燃)																			
	・強化せっこうボード										G B－F										・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)																			
	・せっこうラスボード										G B－L										9.5																			
	・化粧せっこうボード (木目)										G B－D (W)										12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・ 板目) 専用下地材有り																			
	・化粧せっこうボード (化粧板)										G B－D (T)										9.5 (準不燃)																			
	・普通合板 G																				・ 生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (しな合板程度)																			
○壁紙張り	・天然木化粧合板 G																																							
	・特殊加工化粧合板 G																				・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装																			
	・メラミン樹脂化粧板																				JIS K 6903 による 厚さ1.2																			
	・ポリエステル樹脂化粧板																																							
	・ミディアム密度ファイバーボード G										G－M D F										・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 無研磨 ・ 研磨																			
	・単板張りパーティクルボード G																				・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・																			
	・化粧パーティクルボード G																				・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・																			
	・ハードボード (素地) G										H B										・ 無研磨板 (・スタンダード・テンパード) ・ 研磨板 (・スタンダード・テンパード)																			
	・ハードボード (化粧) G																				・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																			
	・インシュレーションボード G										A－I B T－I B										A 級 ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18																			
○断熱材 G	・火山性ガラス質複層板 化粧加工K2										密度 A 1										・ 6 ・ 9 ・ 12																			
	遮音シール材										・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)																													
	ホルムアルデヒド放散量										※ 1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 合板類の張付け ・ A 種 ※B 種 せっこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法																													
	ホルムアルデヒド放散量										(19.8.2、3)																													
	※ 1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。																																							
	施工箇所					壁紙の種類					防火性能					備 考																								
						紙 繊維 グラスファイバー 無機質 その他					※不燃・準不燃・難燃																													
						・ ・ ・ ・ ・					※不燃・準不燃・難燃																													
						・ ・ ・ ・ ・					※不燃・準不燃・難燃																													
						・ ・ ・ ・ ・					※不燃・準不燃・難燃																													
○断熱材 G	モルタル・プラスター面の素地ごしらえ										・ A 種										※B 種																			
	コンクリート面の素地ごしらえ										・ A 種										※B 種																			
	せっこうボード面の素地ごしらえ										・ A 種										※B 種																			
	(19.9.2～4)																																							
	断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量										※ 1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 ・断熱材打込み工法																													
	種 類					厚さ (mm)					施工箇所																													
	・ヒートシール法ポリスチレンフォーム断熱材																																							
	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スチ層なし)																																							
	○硬質ウレタンフォーム断熱材																																							
	・フェノールフォーム断熱材																																							
○断熱材現場発泡工法	断熱材の種類 ※A 種 1 ・ A 種 1 H																																							
	吹付け厚さ (mm) ○25 ・ 30 ・ ()																																							
	施工箇所										※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所																													
	・図示																																							
○階段滑止め	・黒板及び ホワイトボード G																																							
	(20.2.9)																																							
	区 分					種 類					寸法 (mm)					色 彩					形 式																			
	・黒板					※焼付け ・					・ほうろう ・鋼製					※緑 ・ 黒					※平面 ・ 曲面 ・スクリーン付き引分け																			
	・ホワイトボード					・ほうろう ・					・ほうろう ・鋼製					白					※平面 ・ 曲面 ・スクリーン付き引分け																			
	取付箇所 ()										(20.2.10)																													
	寸 法 (mm) ・ () ・ 図示																																							
	厚 さ (mm) ※ 5 ・ ()																																							
・鏡	特記仕様書 (建築工事編) (9)										令和 4 年度版										高知県土木部建築課																			
	令和7年度 脇ノ山公民館新築工事																																							
	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779																																							
	高知県知事登録119号 管理建築士 代表取締役 福 家 正 義 一般建築士登録第20207号 村 田 憲 明																																							
	2025/05 AT-09 令和 5 年 7 月 改 正																																							

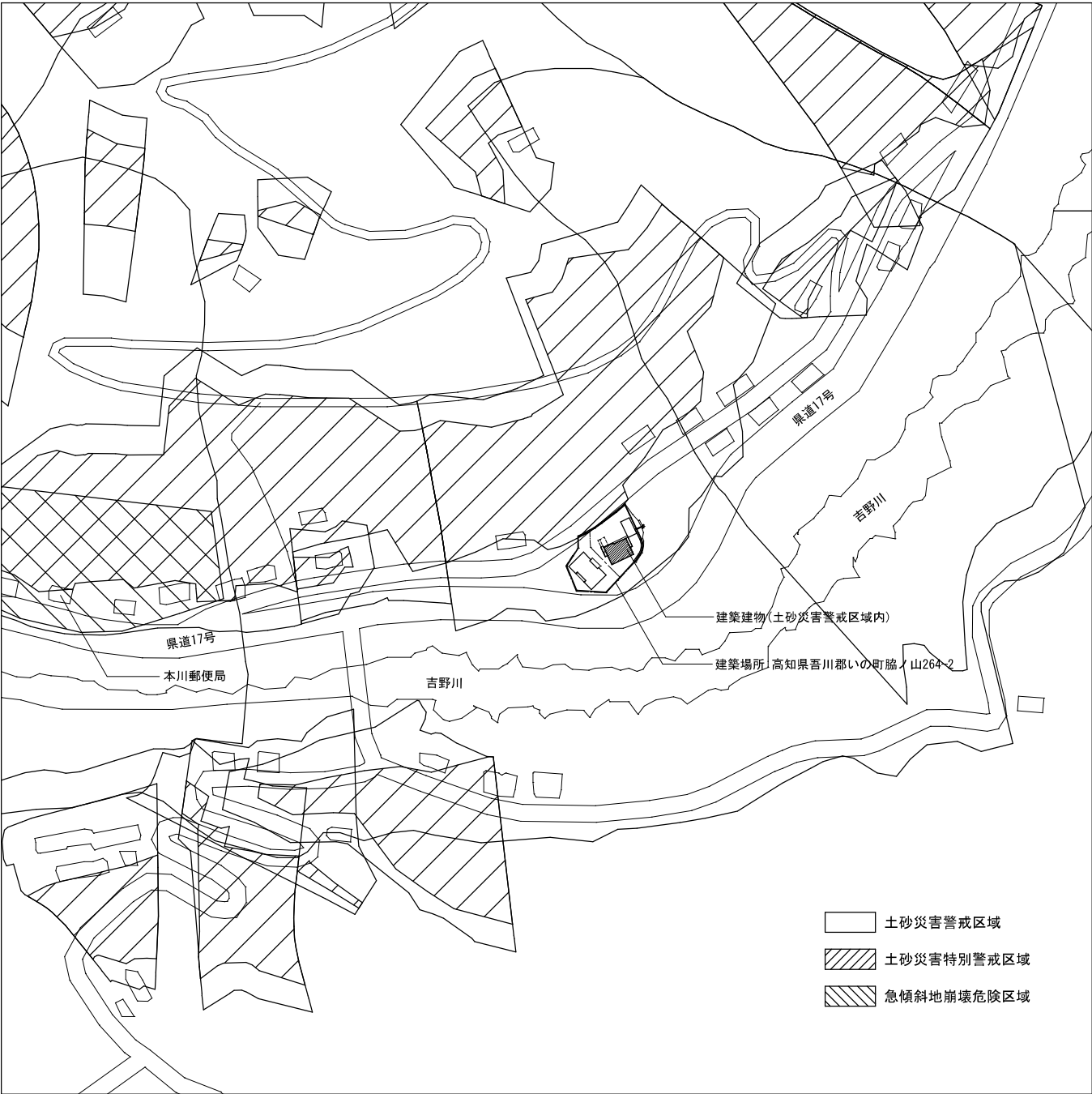


配置図 S=1:150

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 仮設計画図		縮 尺 1/150	年 月 日 R7.05	図 面 No. AK — 01	意匠担当	構造担当	

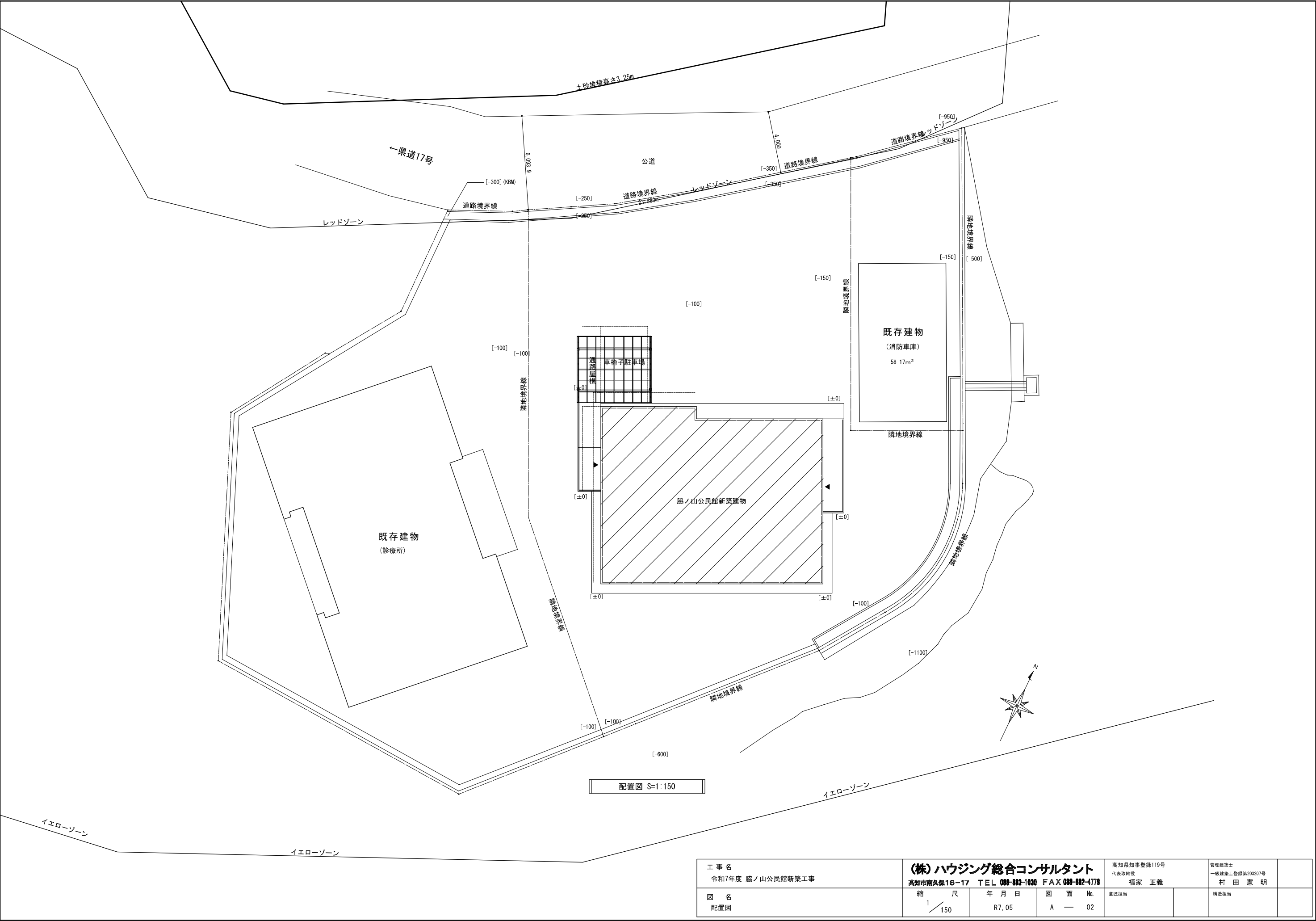


付近見取図(1) S=1:25000

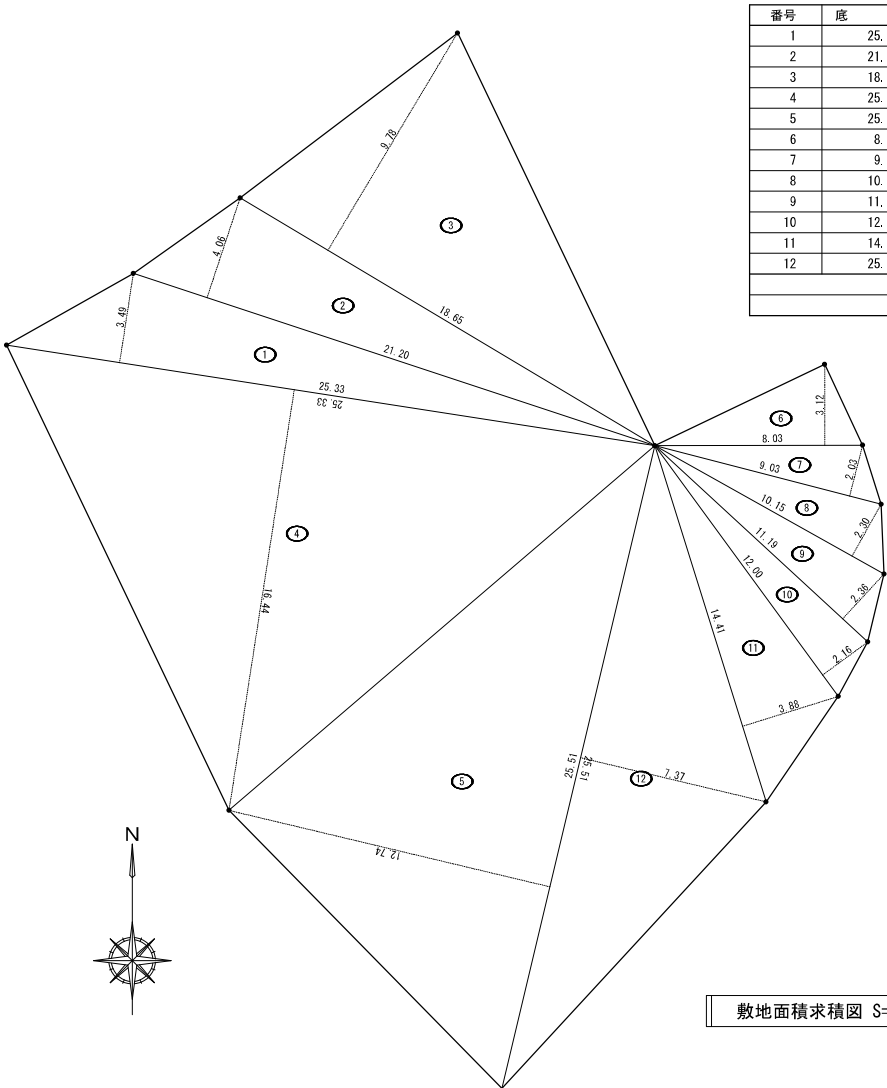


付近見取図(2) S=1:2500

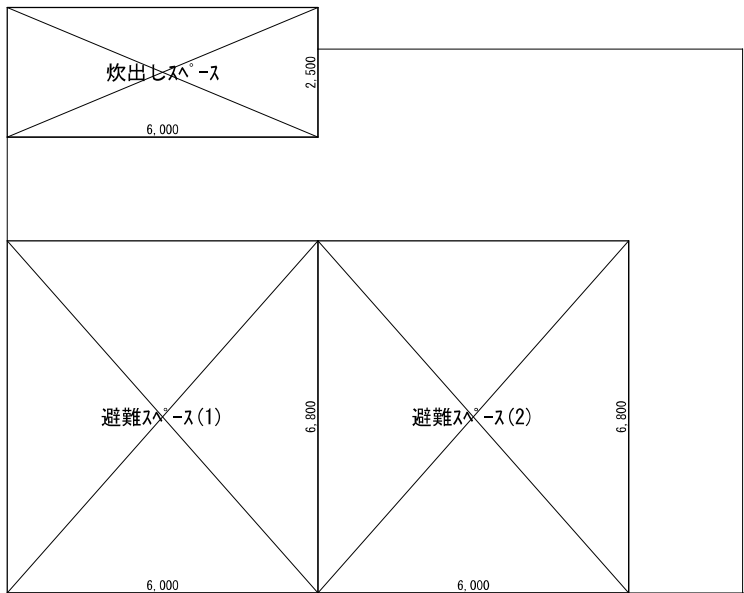
工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778		高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明		
図 名 付近見取図・配置図		縮 尺 1 2500, 25000	年 月 日 R7. 05	図 面 No. A — 01	意匠担当		構造担当	



工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 配置図		縮 尺 1 / 150	年 月 日 R7.05	図 面 No. A — 02	意匠担当	構造担当	



番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	25.33	3.49	88.4017	44.20085
2	21.20	4.06	86.0720	43.03600
3	18.65	9.78	182.3970	91.19850
4	25.33	16.44	416.4252	208.21260
5	25.51	12.74	324.9974	162.49870
6	8.03	3.12	25.0536	12.52680
7	9.03	2.03	18.3309	9.16545
8	10.15	2.30	23.3450	11.67250
9	11.19	2.36	26.4084	13.20420
10	12.00	2.16	25.9200	12.96000
11	14.41	3.88	55.9108	27.95540
12	25.51	7.37	188.0087	94.00435
合 計				730.63535
敷地面積				730.63 m ²



居室床面積求積図 S=1:100

■居室部屋別面積表

項 目	計 算 式	計 算 結 果	面 積
1階	避難スヘ-ス(1)	6.000*6.800	40.800000
	計	40.800000	40.80 m ²
	避難スヘ-ス(2)	6.000*6.800	40.800000
	計	40.800000	40.80 m ²
炊出しスヘ-ス	6.000*2.500	15.000000	
	計	15.000000	15.00 m ²



■排煙・採光・換気計算表

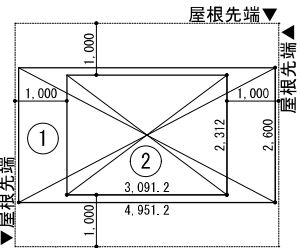
階	室 名	床面積 (A)	排 煙				判定	採 光					判定	換 気						
			必要面積	有 効 面 積				必要面積	窓 の 面 積			有効採光面積		必要面積	有 効 面 積					
			1/50	建具	計算式	面積		1/20	建具	計算式	面積			1/20	建具	計算式	面積			
1階	避難スヘ-ス(1)	40.80	0.816		有効面積 計		0.8650	OK	2.040		有効面積 計		8.9650	OK	2.040		有効面積 計		4.9150	OK
				AD1	0.865*0.500*2	0.8650	AD1			0.865*0.500*2+1.800*0.500/650	1.7650	AD1	0.865*0.500*2+1.80*0.50/23150			3.6000				
							1.800*2.000*2			7.2000	7.2000	1.800*2.000/2*2	3.6000							
	避難スヘ-ス(2)	40.80	0.816		有効面積 計		0.8650	OK	2.040		有効面積 計		6.8050	OK	2.040		有効面積 計		3.8350	OK
				AD1	0.865*0.500*2	0.8650	AD1			0.865*0.500*2+1.800*0.500/650	1.7650	AD1	0.865*0.500*2+1.80*0.50/23150			2.5200				
							1.800*1.400*2			5.0400	5.0400	1.800*1.400/2*2	2.5200							
	炊出しスヘ-ス	15.00	0.300		有効面積 計		0.3200	OK	0.750		有効面積 計		1.6380	OK	0.750		有効面積 計		0.8190	OK
				AD1	0.800*0.400	0.3200	AW1			1.800*0.910	1.6380	1.6380	AW9			1.800*0.910/2	0.8190			

■面積表

項 目	記号	計 算 式	計 算 結 果	面 積
床面積	1	14.200*10.500	149.100000	
	2	6.000*0.800	4.800000	
	1階床面積 計		153.900000	153.90 m ²
建築面積	1	14.200*10.500	149.100000	
	2	6.000*0.800	4.800000	
	A	0.400*5.900	2.360000	
	B	0.600*0.130	0.078000	
	C	1.420*0.130	0.184600	
	建 築 面 積		156.522600	156.52 m ²

■平均地盤面算定表

地点	高さ	距離	高さ×距離	平均地盤面 (GL)
A	0.000 m	10.500 m	0.000 m ²	
B	0.000 m	14.200 m	0.000 m ²	
C	0.000 m	11.300 m	0.000 m ²	
D	0.000 m	6.000 m	0.000 m ²	
E	0.000 m	0.800 m	0.000 m ²	
F	0.000 m	8.200 m	0.000 m ²	
A	0.000 m			
合計				0.000000 m
				≒ 0.00 m



カ-ット面積求積図 S=1:100

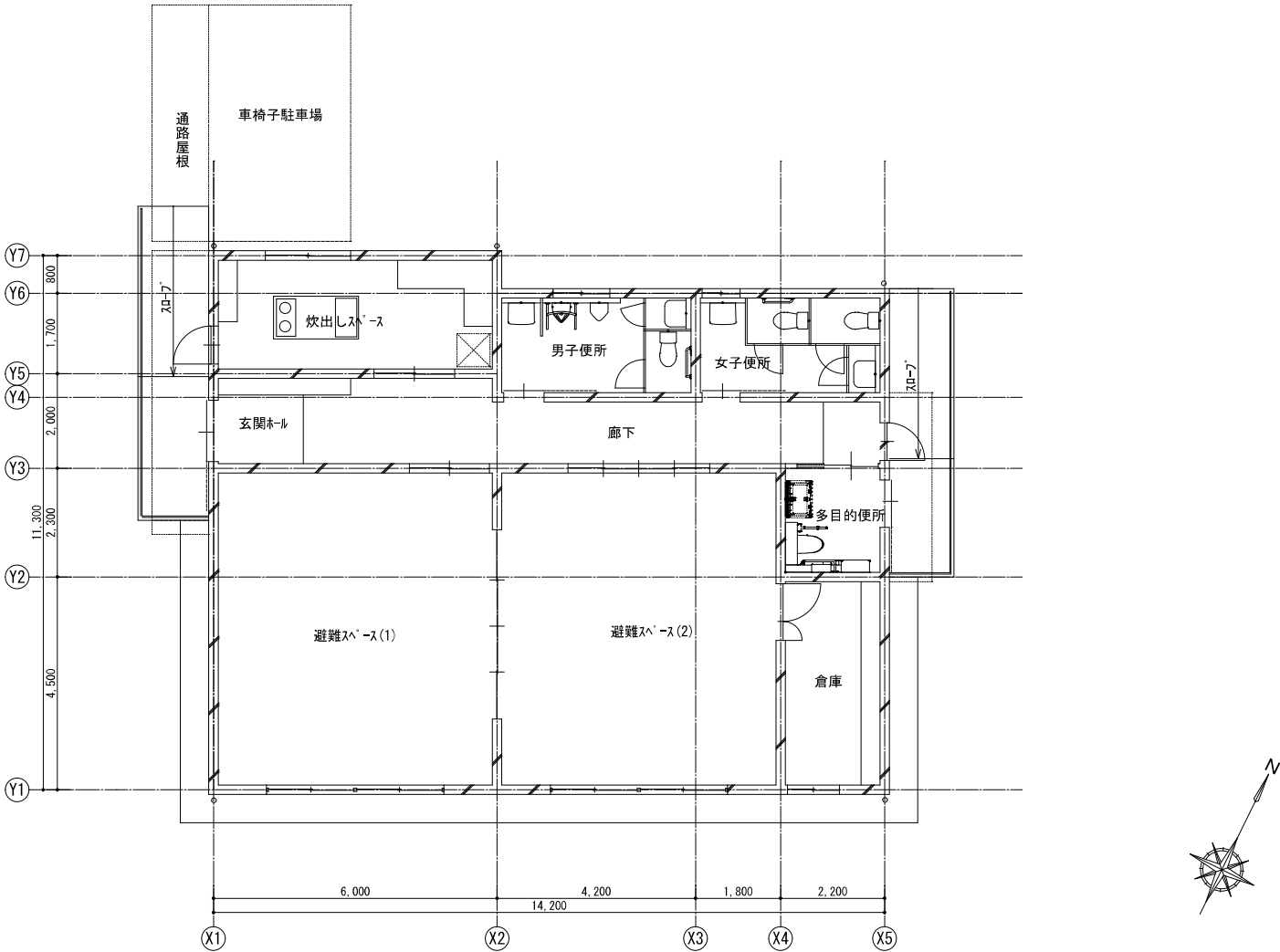
■面積表

項 目	記号	計 算 式	計 算 結 果	面 積
床面積	1	4.951*2.600	12.872600	
	1階床面積 計		12.872600	12.87 m ²
建築面積	2	3.091*2.312	7.146392	
	建 築 面 積		7.146392	7.14 m ²

■全体建物面積表

	申請部分			合 計
	申請建物-1 公民館	申請建物-2 カ-ット	申請建物 合 計	
延 床 面 積	153.90 m ²	12.87 m ²	166.77 m ²	166.77 m ²
建 築 面 積	156.52 m ²	7.14 m ²	163.66 m ²	163.66 m ²

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778		高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 面積表・排煙採光換気計算		縮 尺 1/100,200	年 月 日 R7.05	図 面 No. A — 03	意匠担当	構造担当	



外 部 仕 上 表			
屋根・庇	コンクリートスラブモルタル補修塗t=10の上、カラーガルバリウム鋼板t=0.4縦ハレ葺、改質アスファルト樹脂フィッシングt=1.0下地	と い	縦樋：カラーVP管100φ（SUS掴み金物φ1000） 軒樋：硬質塩ビ軒樋 前高130
外 壁	コンクリート打放し（B種）の上複層塗材E吹付	軒 天	コンクリート打放し（B種）
腰 壁	コンクリート打放し（B種）の上撥水材塗り		

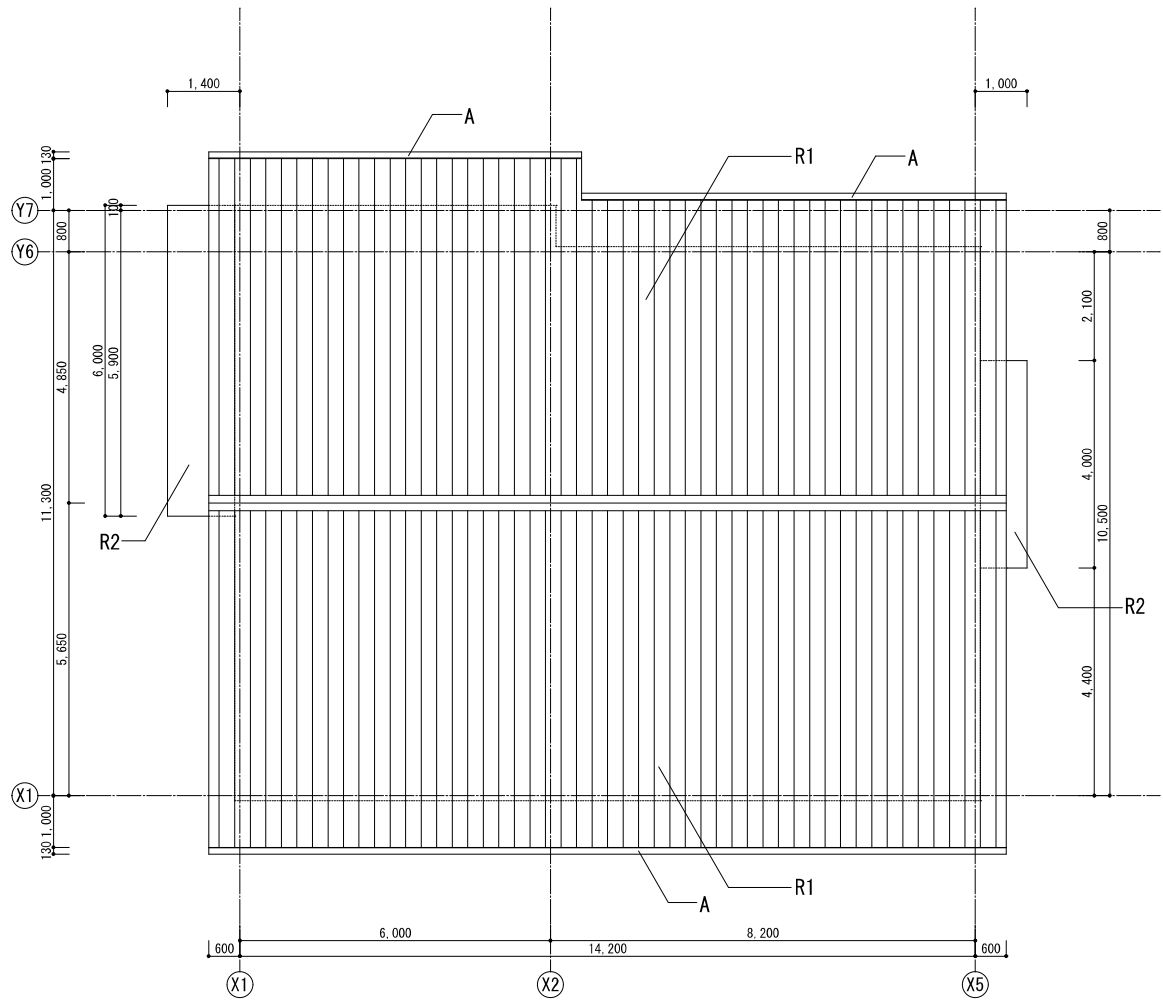
内 部 仕 上 表								
階	室 名	床	巾木	壁	天 井	廻 り 縁	天 井 高 さ	備 考
1階	避難スペース(1)	複合FR-リソグ® t=12+構造用合板t=12、乾式二重床下地	木製巾木H=60	石膏ボード® t=12.5（GL工法）の上ビニルクロス張	化粧石膏ボード® t=9.5	塩ビ® 廻縁	2,800	
	避難スペース(2)	複合FR-リソグ® t=12+構造用合板t=12、乾式二重床下地	木製巾木H=60	石膏ボード® t=12.5（GL工法）の上ビニルクロス張	化粧石膏ボード® t=9.5	塩ビ® 廻縁	2,800	
	炊出しスペース	ビニル床シート張+構造用合板t=12、乾式二重床下地	ビニル巾木H=100	石膏ボード® t=9.5（GL工法）の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	ケイ酸カルシウム板t=6.0、EP-G塗	塩ビ® 廻縁	2,800	
	玄関ホール	300角磁器質タイル張、モルタルt=40程度下地	ビニル巾木H=100	石膏ボード® t=12.5（GL工法）の上ビニルクロス張	化粧石膏ボード® t=9.5	塩ビ® 廻縁	2,800	
	廊下	複合FR-リソグ® t=12+構造用合板t=12、乾式二重床下地	木製巾木H=60	石膏ボード® t=12.5（GL工法）の上ビニルクロス張	化粧石膏ボード® t=9.5	塩ビ® 廻縁	2,600	
	男子便所	ビニル床シート張、モルタルt=40程度下地	ビニル巾木H=100	石膏ボード® t=9.5（GL工法）の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	ケイ酸カルシウム板t=6.0、EP-G塗	塩ビ® 廻縁	2,600	
	女子便所	ビニル床シート張、モルタルt=40程度下地	ビニル巾木H=100	石膏ボード® t=9.5（GL工法）の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	ケイ酸カルシウム板t=6.0、EP-G塗	塩ビ® 廻縁	2,600	
	多目的便所	300角磁器質タイル張、モルタルt=40程度下地	ビニル巾木H=100	石膏ボード® t=9.5（GL工法）の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0	ケイ酸カルシウム板t=6.0、EP-G塗	塩ビ® 廻縁	2,600	
	倉庫	ビニル床シート張、モルタルt=40程度下地	ビニル巾木H=100	押入用石膏ボード® t=12.5	押入用石膏ボード® t=9.5	塩ビ® 廻縁	2,600	

- 備考
- ・内装材（天井裏も含む）は全てF☆☆☆☆認定品を使用すること。

・内部に用いると量は全てVOC0.1g/lのもの（水系塗料）を用いること。（外部は除く）

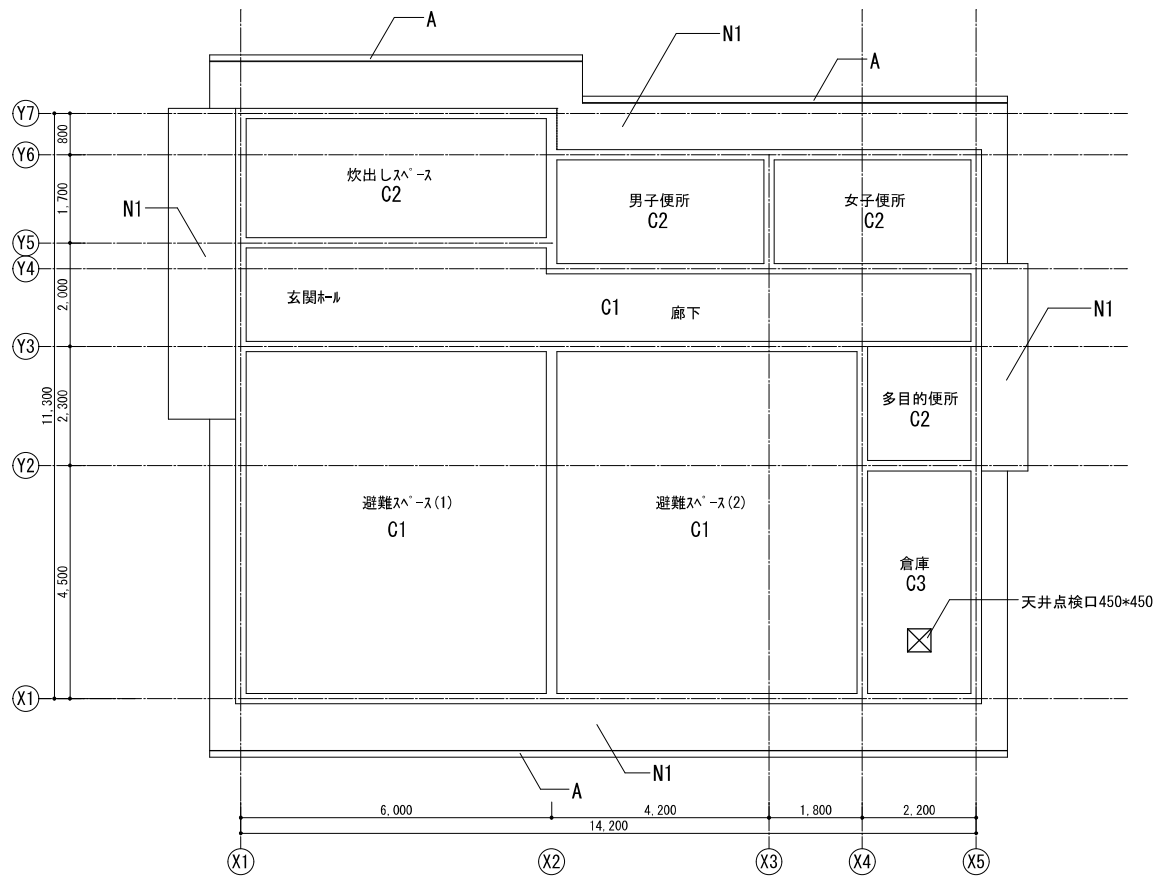
・ビニルクロスは高耐久、高耐水、表面強化等の強いタイプとすること。

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 平面図・仕上表	縮 尺 1 / 100	年 月 日 R7.05	図 面 No. A — 04	意匠担当 構造担当



屋根伏図 S=1:100

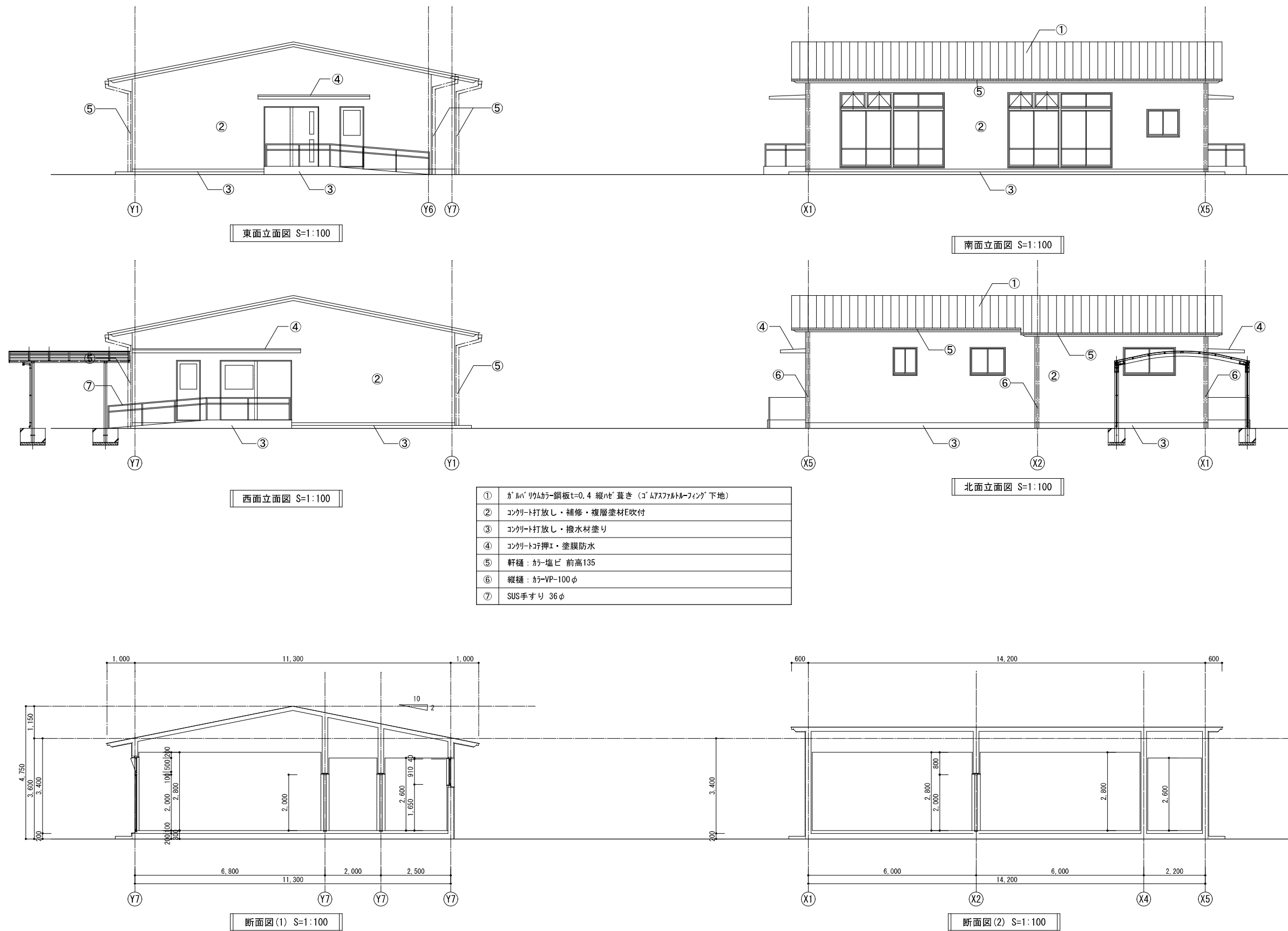
屋 根 仕 上 表	
R1	カラーガルバリウム鋼板t=0.4縦ハセ葺き 改質アスファルトフイック t=1.0下地
R2	ウレタン塗膜防水
A	軒樋：塩ビ製 前高135型



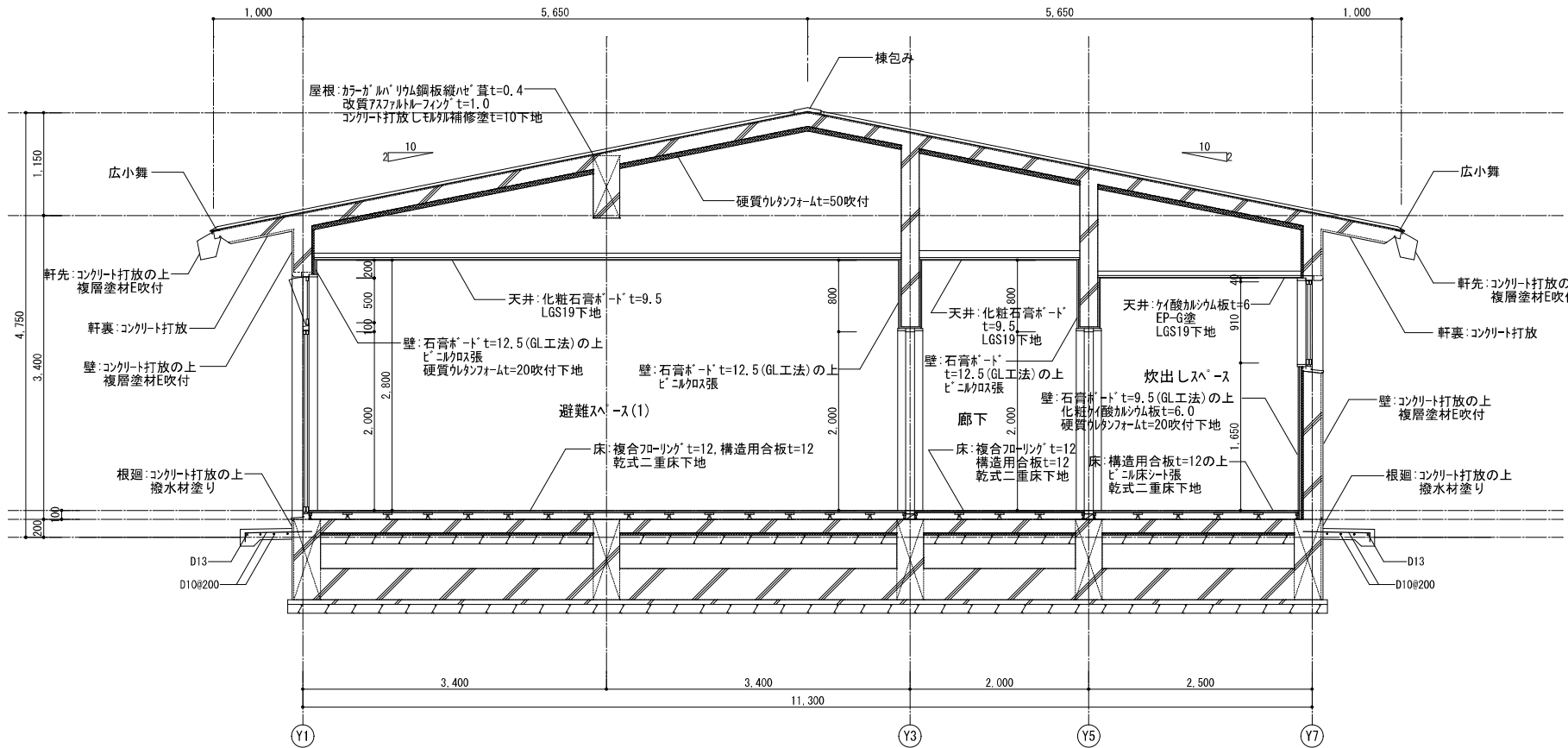
天井伏図 S=1:100

天 井 ・ 軒 天 仕 上 表		
C1	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ廻縁
C2	ケイ酸カルシウム板 t=6.0, EP-G塗	塩ビ廻縁
C3	押入用石膏ボード t=9.5	塩ビ廻縁
N1	コンクリート打放し (B種)	
A	軒樋：塩ビ製 前高135型	

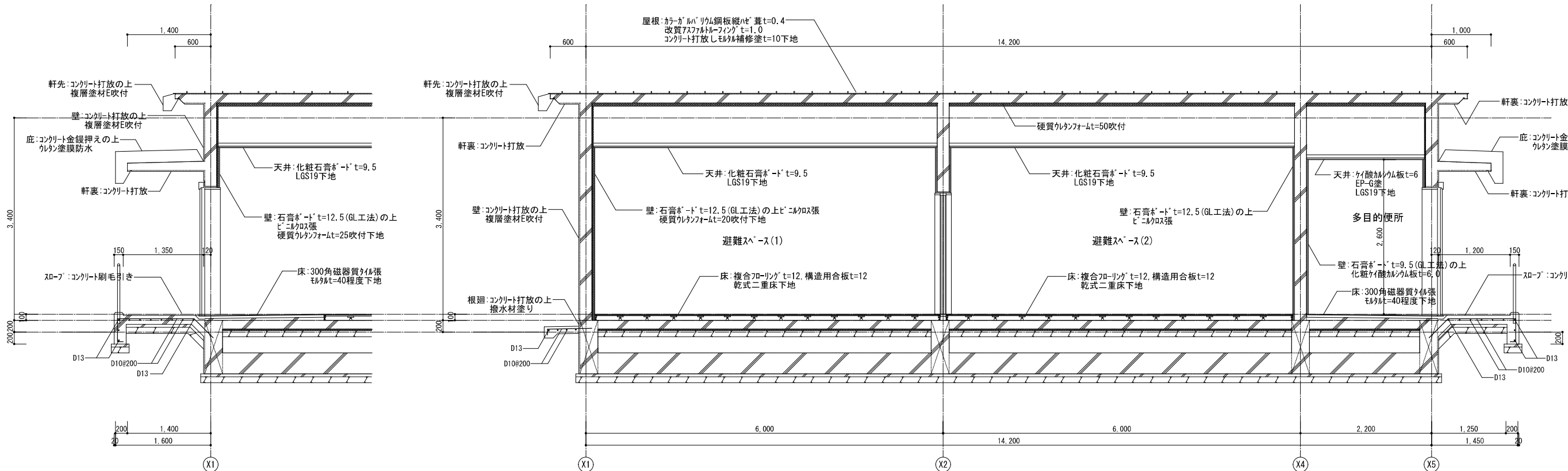
工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 屋根伏図・天井伏図	縮 尺 1/100	年 月 日 R7.05	図 面 No. A — 05	意匠担当	構造担当



工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号	管理建築士
	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			代表取締役 福家 正義	一級建築士登録第203207号 村田 憲明
図 名 立面図・断面図	縮 尺 1/100	年 月 日 R7.05	図 面 No. A — 06	意匠担当	構造担当



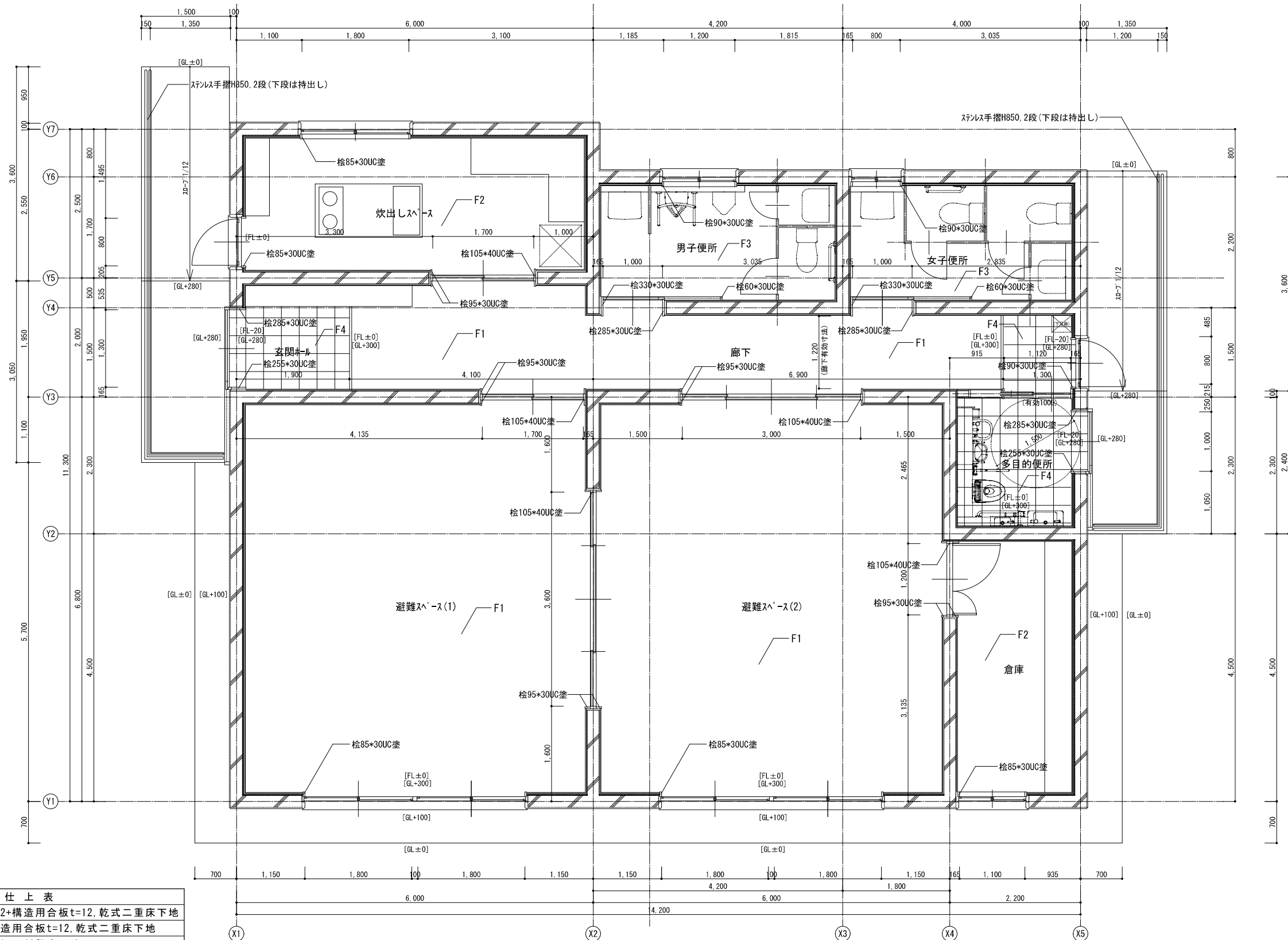
矩計図 S=1:50



断面詳細図(玄関部) S=1:50

断面詳細図 S=1:50

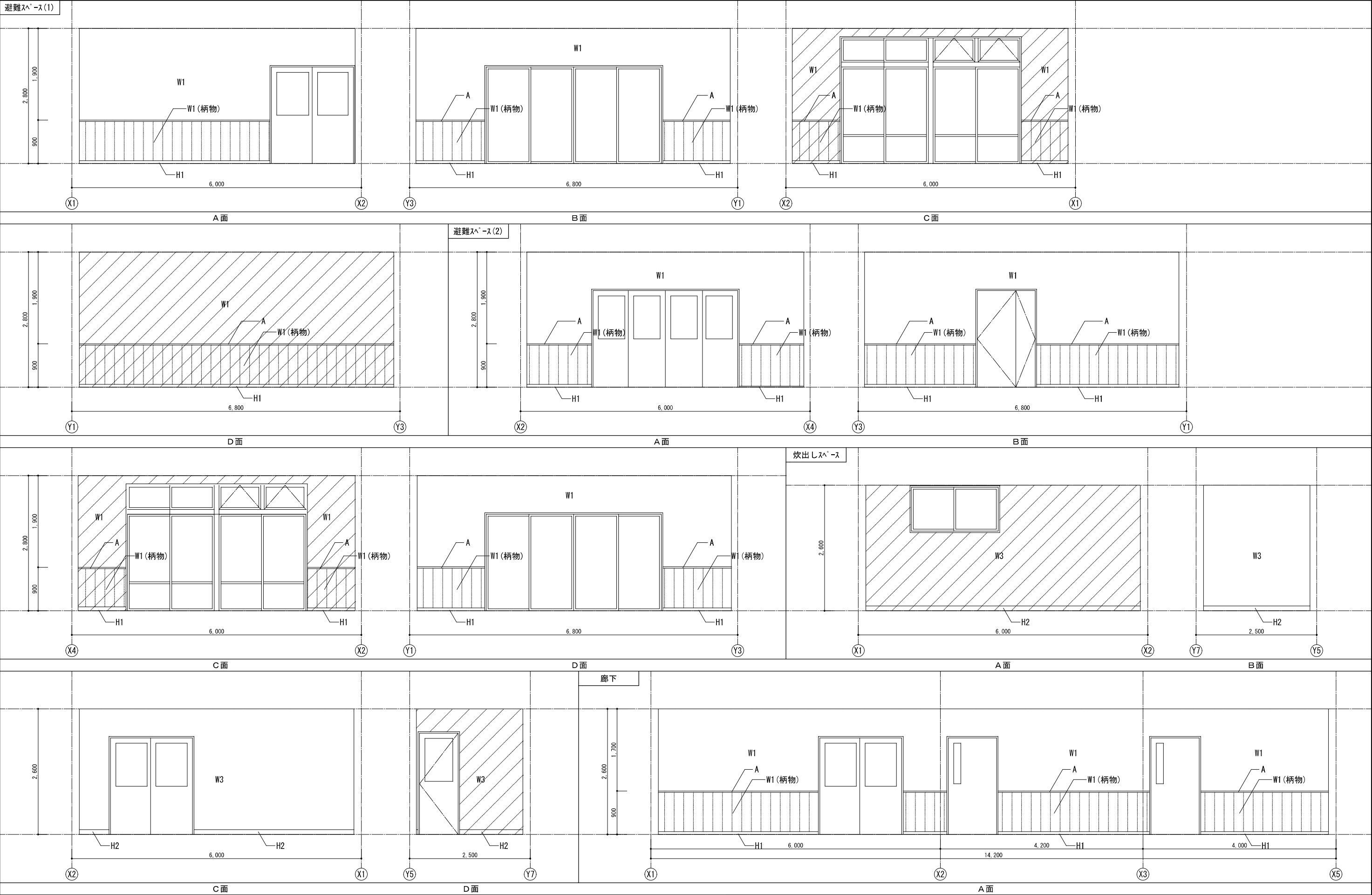
工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号	管理建築士
	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			代表取締役 福家 正義	一般建築士登録第203207号 村田 憲明
図 名 矩計図・断面詳細図	縮 1/50	年 月 日 R7.05	図 面 No. A 07	監匠担当	構造担当



床仕上表	
F1	複合フローリング t=12+構造用合板 t=12, 乾式二重床下地
F2	ビニル床シート張+構造用合板 t=12, 乾式二重床下地
F3	ビニル床シート張, モルタル t=40 程度下地
F4	300角磁器質タイル張, モルタル t=40 程度下地

平面詳細図 S=1:50

工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明	
図名 平面詳細図	縮尺 1/50	年月日 R7.05	図面No. A-08	意匠担当	構造担当	



W1	石膏ボードt=12.5(GL工法)の上ビニルクロス張	W5	押入用石膏ボードt=12.5(GL工法)	A	桧見切30*10
W2	石膏ボードt=12.5(LGS100下地)の上ビニルクロス張				
W3	石膏ボードt=9.5(GL工法)の上化粧珪酸カルシウム板t=6.0	H1	木製巾木H=60		
W4	石膏ボードt=12.5(LGS100下地)の上化粧珪酸カルシウム板t=6.0	H2	ビニル巾木H=100		

硬質ウレタンフォームt=25吹付下地

工事名
令和7年度 脇ノ山公民館新築工事

図名
展開図(1)

(株)ハウジング総合コンサルタント

高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778

縮尺
1/50

年月日
R7.05

図面No.
A-09

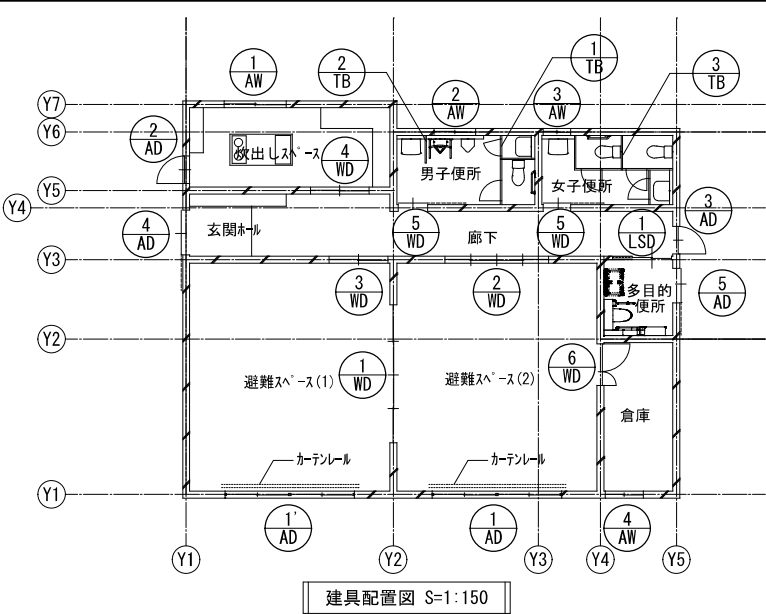
高知県知事登録119号
代表取締役
福家 正義

意匠担当

管理建築士
一級建築士登録第203207号
村田 憲明

構造担当

符号	室名	数量	<div>1 AD</div>	避難スペース(1), 避難スペース(2)	合計	2	<div>2 AD</div>	炊出しスペース	合計	1
形状寸法										
	材質・種類	見込	7㎜2連引違戸+引違窓+突出窓		70	7㎜ミラツシュ片開戸		70		
	ガラス	T5+A6+T5				T5+A6+T5				
	塗装	-				-				
	建具金物	クレセント錠, 7㎜水切, 排煙バレータ- (FL+1400)				H, DC, LA, T, S2				
		他附属金物一式, ※AD-1' は外鍵付				他附属金物一式				
符号	室名	数量	<div>3 AD</div>	廊下	合計	1	<div>4 AD</div>	玄関ホール	合計	1
形状寸法										
	材質・種類	見込	7㎜ミラツシュ片開戸		70	7㎜ミラツシュ片引戸		70		
	ガラス	T5+A6+T5				T5+A6+T5				
	塗装	-				-				
	建具金物	H, DC, LA, T, S2				FF, 引手, 自閉式上吊引戸装置 (ストップ付), IM (大型サムターン, 非常時解錠)				
		他附属金物一式				他附属金物一式				
符号	室名	数量	<div>1 AW</div>	炊出しスペース	合計	1	<div>2 AW</div>	男子便所	合計	1
形状寸法	※排煙窓計算対象外									
	材質・種類	見込	7㎜引違窓		70	7㎜引違窓		70		
	ガラス	T5+A6+T5				T5+A6+T5				
	塗装	-				-				
	建具金物	クレセント錠, 7㎜水切, 網戸				クレセント錠, 7㎜水切, 網戸				
		他附属金物一式				他附属金物一式				
符号	室名	数量	<div>3 AW</div>	女子便所	合計	1	<div>4 AW</div>	倉庫	合計	1
形状寸法										
	材質・種類	見込	7㎜引違窓		70	7㎜引違窓		70		
	ガラス	T5+A6+T5				T5+A6+T5				
	塗装	-				-				
	建具金物	クレセント錠, 7㎜水切, 網戸				クレセント錠, 7㎜水切, 網戸				
		他附属金物一式				他附属金物一式				



建具記号			
AW	: アルミ製窓	WD	: 木製扉
AD	: アルミ製扉	WW	: 木製窓
AG	: アルミ製ガラリ窓	S	: 障子
SW	: 鋼製窓	FD	: 襖
SD	: 鋼製扉	OS	: オーバースライダー
SG	: 鋼製ガラリ	SS	: 重量シャッター
LSD	: 軽量鋼製扉	PS S	: パネル, グリルシャッター
STW	: ステンレス製窓	LSS	: 軽量シャッター
STD	: ステンレス製扉	TF	: 防煙垂壁
STG	: ステンレス製ガラリ窓	TB	: トイレブース
SPT	: スチールパーティション		

ガラス記号			
F	: 型板ガラス	SR	: 熱線反射ガラス
FL	: フロート板ガラス	HA	: 熱線吸収板ガラス
FW	: 網入型板ガラス	IG	: 複層ガラス
PW	: 網入磨板ガラス	HS	: 倍強度ガラス
L	: 合わせガラス	GB	: ガラスブロック
T	: 強化ガラス	PC	: ポリカーボネイト樹脂板
FT	: 強化型板ガラス		
AP	: アルミパネル	A	: 空気層

建具金物記号			
H	: 丁番 (ステンレス)	JH	: 自由丁番
PH	: ピボットヒンジ	FH	: フローアヒンジ
AH	: オートヒンジ	LH	: ラバトリーヒンジ
HC	: ヒンジクローザー	DC	: ドアチェック
F	: フランス落し	T	: 戸当たり
HM	: 本締錠付モノロック	LO	: レバーハンドル空錠
MH	: シリンダー付ケースロック	LA	: レバーハンドル錠
BH	: 本締錠	LP	: 非常開装置付レバーハンドル空錠
BHE	: 非常開装置付本締錠	OM	: 空錠
FF	: シリンダー付引き戸錠	IM	: 表示錠
SL	: シリンダー付引違戸用錠	BM	: 浴室錠
GT	: グレモン錠	AG	: アルミ類縁
PP	: 押板		
PB	: 握棒		
CH	: ケースハンドル錠		
OP	: ワンタッチ式排煙用オペレーター装置		

二重水切 (アルミ) : 記入数値は巾寸法を示す

査措記号			
S1	: ステンレス沓摺 (□型)		
S2	: ステンレス沓摺 (ㄱ型)		
S3	: ステンレス沓摺 (ㄷ型)	ネオブレン製バックিং	
S4	: ステンレスレールM型		
S5	: ステンレスレールU型		

特記事項 (共通)			
1 : 建具金物は原則としてステンレス製とする。			
2 : ガラスの取り付けは、全てシリコーン系 (SR-1) とする。			
3 : ガラリ (ドア・ガラリ共) の有効開口率は35%程度とする。			
4 : レバーハンドル錠、本締錠等は原則として部屋側サムターン、外部側錠の組合わせとする。			
5 : 扉部が柱、壁等に当たる箇所は、床付戸当たりを付けること。戸当たりの取付位置は、監督職員の指示による。			
6 : FH・AH・DCの開閉装置は、ストップ付とする。			
7 : 建具は、付属金物一式を含む。			
8 : 特記なきかぎり鋼製建具枠はDP塗とする。			

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明	
図 名 建具表 (1)		縮 尺 1 / 50, 150	年 月 日 R7.05	図 面 No. A — 11	意匠担当	構造担当	

符号	室名	数量	<div><div>1</div><div>WD</div></div>	避難スペース(1)	合計	1	<div><div>2</div><div>WD</div></div>	避難スペース(2)	合計	1	<div><div>3</div><div>WD</div></div>	避難スペース(1)	合計	1	<div><div>4</div><div>WD</div></div>	炊出しスペース	合計	1	
形状寸法																			
	材質・種類	見込	ホリ合板4枚引違戸			36	ホリ合板4枚引違戸			36	ホリ合板引違戸			36	ホリ合板引違戸			36	
	ガラス	-			FT5			FT5			FT5			T5					
	塗装	-			-			-			-								
	建具金物	SUS掘込引手, 7ℓミVレール, Vレール専用戸車			SUS掘込引手, 7ℓミVレール, Vレール専用戸車			SUS掘込引手, 7ℓミVレール, Vレール専用戸車			SUS掘込引手, 7ℓミVレール, Vレール専用戸車								
		他附属金物一式			他附属金物一式			他附属金物一式			他附属金物一式								
備考														他附属金物一式					
符号	室名	数量	<div><div>5</div><div>WD</div></div>	男子便所, 女子便所	合計	2	<div><div>6</div><div>WD</div></div>	倉庫	合計	1			合計			合計			
形状寸法																			
	材質・種類	見込	ホリ合板片引戸			36	ホリ合板親子戸			36									
	ガラス	FT5			-			-											
	塗装	-			-			-											
	建具金物	IM, ソフトクローザー(レール・ローラー共), SUS引手			LO, H, F, DC, T, ガラリ														
		他附属金物一式			他附属金物一式														
備考																			
符号	室名	数量	<div><div>1</div><div>TB</div></div>	男子便所	合計	1	<div><div>2</div><div>TB</div></div>	男子便所	合計	1	<div><div>3</div><div>TB</div></div>	女子便所	合計	1			合計		
形状寸法																			
材質・種類	見込	高圧メラミン樹脂化粧板トイレブース			40	高圧メラミン樹脂化粧板トイレブース			40	高圧メラミン樹脂化粧板トイレブース			40						
ガラス	-			-			-			-									
塗装	-			-			-			-									
建具金物	7ℓミエッジ, 7ℓミ笠木, ステンレス笠木, 表示式スライドホールド(非常解錠付), T			7ℓミエッジ, 7ℓミ笠木, ステンレス笠木			7ℓミエッジ, 7ℓミ笠木, ステンレス笠木			7ℓミエッジ, 7ℓミ笠木, ステンレス笠木, 表示式スライドホールド(非常解錠付), T									
	他附属金物一式			他附属金物一式			他附属金物一式			他附属金物一式									
備考																			

建具記号			
AW	: アルミ製窓	WD	: 木製扉
AD	: アルミ製扉	WW	: 木製窓
AG	: アルミ製ガラリ窓	S	: 障子
SW	: 鋼製窓	FD	: 襖
SD	: 鋼製扉	OS	: オーバースライダー
SG	: 鋼製ガラリ	SS	: 重量シャッター
LS	: 軽量鋼製扉	PSS	: パネル、グリルシャッター
STW	: ステンレス製窓	LSS	: 軽量シャッター
STD	: ステンレス製扉	TF	: 防煙垂壁
STG	: ステンレス製ガラリ窓		
SPT	: スチールパーティション	TB	: トイレブース

ガラス記号			
F	: 型板ガラス	SR	: 熱線反射ガラス
FL	: フロート板ガラス	HA	: 熱線吸収板ガラス
FW	: 網入型板ガラス	IG	: 複層ガラス
PW	: 網入磨板ガラス	HS	: 倍強度ガラス
L	: 合わせガラス	GB	: ガラスブロック
T	: 強化ガラス	PC	: ポリカーボネイト樹脂板
FT	: 強化型板ガラス		
AP	: アルミパネル	A	: 空気層

建具金物記号			
H	: 丁番（ステンレス）	JH	: 自由丁番
PH	: ビボットヒンジ	FH	: フロアーヒンジ
AH	: オートヒンジ	LH	: ラバトリーヒンジ
HC	: ヒンジクローザー	DC	: ドアチェック
F	: フランス落し	T	: 戸当たり
HM	: 本締錠付モノロック	LO	: レバーハンドル空錠
MH	: シリンダー付ケースロック	LA	: レバーハンドル錠
BH	: 本締錠	LP	: 非常開装置付レバーハンドル錠
BHE	: 非常開装置付本締錠	OM	: 空錠
FF	: シリンダー付引き戸錠	IM	: 表示錠
SL	: シリンダー付引違戸用錠	BM	: 浴室錠
GT	: グレモン錠	AG	: アルミ額縁
PP	: 押板		
PB	: 握棒		
CH	: ケースハンドル錠		
OP	: ワンタッチ式排煙用オペレーター装置		

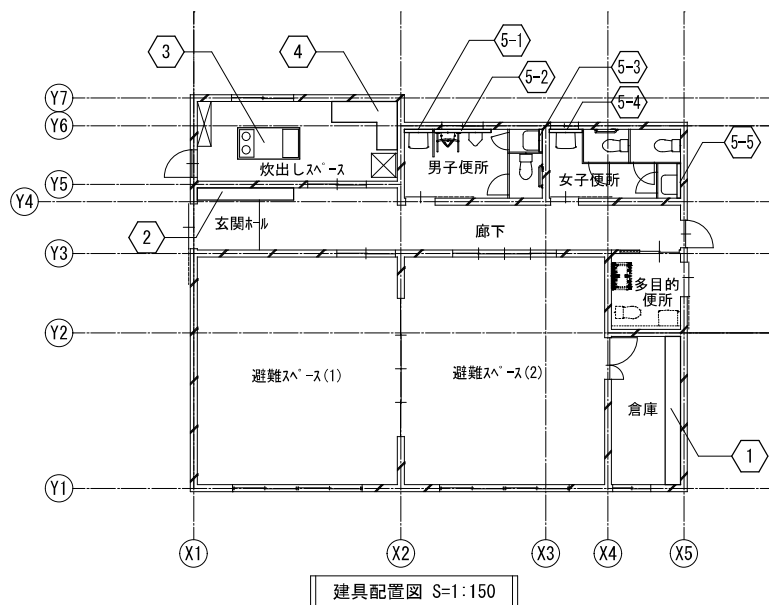
(90° 開き・取付位置：FL+1500以下)

二重水切（アルミ）：記入数値は巾寸法を示す

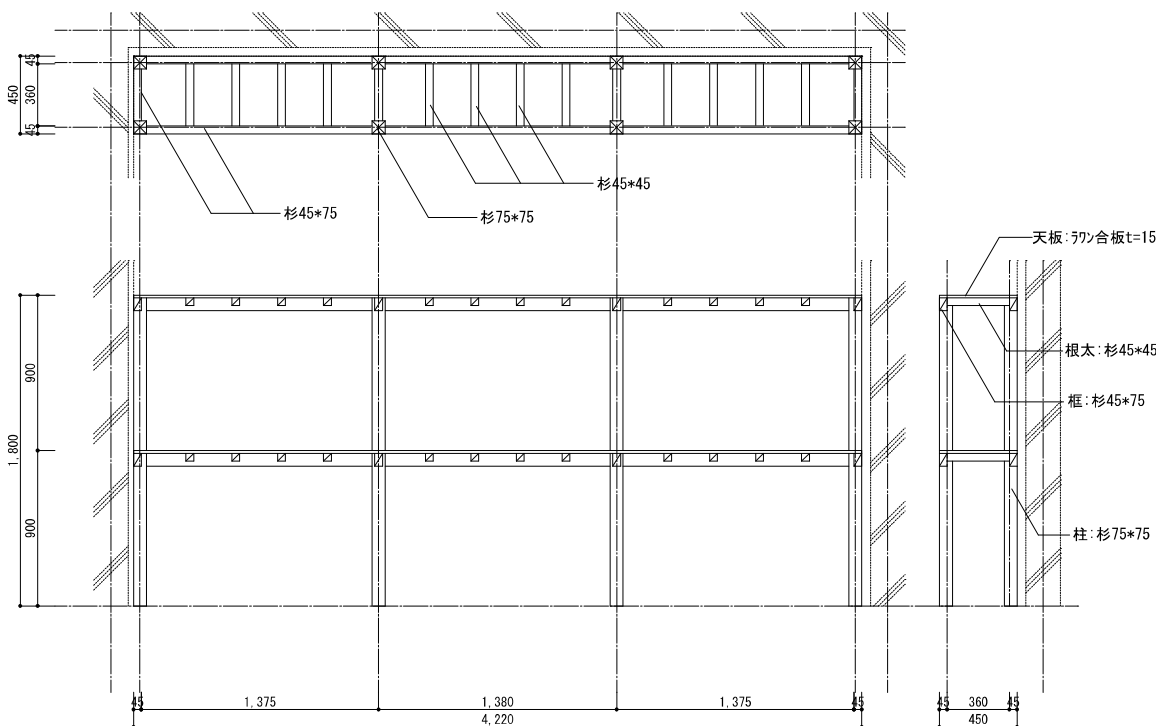
査据記号	
S1	: ステンレス沓摺（□型）
S2	: ステンレス沓摺（ㄷ型）
S3	: ステンレス沓摺（ㄱ型）
ネオブレン製バックিং	
S4	: ステンレスレールM型
S5	: ステンレスレールU型

- 特記事項（共通）
- 建具金物は原則としてステンレス製とする。
 - ガラスの取り付けは、全てシリコーン系（SR-1）とする。
 - ガラリ（ドアガラリ共）の有効開口率は35%程度とする。
 - レバーハンドル錠、本締錠等は原則として部屋側サムターン、外部側錠の組合わせとする。
 - 扉部が柱、壁等に当たる箇所は、床付戸当りを付けること。戸当りの取付位置は、監督職員の指示による。
 - FH・AH・DCの開閉装置は、ストップ付とする。
 - 建具は、付属金物一式を含む。
 - 特記なきかぎり鋼製建具枠はDP塗とする。

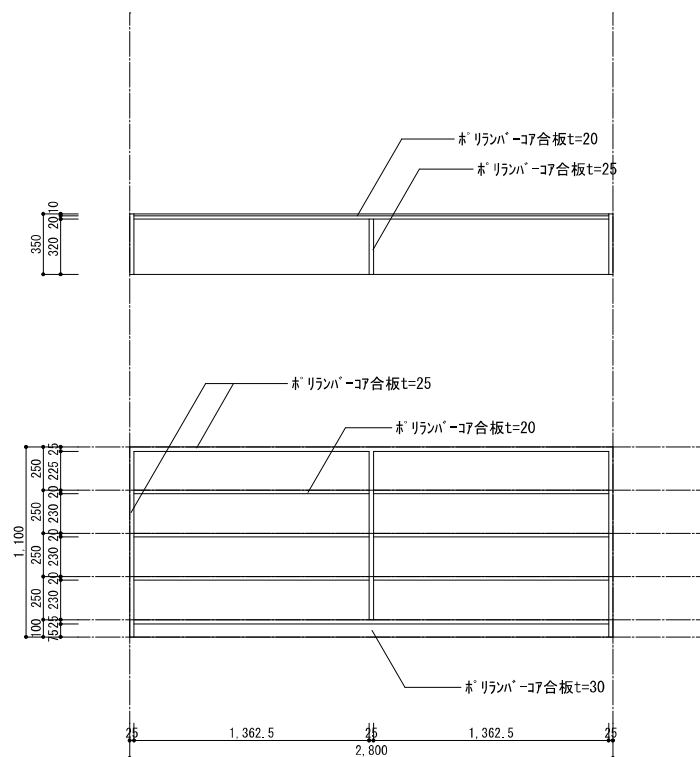
工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明		
図名 建具表(2)		縮尺 1/50	年月日 R7.05	図面No. A-12	意匠担当		構造担当		



記号	名称	木製棚	数量	1
	室名	倉庫		
材種	杉、ワケ合板			
金物				
塗装				
備考				



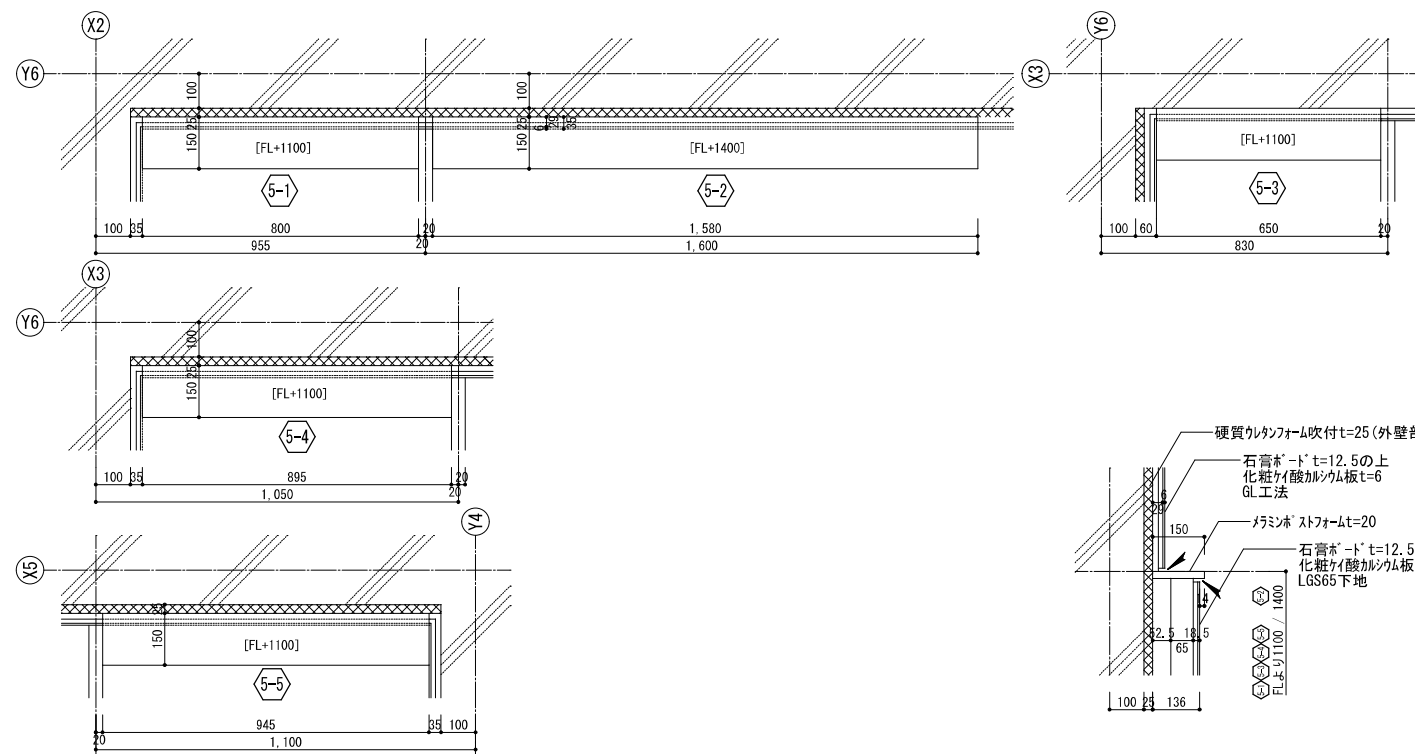
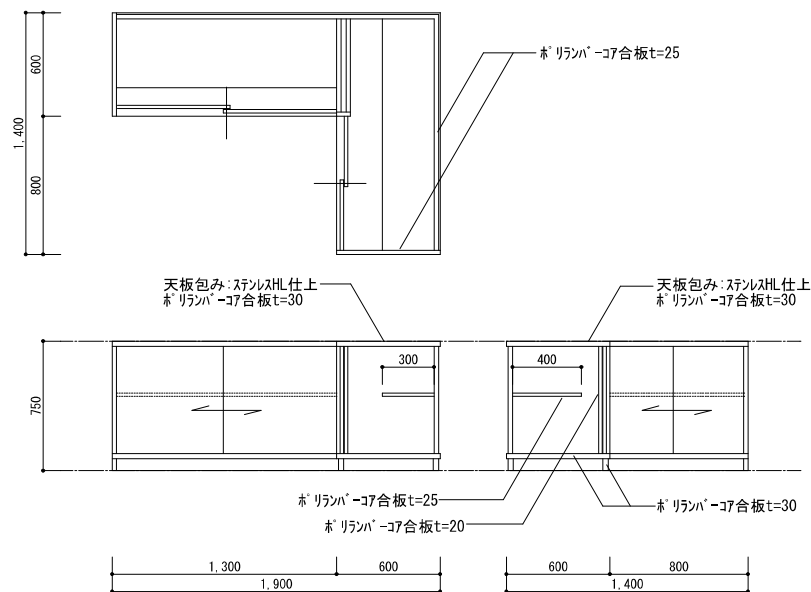
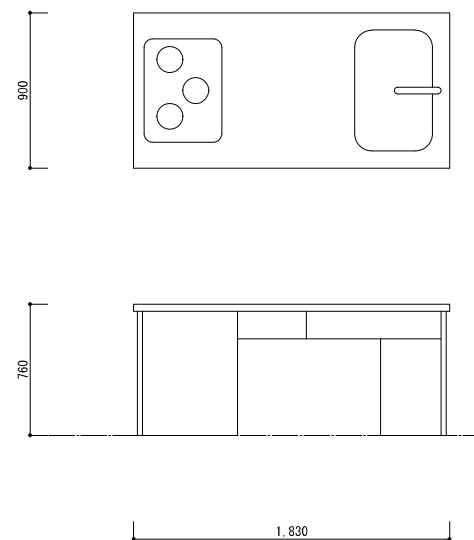
記号	2	名 称	下足箱	数量	1
		室 名	玄関ホ-ル		
材 種		ホリソバ・70合板:t=25(本体・天板・底板:t=25/棚・背面:t=20/台輪:t=30)			
金 物		底面受SUS:t=0.4(3方立上げ), SUSφホリ, 70×50mm レール			
塗 装					
備 考					



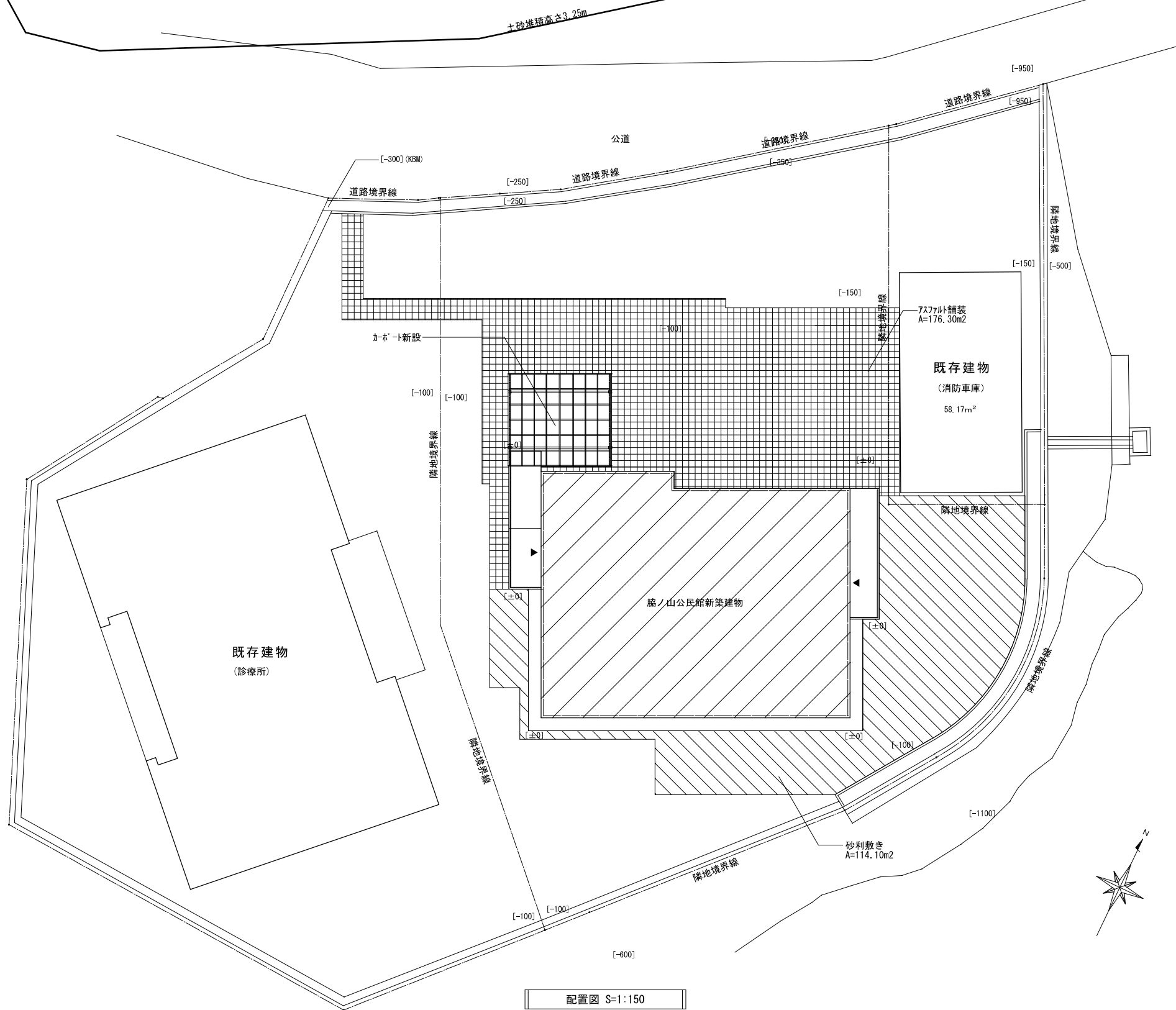
記号	3	名称	調理台	数量	1
		室名	炊出しﾊﾞｰｽ		
材種	本体:亜鉛ｸﾛﾐｰﾄﾞ鋼板				
金物	天板:SUS430, 流し:SUS304				
塗装	粉体塗装仕上				
備考	※ｸﾛﾐｰﾄﾞ生徒用調理台LE-300 同等品				

記号	4	名称 室名	作業台 倉庫	数量	1
材種	ホリ合板777×2125(本体・棚:t=25/扉:t=20/天板・底板・台輪:t=30)				
金物	天板包み:SUS430, 引戸レール, SUS9'ホリ777×2125レール				
塗装					
備考					

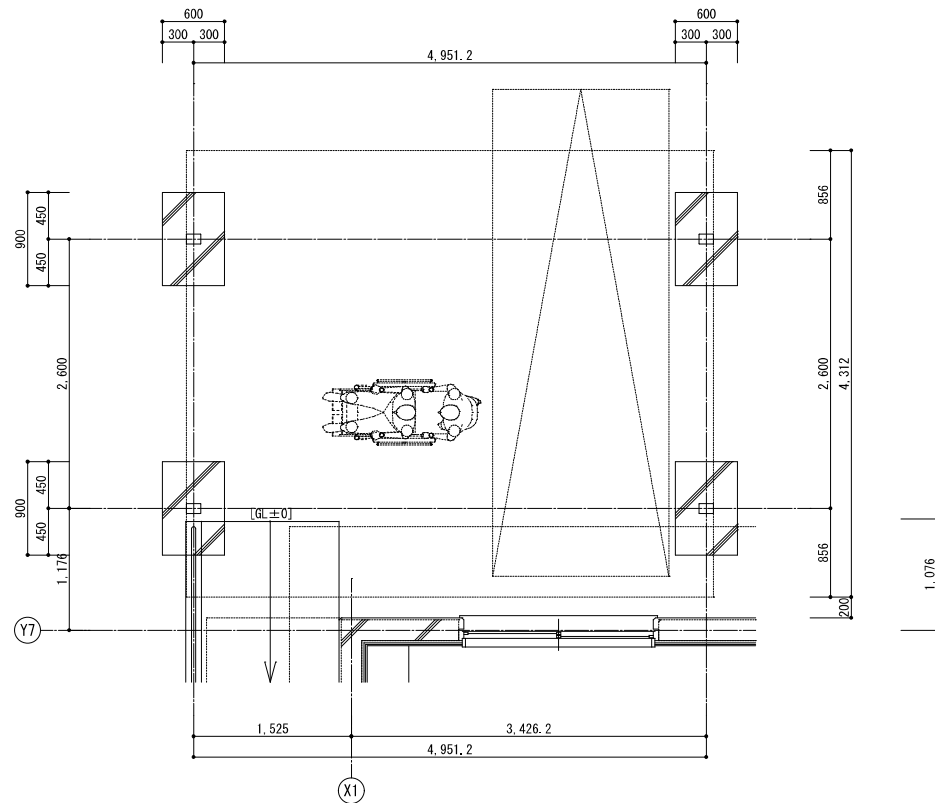
記号	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	名称 室名	面台 倉庫	数量	1
	材	種	アルミストレープ=20						
	金	物							
	塗	装							
	備	考							



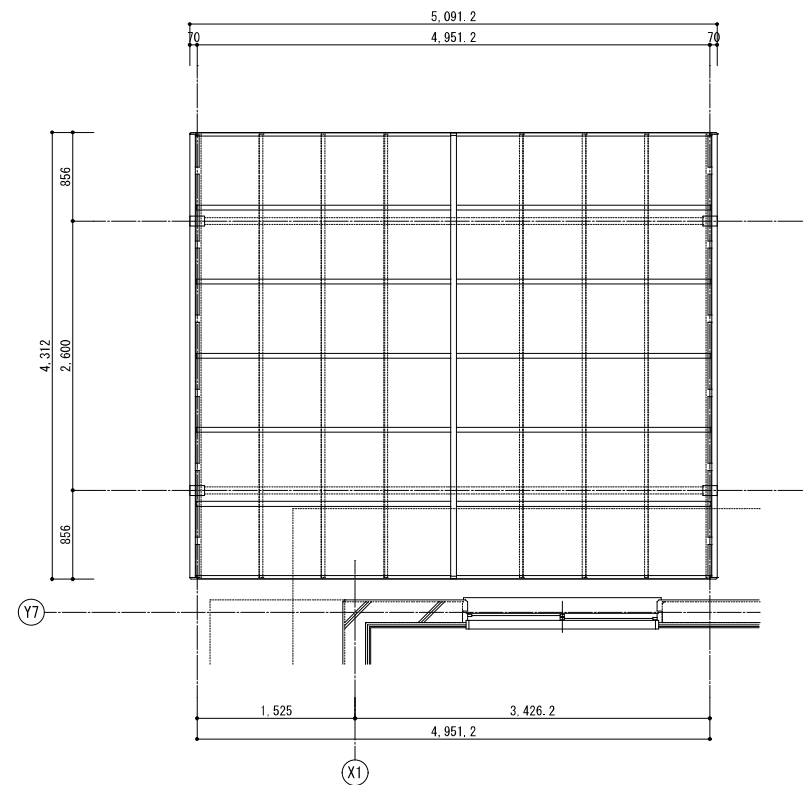
工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 098-883-1030 FAX 098-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 恵明	
図名 家具詳細図	縮尺 1 / 50.150	年月日 R7.05	図面No. A — 13	意匠担当	構造担当	



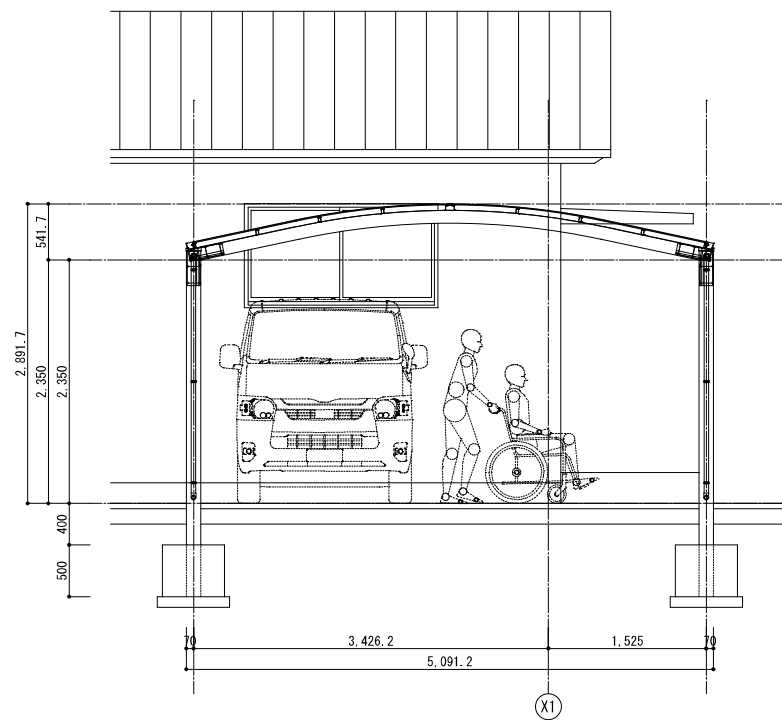
工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村田 憲明	
図名 外構図	縮尺 1/150	年月日 R7.05	図面No. A-14	意匠担当		構造担当	



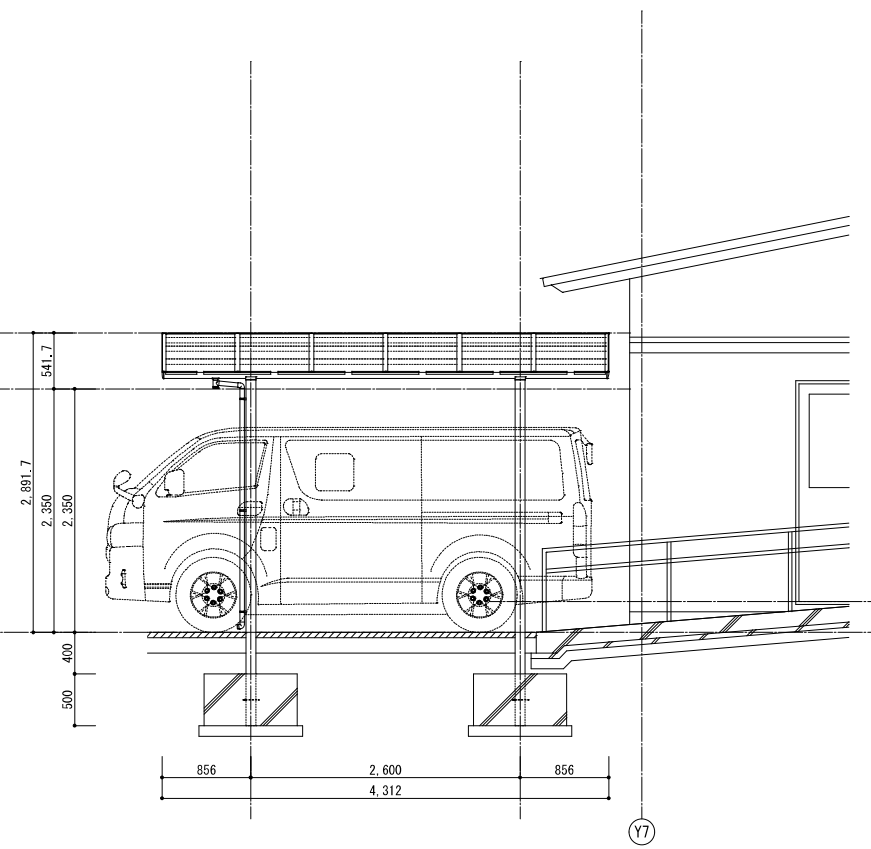
基礎伏図 S=1:50



屋根伏図 S=1:50



北面立面図 S=1:50



西面立面図 S=1:50

三協アルミ カマフラース 同等品
LED照明付

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-983-1030 FAX 088-982-4779				高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
	縮 尺 1/50	年 月 日 R7.05	図 面 No. A — 15	監証担当			
図 名 カーポート詳細図						構造担当	

・修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する

(1) 本仕様書の適用範囲
本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が 18 N/mm²以上 60 N/mm²以下のコンクリートと、JIS G 3112に規定するSD295、SD345、SD390およびSD490の鉄筋コンクリート用棒鋼を用いる高さが 60 m 以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨等建築物の設計及び工事に適用する。

(2) 仕様書等の優先順位
設計図書および仕様書の優先順位は以下による。

- ①特記仕様
- ②設計図（伏図、軸測図、部材リスト、詳細図など）
- ③標準図（鉄筋コンクリート構造配筋標準図など）
- ④建築工事標準仕様書・同解説（日本建築学会）等

(1) 建築場所
高知県吾川郡いの町脇ノ山264-2

(2) 工事種別
☒新築 ☐増築 ☐改築 ☐ ☐

(3) 構造設計一級建築士の関与 ☐必要 ☒必要としない
☐法第20条第二号（RC造高さ 20 m超 ☐S造 4 階建以上 ☐木造高さ 13 m超 ☐その他）
☐

(4) 階数
地下 - 階 地上 1 階 塔屋 - 階
地下 階 地上 階 塔屋 階
地下 階 地上 階 塔屋 階

(5) 構造種別

構造種別	該当階等	架構特徴等
<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 (RC)	基礎 1階～ 1 階	<input type="checkbox"/> 免震建物
<input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	階～ 階	<input type="checkbox"/> 新震建物
<input type="checkbox"/> 鉄骨造 (S)	階～ 階	<input type="checkbox"/> 塔状建物
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(6) 主要用途

☐事務所 ☐共同住宅 ☐病院 ☐店舗 ☐倉庫 ☒公民館 ☐

(7) 屋上付属物

<input type="checkbox"/> キュービクル	kN	<input type="checkbox"/> 高架水箱	kN	<input type="checkbox"/> 広告塔	kN	<input type="checkbox"/> 煙突	m
<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備	□		□		□		

(8) 設計荷重				(N/m ²)
(a) 主な積載荷重				
室 名	床 用	架 構 用	地 盤 用	
屋根	1,000	600	400	
居室等	3,500	3,200	2,100	

(b) 1次設計用地震力

$C_u = 0.20$	$Z = 0.90$	$R_u = 1.00$	$K(\text{地下}) = -$
--------------	------------	--------------	--------------------

(c) 風荷重
 地表面粗度区分 III 基準風速 $V_0 = 38.0 \text{ m/sec}$

(d) 雪荷重 $d=d_o+(h-h_o) \times 0.0004=0.1+(543.7-17.2) \times 0.0004=0.31 \rightarrow 0.40 \text{ m}$
 ■ 垂直積雪量 40.0 cm ■ 設計用雪荷重 20.0 kN/m² □

(e) 特殊の荷重及び仕上材

<input type="checkbox"/> エレベーター	kN	基	<input type="checkbox"/> 受水槽	kN	<input type="checkbox"/> エスカレーター
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(9) 構造計算ルート
X方向ルート 1-() Y方向ルート 1-()

(10) 一次設計時用層間變形角

(11) 付帯工事
☐ 門扉 ☐ 落盤 ☐ 駐輪場 ☐ 機械式駐車場 ☐

(12) 特定天井
☐有 ☒無

(13) 屋根、床、壁

材 質	型 厚 その他	使用箇所	仕様・標準
ALC (JIS A 5416)	厚	<input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版	<input type="checkbox"/> スライド <input type="checkbox"/> ボルト止め
押出し成形セメント版			<input type="checkbox"/> ロッキング <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ハーフPca版 <input type="checkbox"/> Pca版	厚	<input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版	<input type="checkbox"/>
折 板	H= 厚	<input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特殊デッキプレート 大臣認定 ()	型式 厚	<input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 床版	<input type="checkbox"/>

1) コンクリート		レディミクストコンクリート		JIS 0 1001, JIS 0 1011, JIS A 5308		
適用箇所		設計基準強度 Fe = N/mm ²	品質基準強度 Fq = N/mm ²	スランジ cm (スランジフロー)	比重 γ = kg/m ³	備考 (使用部位)
階	部位					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
1	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input checked="" type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	24	24	18	23	
基礎	<input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 基礎 <input checked="" type="checkbox"/> 地中梁 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	24	24	15	23	
基礎	土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 21	21	15	23	※本仕様適用外
	捨てコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 21	21	15	23	※本仕様適用外
セメントの種類		<input checked="" type="checkbox"/> ポルトランドセメント (<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 中熱 <input type="checkbox"/> 低熱 <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> 高炉セメント (<input type="checkbox"/> A 種 <input type="checkbox"/> B 種 <input type="checkbox"/> C 種) <input type="checkbox"/>				
細骨材の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 砂 <input type="checkbox"/> 山砂 <input type="checkbox"/> 砕砂 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 砕石 <input type="checkbox"/> 砕石 <input type="checkbox"/>				
水の区分		<input checked="" type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> 工業用水 <input type="checkbox"/>				
構造物コンクリート強度を 保証する材料		材齢 (<input checked="" type="checkbox"/> 28 日 <input type="checkbox"/> 56 日 <input type="checkbox"/> 91 日) 養生 (<input type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> 現場水中 <input type="checkbox"/> 現場封かん) <input type="checkbox"/>				
単位水法		<input checked="" type="checkbox"/> 185 kg/m ³ 以下 <input type="checkbox"/> 175 kg/m ³ 以下 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 270 kg/m ³ 以上 <input type="checkbox"/>				
単位セメント量		<input checked="" type="checkbox"/> AE 減水剤 <input type="checkbox"/> 減水剤 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
空気量		<input checked="" type="checkbox"/> 4.5 % <input type="checkbox"/> 3.0 % <input type="checkbox"/>				
硬化温度		<input checked="" type="checkbox"/> 3.3 kg/m ³ 以下 <input type="checkbox"/>				
水セメント比		<input checked="" type="checkbox"/> 65 % 以下 <input type="checkbox"/> 50 % 以下 <input type="checkbox"/>				

(2) コンクリートブロック (□ JIS A 5406)
□ A種 □ B種 □ C種 厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190 使用箇所(□ □)

(3) 鉄 筋		使 用 箇 所		備 考
鉄 筋	種 類	使用径mm	壁・梁・壁・基礎・土間 基礎梁	■ 並ね棒手 ■ ガス圧操縦手 □ 溶接棒手 □ 機械式継手 □ □ 機械式定着工法
異 形 鉄 筋 (JIS G 3112)	■ SD295	D10~D16		
	■ SD345	D19~D25		
	□ SD390			
	□ SD490			
	□			
高強度せん断補強筋	□ 685			□ 大臣認定番号 MSRB-
	□ 785			
	□ 1275			
	□			
溶 接 金 網 (JIS G 3551)	□			
	□			

注2) 各鉄手の使用詳細については本仕様書の2の9.(2)鉄筋の項の鉄筋継手の項に■にて表示すること。

種 類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
-----	------	------	-------------

<input type="checkbox"/> SN400A	<input type="checkbox"/> SN400B	<input type="checkbox"/> SN400C	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	JIS G 3136
<input type="checkbox"/> SN490B	<input type="checkbox"/> SN490C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	JIS G 3136
<input type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> SS490	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	JIS G 3101
<input type="checkbox"/> SM400A	<input type="checkbox"/> SM490A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	JIS G 3106
<input type="checkbox"/> BCR295	<input type="checkbox"/> TSC295	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	大庄認定品 認定番号 MSTL-111111
<input type="checkbox"/> BGP235	<input type="checkbox"/> BGP325	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	大庄認定品 認定番号 MSTL-111111
<input type="checkbox"/> STR400	<input type="checkbox"/> STR490	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	JIS G 3466
<input type="checkbox"/> SSC400	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	JIS G 3350
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
溶接材料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			JIS Z
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

☐ 5 ボルト等
☐ 高力ボルト
☐ F10T (JIS B 1186) ☐ F10T 大臣認定番号() ☐ M16、M20、M22、M24、☐
☐ 高力ボルト F8T 大臣認定番号() ☐ M16、M20、M22、M24、☐
☐
☐ ボルト (JIS B 1186) M M ☐ 4.8 (4T) ☐ ☐
☐ アンカーボルト (構造用アンカーボルト)
☐ SS400 M L mm ナット (☐ シングル、☐ ダブル)
☐ ABR400 M L mm ナット (☐ シングル、☐ ダブル) (JIS B 1720)
☐ M L mm ナット (☐ シングル、☐ ダブル)

□頭付スタッド(JIS D1198)

φ =	L =	mm	使用箇所 (□柱 □大梁 □小梁)
φ =	L =	mm	使用箇所 (□柱 □大梁 □小梁)

(1) 地盤調査資料と調査計画			□無 (調査計画) □有 (調査計画)			□無 (調査計画) □有 (調査計画)		
調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	●		静的貫入試験			標準貫入試験	●	
水平地盤圧力係数の測定			十貫試験			物理探査		
試験堀 (支保脚の確認)			平板載荷試験			液状化判定		
スウェーデン式サウンディング			規模透水試験			P S 処理		

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)

測 点	試 験	標準貫入試験	試 験 内 容
測 点	試 験	10	○調査地盤
		20	○位置図
		30	
		40	
		50	
		60	
			別紙に依る

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

(1) 直接基礎 ☒ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☐ 独立基礎 試験種 ☐ 有 ☐ 無
深さ GL- m、支持層-、長期許容支持力度 kN/m^2 載荷試験 ☐ 有 ☐ 無

(2) 地盤改良 ☐ 浅層混合処理工法 ☐ 深層混合処理工法 ☐
深さ GL- m、長期許容支持力度 kN/m^2 載荷試験 ☐ 有 ☐ 無
注「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2018」を参考とする

(3) 杭基礎

- 支持層の想定深度分布図を作成し、杭と支持層の関係を確認する。
- 施工計画書に施工時における試験杭と本杭の支持層の確認方法を明記する。
- 支持層の確認結果を施工結果報告書にまとめる。

材 料			施 工 法		備 考	
□礫石	コンクリートFc	N/m ³	□オールケーシング	年 月 日	※ 定 号	
□コンクリート杭	スラブ	m以下	□リバースケーシング			
	セメント	kg/m ³	□アースドリル			
	単位水量	kg/m ³	□掘底杭 □掘底・底底杭			
			□鋼管杭杭杭 □			
			□深 礎 □手掘			
			□掘削杭 □掘削杭			

既設杭・杭種	種 類	材 料	施 工 法	備 考
<input type="checkbox"/> PRC	<input type="checkbox"/> Ⅰ種 <input type="checkbox"/> Ⅱ種 <input type="checkbox"/> Ⅲ種 <input type="checkbox"/> Ⅳ種	<input type="checkbox"/> 鋼材口	<input type="checkbox"/> 口埋め込み	第 〇 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> PHC	<input type="checkbox"/> Ⅰ型 <input type="checkbox"/> Ⅱ型 <input type="checkbox"/> Ⅲ型 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 鋼材口	<input type="checkbox"/> 口打ち込み	
<input type="checkbox"/> 鋼管		<input type="checkbox"/> コンクリート口FRP	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> SC	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> コンクリート口FC/05	<input type="checkbox"/>	

杭仕様 試験杭	<input type="checkbox"/> 施工計画書承認 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 杭施工結果報告書 <input type="checkbox"/> 打ち込み・ <input type="checkbox"/> 載荷・ <input type="checkbox"/> 孔壁測定	本
杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の矢桁の深さ(m) 本数	物記事項

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

- ☐ 日本建築学会「JASSG 2018年版」「鉄骨筋コンクリート構造」「鉄骨工事技術指針」
- ☐ 一社「日本鋼構造協会」「建築鉄骨工事施工指針」
- ☐ 鉄骨製作管理技術者登録機構「完全ゼロからの鉄骨工事の施工・検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

- ☐ 製作工場 ☐ 製作費領書 ☐ 工作図 ☐ 前工計画書
- ☐ 認定工場（大臣認定 S H M R J グレード）
- ☐ 材料規格証明書※、または試験成績書
- ☐ 鋼材 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ 溶付スタッフ

※一社「日本鋼構造協会」「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはモデルシート。

- ☐ 社内検査表 ☐

(3) 工事監理者が行う検査項目

（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）

- ☐ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 焊缝検査 ☐ 建方検査 ☐

(4) 接合部の溶接は下記によること

- ☐ 平成27年建設省告示第1464号第二号、イ、ロ
- ☐ 鉄骨造等の建築物の工事に關する東京都取組要綱
- ☐ 日本建築学会「溶接工作規程、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、IX」
- ☐ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針」工事現場用編

(5) 接合部の検査

- ☐ 溶接部の検査（検査結果は工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	
□完全溶込み溶接部 (完全溶接部)	外観検査(※)	% 回	% 回	()	※平成17年度報告告示 第1464号第二号による 目録及び計測 (注) 東京都の要請に 基づき必要となる運搬 機の測定を実施する
□	超音波探傷検査	% 回	% 回	()	
	内筒ノミ検査 検査 (注)	% 回	% 回	()	
	マクロ試験、その他	% 回	% 回	()	
□	外観検査(※)	% 回	% 回	()	
第三者検査機関名		(都知事登録 号)			
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入検査を代行するため自ら専断した検査会社をいう。					

注1) 現場点検部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行う。
注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

☐ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監督者に報告すること）
 軸力導入試験 ☐ 是 ☐ 否 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☐ 否
☐ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後のすれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する
☐ トラス形高力ボルトは二次締め後、マーキングのずれとビントールの確断を確認する。

(6) 防鏽塗裝

☐ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の腐蝕層及びビュンクリートで覆覆される以外の部分とする。新止め
 使用は、○JIS K 5621、○JIS K 5626、○JIS K 5674、□（フォースター F☆☆☆☆）
 を使用し、2回塗りを選択すること、実状に応じて決定すること。
☐ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の劣化調査は急に行い、塗装は工場塗装と同じ防錆止
 めの塗料を使用し、2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

- 建築設備の構造および構造体への緊結部分とは、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- 建築設備の支持構造部および緊結金具には、鎮火中や、防雨のための有効な措置を講ずること。
- 建築物に設けられる屋上からの突出する各種・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対しては構造耐力上主要な部分に緊結される、安全であること。
- 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とし、鉄筋コンクリート造とする。
- 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
- 装置機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- ニューベーター・エスカレーター等の駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
- また、地震時の層間変形に追従できること。
- 特記以外の乗客運搬用は原則として禁ずること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
- 15kgを超える給湯設備は、風圧・地震力等に対して安全上支障のない構造とする。

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を取り保管すること。

☐

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知県南久保16-17 TEL 090-983-1030 FAX 090-982-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第20207号 村田 憲明
図 名 構造設計特記仕様書 (1)	縮 尺 NO SCALE	年 月 日 R7.04	図 面 No. S — 01	意見担当	構造担当 安藤 康和(西条 宏)2020年(株)3月16日 一級建築士登録第186290号 構造設計一級建築士第0143号 細川 隆史

新 構造設計特記仕様 その2

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

9. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS5 2018 による。

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9. 1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについてはJASS5の3節～11節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについてはJASS5の17節（高強度コンクリート）を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし、免注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9. 2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。

軽量コンクリートについてはJASS5の14節によること。

表9. 1 コンクリート圧縮強度 (N/mm ²)に応じた仕様書の使い分け												
設計基準強度 F_c	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51
JASS5での区分	普通コンクリート						高強度コンクリート					

表9. 2 レディーミクストコンクリートのJIS規格品												
調合管理強度 (N/mm ²)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54
呼び強度 (JIS規格品)	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	60

- (b) 品質と施工
- 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。
 - 標準 □長期 □超長期
 - (本仕様書では計画供用期間の級は、「短期」を想定していない。)
 - コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とする。
 - 設計基準強度が36N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第2号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。
 - レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。
 - 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
 - フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が36N/mm²以下33N/mm²以上の場合スランプ21cm以下、33N/mm²未満の場合スランプ18cm以下とし設計基準強度が36N/mm²超 45N/mm²未満の場合はスランプ21cm以下またはスランプフロー50cm以下、設計基準強度が46N/mm²以上の場合はスランプ23cm以下またはスランプフロー60cm以下とし、特記による。
 - コンクリートに含まれる塩化物質は、塩化物イオン量として0.3kg/m³以下とする。
 - コンクリートの縦置げから打込み終了までの時間は、原則として外気温が25℃未満の時は120分、25℃以上の時は90分とする。
 - コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
 - 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水濡しを行う。
 - コンクリート打込み中、及び、打込み後5日間はコンクリートの温度が2度を下回らないようにし、セメントの種類に応じて湿潤養生する。

- (c) 調合および構造体コンクリート強度
- コンクリートの強度を求める強度試験は、JIS A 1108(コンクリートの圧縮強度試験方法)もしくはJIS A 1107（コンクリートからのコアの採取方法）による。
 - ⅰ) 高強度コンクリート
 - 調合強度を定めるための基準とする材料は、特記による。特記のない場合は 28日とする。
 - 構造体コンクリート強度を保証する材料は、特記による。特記のない場合は 91日とする。
 - 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
 - ① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材料において調合管理強度以上とする。
 - ② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材料において設計基準強度に3N/mm²加えた値以上とする。
 - 調合管理強度は、以下による。
$$F_m = F_c + \alpha S_n \quad (N/mm^2)$$
$$F_m: \text{高強度コンクリートの調合管理強度} \quad (N/mm^2)$$
$$F_c: \text{コンクリートの設計基準強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\alpha S_n: \text{高強度コンクリートの構造体強度補正値で JASS5 による。}$$
 - 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。
$$F_H \geq F_m + 1.73\sigma_H \quad (N/mm^2)$$
$$F_H \geq 0.85 F_m + 3\sigma_H \quad (N/mm^2)$$
$$F_H: \text{高強度コンクリートの調合強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\sigma_H: \text{高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差} \quad (N/mm^2) \text{ で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、} 0.1(F_c + \alpha S_n) \text{とする。}$$

- ⅱ) 普通コンクリート
 - 調合を定めるための基準とする材料は、原則として 28日とする。
 - 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。
- | 表9.3 構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準 | | | |
|--------------------------|---------------------|--------------|--|
| 供試体の養生方法 | 試験材料 ⁽¹⁾ | 判定基準 | |
| 標準養生 ⁽²⁾ | 28 日 | $X \geq F_m$ | |
| コ ア | 91 日 | $X \geq F_q$ | |
- ただし、 X ：1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)
 F_m : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
 F_q : コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)
- [注] (1) 早い材料において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。
(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日まで20±10℃の日光および風が直接当たらない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。
- * 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が27℃以上の場合、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。
 - * コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のn日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

- 調合管理強度は、以下による。
$$F_m = F_c + \alpha S_n \quad (N/mm^2)$$
$$F_m: \text{コンクリートの調合管理強度} \quad (N/mm^2)$$
$$F_c: \text{コンクリートの品質基準強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\alpha S_n: \text{標準養生した供試体の材齢} m \text{ 日における圧縮強度と構造体コンクリートの} n \text{ 日における圧縮強度の差による構造体強度補正値} \quad (N/mm^2)$$
- 調合強度は標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材料 m 日は、原則として28日とする。
$$F \geq F_m + 1.73\sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F \geq 0.85 F_m + 3\sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F: \text{コンクリートの調合強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\sigma: \text{使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差} \quad (N/mm^2) \text{ で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は} 2.5N/mm^2 \text{、または} 0.1F_m \text{の大きい方の値とする。}$$

- (d) 検査
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合 1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。
 - スランプの許容差は普通コンクリートの場合、スランプが 8cm 以上18cm 以下の場合±2.5cm、21cm の場合±1.5cm（呼び強度2/以上で高性能減水剤を使用する場合は±2cm）とする。高強度コンクリートの場合は、スランプが 18cm 以下の場合±2.5cm、21cm 以上の場合±2cm とし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが 50cm 以下の時は+7.5cm、50cm を超える時は±10cm とする。
 - 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢 28 日で行い、1 回の試験は、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 1 回行う。1 回の試験には適当な間隔をいた 3 台の運搬車から 1 個ずつ採取した合計 3 個の供試体を用いる。高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ 300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあげた任意の 3 台のトラックアジテータから採取した合計 9 個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
 - 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 1 回行う。1 回の試験には適当な間隔をいた 3 台の運搬車から 1 個ずつ採取した合計 3 個の供試体を用いる。高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ 300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあげた任意の 3 台のトラックアジテータから採取した合計 9 個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
 - 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS5による。構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(a)調合および構造体コンクリート強度による。
 - コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

試験・検査機関名	(都知事登録 号)
代行業者名	(登録番号 号)

代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

(2) 鉄 筋

- (a) 施工
- 鉄筋はJIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合するものを用いる。
 - 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。
 - 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」による。
 - 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9.4 鉄筋の継手				
鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級		鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位 [注]		
	標準図による	A 級 B 級 SA 級		
■ 重ね継手	標準図による		■ D < 16	基礎・壁梁・壁
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	■	■ D < 19	基礎梁
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□ □	□ D < 以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□ □ □	□ D < 以上	

- [注] (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を受けた継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2020）」によって検討した部材の条件・仕状によること。
- 機械式継手および圧接継手および溶接継手は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。
 - ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
 - 圧接技量資格者は、（公社）日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
 - 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

- ⅰ) 鉄筋の種類・径の検査
 - 鉄筋搬入時に鉄筋の種類と径をミルシート、ロールマーク、結束ごとの表示で確認し、必要に応じて径は計測する。
- ⅱ) 配筋の検査
 - 鉄筋の数量、材質、加工形状、配置、間隔、継手と定着の位置と長さ、カットオフ長さ等を目視、又は計測で確認する。
- ⅲ) 鉄筋継手部の検査
 - 各継手工法ごとの検査は平12建設1463号による他、具体的な検査方法は、（公社）日本鉄筋継手協会仕様書を参照のこと。

表9.5 鉄筋継手部の検査（検査結果は工事監理者に報告すること）			
鉄筋継手工法	検査の種類	検査数量	試験方法
圧接継手	■ 外観検査	全数 ※	目視又は計測
	■ 超音波探傷検査	抜取り1検査ロット当たり (30) 箇所又は (30) %	JIS Z 3062:2014による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JIS Z 3120:2014による
溶接継手	□ 外観検査	全数 ※	目視又は計測
	□ 超音波探傷検査	抜取り1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JRJS 0005:2017による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JIS Z 2241:2011による
機械式継手	□ 外観検査	全数 ※	目視又は計測
	□ 超音波測定検査	抜取り1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JRJS 0003:2017による
	□ 引張試験による検査	抜取り1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JIS Z 2241:2011による

- [注] 1 抜取り1検査ロットは、同一作業区が同一日に作業した継手箇所で200箇所程度とする。
[注] 2 ガス圧接部分の検査は超音波探傷検査によって行う場合、数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は超音波探傷試験に合格した部位から採取した3本以上とする。

※外観検査の実施は次による。（必要に応じて測定器具等の検査機器を用いること）

表9.6 外観検査の要領

	受入検査		工事監理者	備 考
	検査機関	施 工 者		
□ 全数	全数	(確認)	(確認)	
■ 全数	超音波探傷又は超音波測定検査実施部位	検査機関による検査部位以外	(確認)	
□ 全数	—	全数	(10%)	
□ 全数	抜取り1検査ロット当たり (30) 箇所又は (30) %	(全数)	(確認)	

- 引張試験を行う試験機関、非破壊試験を行う検査機関は、建築主、工事監理者、又は施工者が自ら契約した機関とする。
- 試験機関は「建築物の工事における試験及び検査における東京都取扱要綱」第4条の試験機関、検査機関は同要綱第8条の検査機関とする。

試験機関名	(都知事登録 号)
検査機関名	(都知事登録 号)

(3) かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、表9.7に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。
- 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9.7以上の値とする。

構造体の計画供用期間の級		標準・長期		超長期	
構造部材	部材の種類	屋 内	屋 外 ⁽²⁾	屋 内	屋 外 ⁽²⁾
	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材 ⁽¹⁾	30	40	(30)	(40)
直接土に接する柱・梁・壁、まおよび布基礎の立上り部分、降壁の壁部分		50			
基礎、降壁の基礎・地盤		70			

- [注] (1) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。
(2) 計画供用期間の級が標準、長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを 10mm減じることができる。

- 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- コンクリート構造体に誘発目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施行令第79条に規定する数値を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水上および耐久性上有効な措置を講じれば上記によらなくても良い。

(4) 型 枠

- 型枠および支保工の存置期間は、下表による。

表9.8 型枠存置日数 昭和46年建設告示第110号（最終改正：令和元年国土交通省告示第203号）

構造部	セ ー ヲ		支 柱	
	単独、梁側、柱、壁	スラブ下、梁下	スラブ下	梁下
セメントの種類	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種
存置期間の平均気温	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種
	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種	高強度セメント A 種
コンクリートの初温 (℃)	15℃以上	7	8	17
	5℃～15℃	3	6	12
	5℃未満	3	6	15
コンクリートの圧縮強度	※ 5.0N/mm ²	設計基準強度の50%		設計基準強度の55%
		55%		100%

※ JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあつては 5N/mm²以上、長期及び超長期の場合は 10 N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は 10N/mm²以上。

[注] 1 片持ち梁、庇、スパン 0.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。
[注] 2 大梁の支柱の確保は行わない。また、その他の梁の場合も併用して行わない。
[注] 3 支柱の盛替えは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
[注] 4 盛替え後の支柱頂部には、厚い梁板、角材または、これに代わるものを置く。
[注] 5 支柱の盛替えは、小梁が終わってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り替えてはならない。
[注] 6 直上層に著しく大きい横断面積がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
[注] 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第20207号 村 田 憲 明
図 名 構造設計特記仕様書（2）		縮 尺 NO SCALE	年 月 日 R7.04	図 面 No. S — 02	意匠担当 高知市南久保 16-17 構造設計 一級建築士登録第188230号 構造設計一級建築士登録第43号 細 川 隆 史	構造担当 高知市南久保 16-17 構造設計 一級建築士登録第188230号 構造設計一級建築士登録第43号 細 川 隆 史

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- （1）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- （2）本標準図は、コンクリートの設計基準強度 $F_c18 \sim F_c27$ の壁式鉄筋コンクリート造建物に適用する。
- （3）記号

d…異形鉄筋の呼び名に用いた数値 D…部材の径 R…半径
 ϕ …間隔 r…半径 \varnothing …中心線 L_e …部分間の内法距離 h o…部材間の内法高さ
 S…あばら筋 H O O P…帯筋 S, H O O P…補強帯筋 ϕ …直径

2. 鉄筋加工、かぶり

（1）鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形鋼のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の長さ	4d以上	6d以上（ $\phi 4d$ 以上）	8d以上（ $\phi 4d$ 以上）	

*片持スラブ上端部の先端
 鉄筋は、SD295、SD345を使用する
 折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

（2）鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の適用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法寸法(R)
	帯筋	SD295 SD345	D16以下	3d以上
	あばら筋 スパイラル筋	SD295 SD345	D19～D25	4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295 SD345	D16以下	4d以上
			D19～D25	6d以上

（3）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

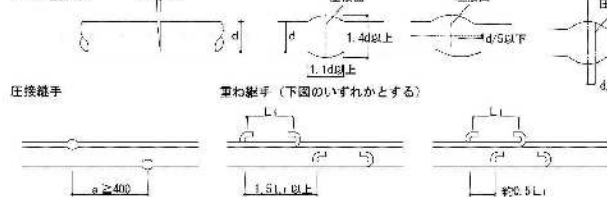
鉄筋の種類	普通コンクリート 設計基準強度の範囲 (N/mm^2)	定着の長さ			特別の定着及び 重ね継手の長さ (L_e)
		一般 (L_e)	下 部 材	ス ラ ブ	
SD295 SD345	21 24 27 78	35d または 25d フックつき 40d または 30d フックつき	25d または 15d フック つき	10d か 150mm 以上	40d または 30d フックつき 40d または 35d フックつき

コンクリートは普通 F_c18N/mm^2 以上 $27N/mm^2$ 以下

継 手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない。
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
3. 両側の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。

ガス圧接形状



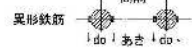
（4）かぶり厚さ（単位：mm）

構 造 部 分	最小かぶり厚さ(mm)	設計かぶり厚さ(mm)
壁・スラブ・床スラブ・非耐力壁	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分	40	50
基 礎（許容コンクリート部分を除く）	60	70

〔注〕* 屋外で耐久性上有効な仕上げのない場合、10mm増しとする。

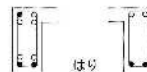
（5）鉄筋のあき

- a. 異形鉄筋では呼び名に用いた数値の1.5d以上
- b. 細骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上



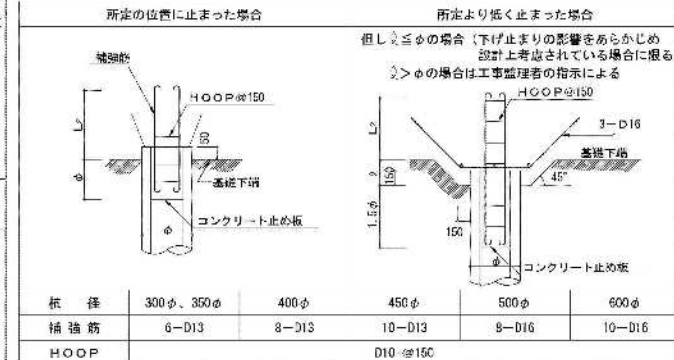
（6）鉄筋のフック（a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。） *印の鉄筋の重ね継手の

- a. 壁長が1m以下の壁梁の末端部
- b. あばら筋、帯筋
- c. 壁梁の鉄筋
- d. 柱、梁（基礎梁を除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
- e. 単筋梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

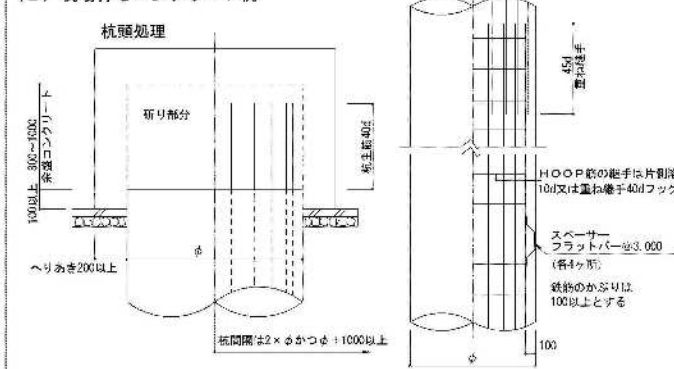


3. 杭（地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。）

（1）PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

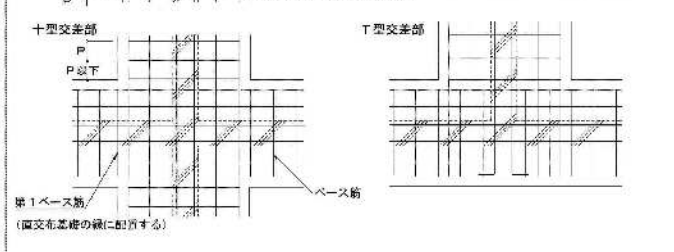
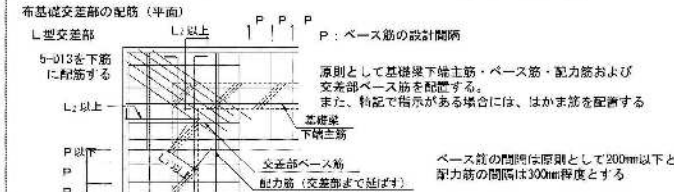
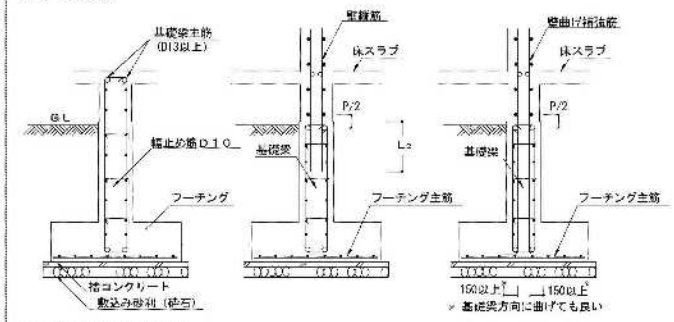


（2）現場打ちコンクリート杭

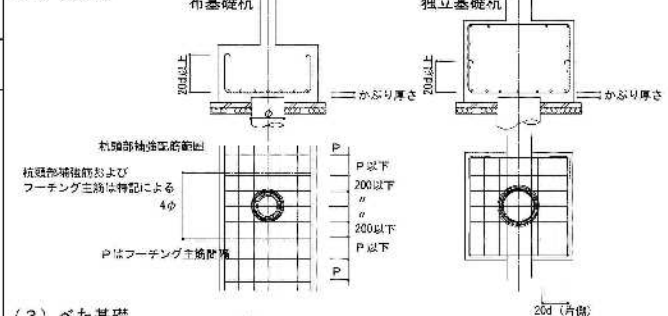


4. 基礎

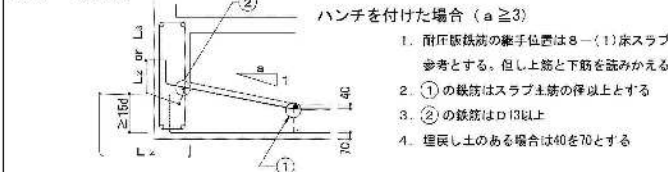
（1）布基礎



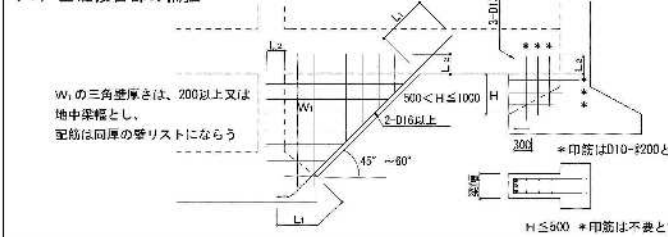
（2）杭基礎



（3）べた基礎

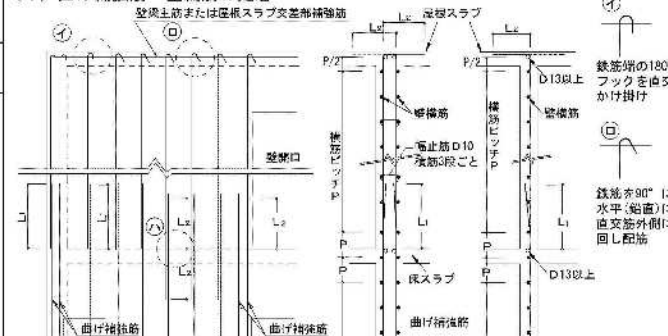


（4）基礎接合部の補強

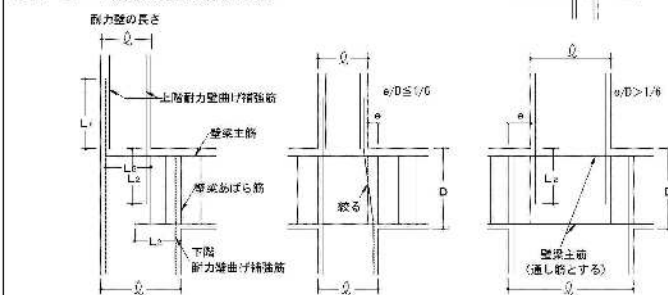


5. 耐力壁

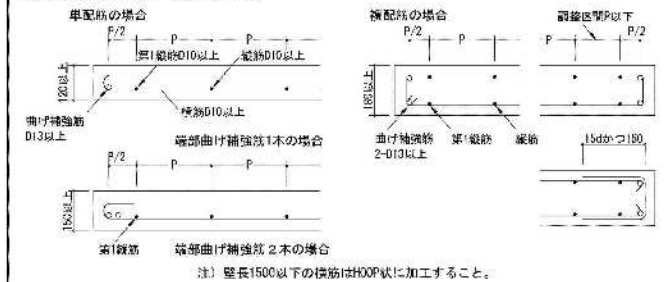
（1）曲げ補強筋・壁筋の定着



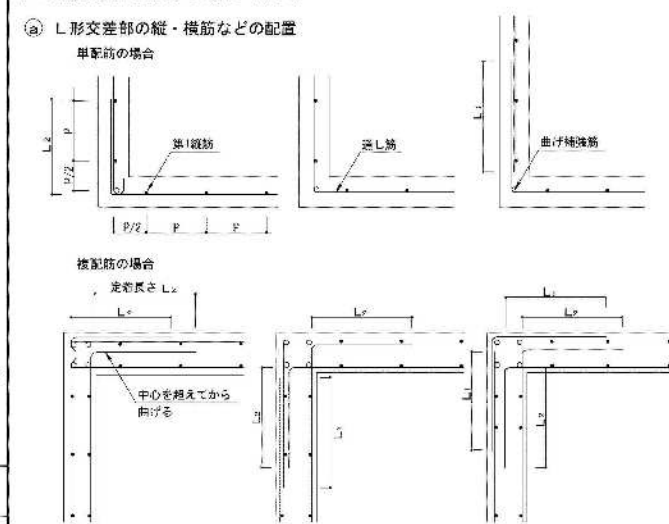
（2）上・下階耐力壁の各種配置



（3）耐力壁の縦・横筋の配置



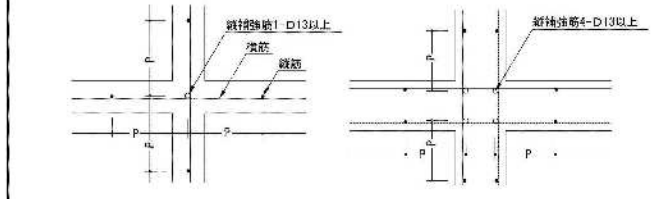
（4）耐力壁が交差する場合（平面）



（5）T形交差部の縦・横筋の配置



（6）十字交差部の縦・横筋の配置



6. 使用可能な鉄筋の最大径（標準）

部位	耐力壁	壁がりよう小梁	布基礎基礎梁	スラブ	非耐力壁	欄
構造種別	壁式鉄筋コンクリート造					
	D22	D22	D25	D16	D16	D16

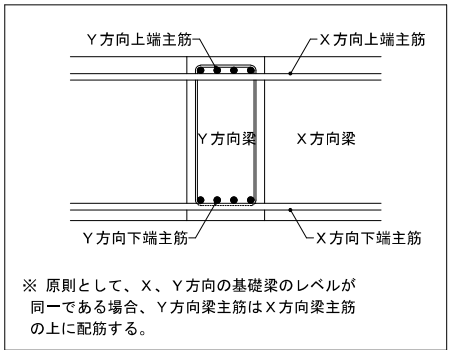
基礎梁断面リスト S=1:30

層	符号	FGx1, 2, FGy1, 2	FGy3
R層	位置	全断面	全断面
	断面		
	b × D	300 × 900	300 × 900
	上端筋	3 — D19	5 — D19
	下端筋	3 — D19	5 — D19
	スターラップ	2—D10—@200	2—D10—@150
	ハラ筋	6 — D10	6 — D10
	幅止筋	D10 — @600	D10 — @600

基礎小梁断面リスト S=1:30

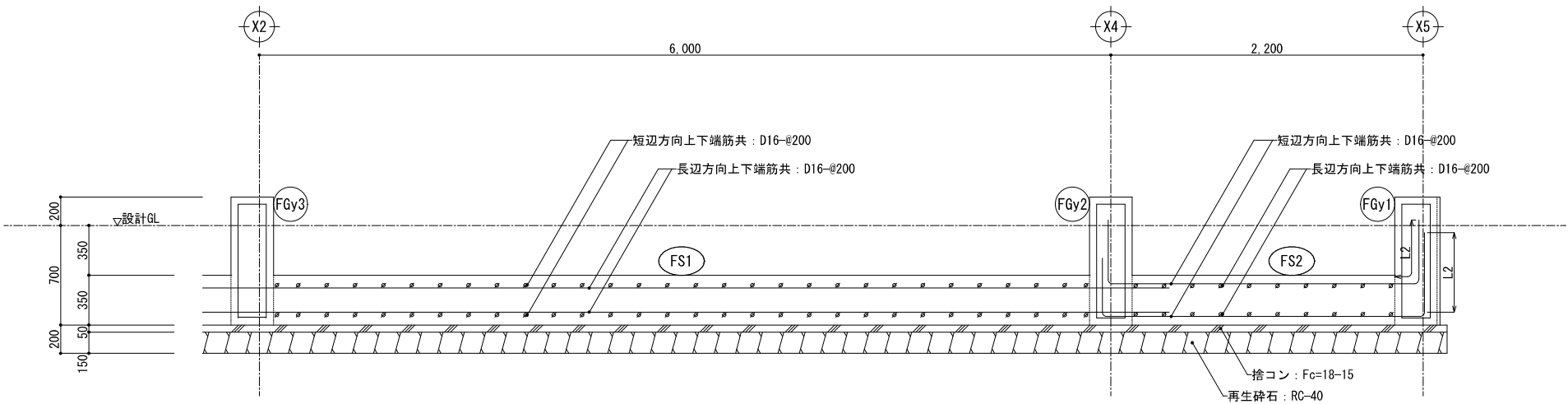
層	符号	FB1	
R層	位置	全断面	
	断面		
	b × D	300 × 900	
	上端筋	5 — D19	
	下端筋	5 — D19	
	スターラップ	2—D10—@150	
	ハラ筋	6 — D10	
	幅止筋	D10 — @600	

基礎梁配筋要領図

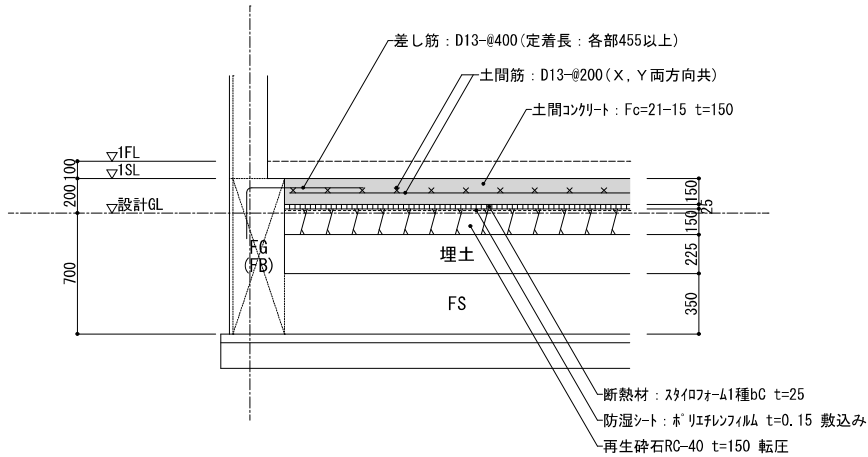


べた基礎スラブリスト S=1:30

符 号	スラブ厚	位 置	短 辺 方 向		長 辺 方 向		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
FS1, 2	150	上端筋	D16—@200	D16—@200	D16—@200	D16—@200	モチアミ配筋
		下端筋	D16—@200	D16—@200	D16—@200	D16—@200	

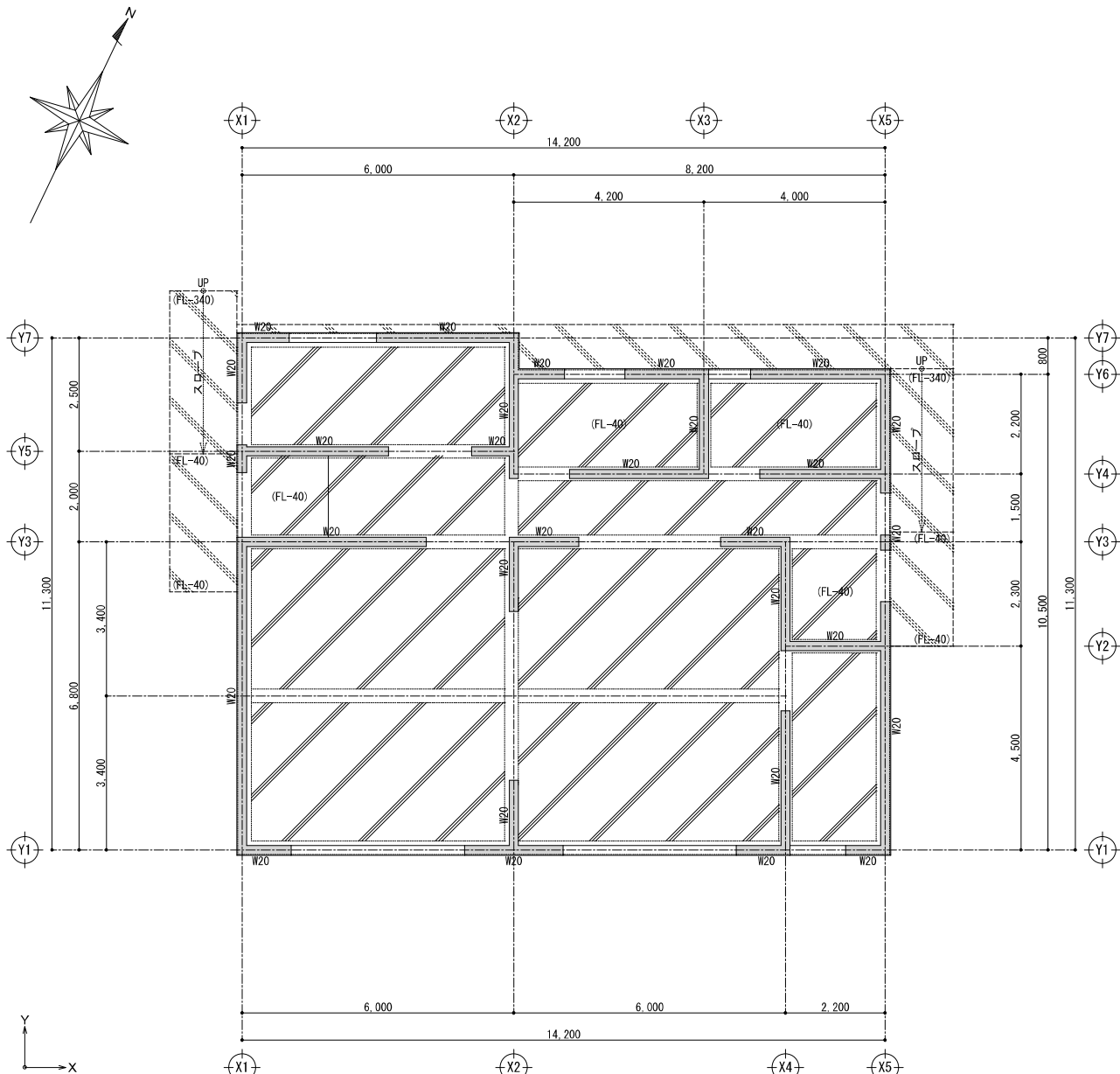


べた基礎スラブ配筋図 S=1:30



土間コンクリート配筋図 S=1:30

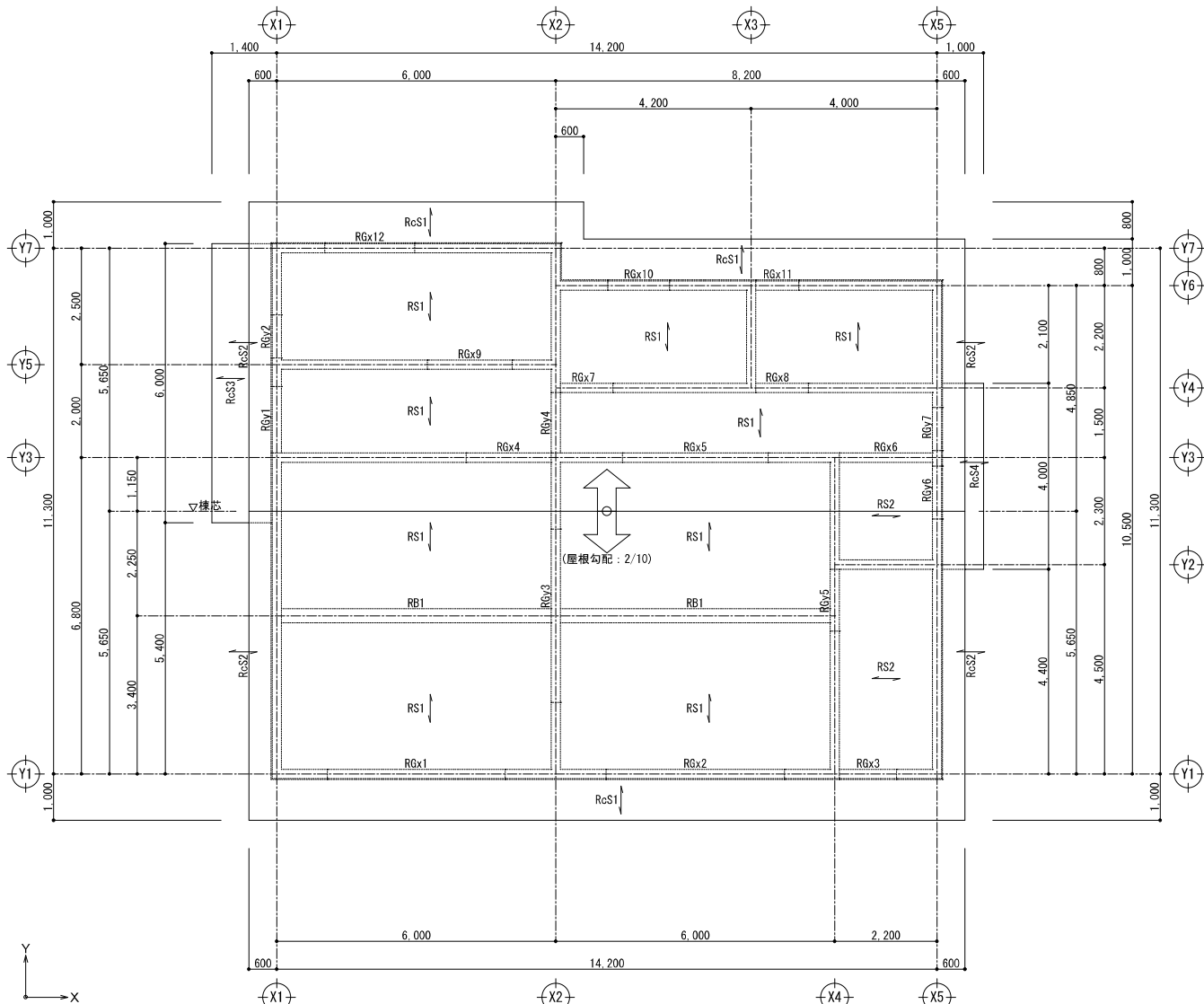
工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 基礎部材断面リスト	縮 尺 1 / 30	年 月 日 R7. 04	図 面 No. S — 06	意匠担当 構造担当 高知県知事登録 第2428号 一級建築士登録第186230号 構造設計 一級建築士第8143号 細 川 隆 史



1階壁、土間伏図 S=1:100

【凡例】
（内部）土間コンクリート：t=150
配筋：D13-#200（S） 両方向共（差し筋：D13-#400）
断熱材：X340フォーム1種DC t=25
防湿シート：*4#PEトンナール t=0.15 敷込み
地盤：再生砕石RC-40 t=150 転圧

外構仕様による
※ 土間コンクリート付記の（ ）内は天端レベルを表す、特記なきは (FL-100) とする

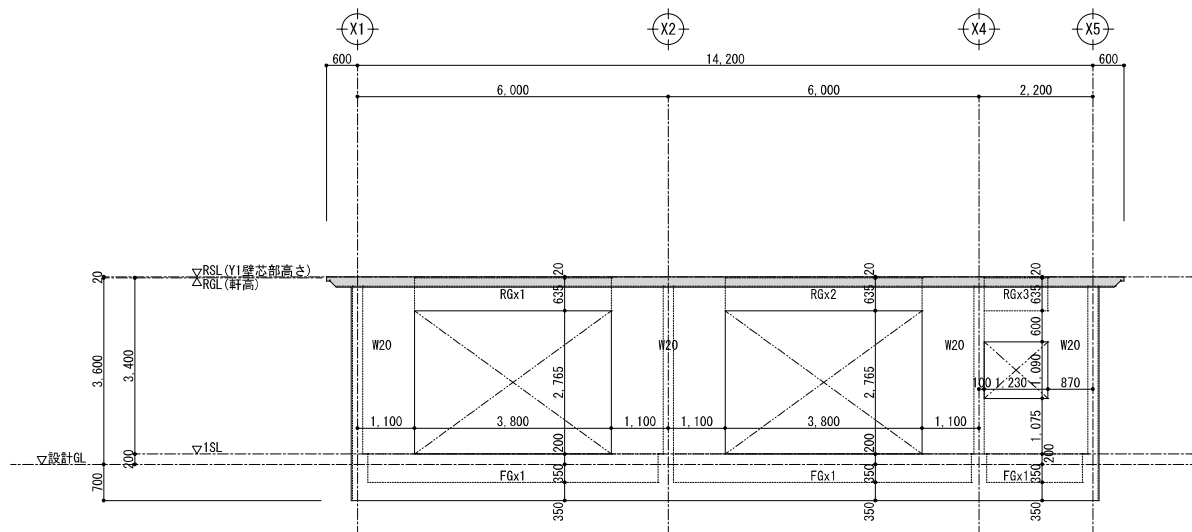


R階壁梁伏図 S=1:100

【使用材料】
・鉄筋コンクリート：普通コンクリート Fc = 24 N/mm²
・土間コンクリート：普通コンクリート Fc = 21 N/mm²
・鉄 筋：SD345 (D19以上) , SD295 (D16以下) (JIS規格品) （D19以上は圧接継手とする。）

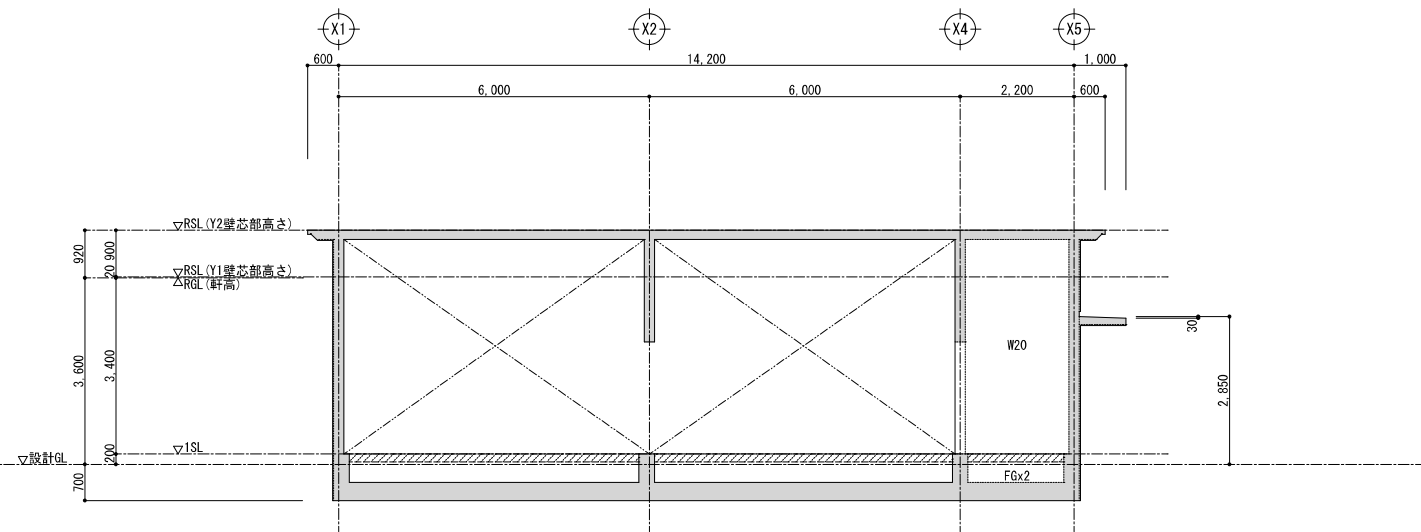
【特記事項】
・伏図は、見下げ図を表す。
・スラブ符号付記の \rightarrow は、配筋の主筋方向を示す。

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 壁、壁梁伏図		縮 尺 1 / 100	年 月 日 R7. 04	図 面 No. S — 07	意匠担当	構造担当 高知県知事登録 第3428号 （株）フジノ構造設計 一級建築士登録第186290号 構造設計 一級建築士第8143号 細 川 隆 史	



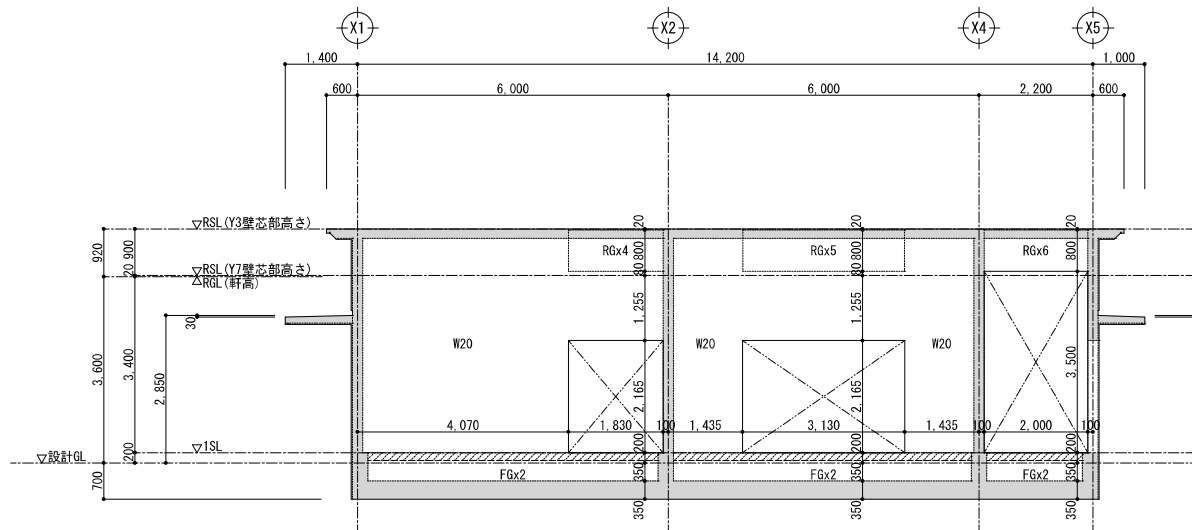
Y1通り軸組図 S=1:100

【凡例】
/////////: 土間コンクリート: t=150

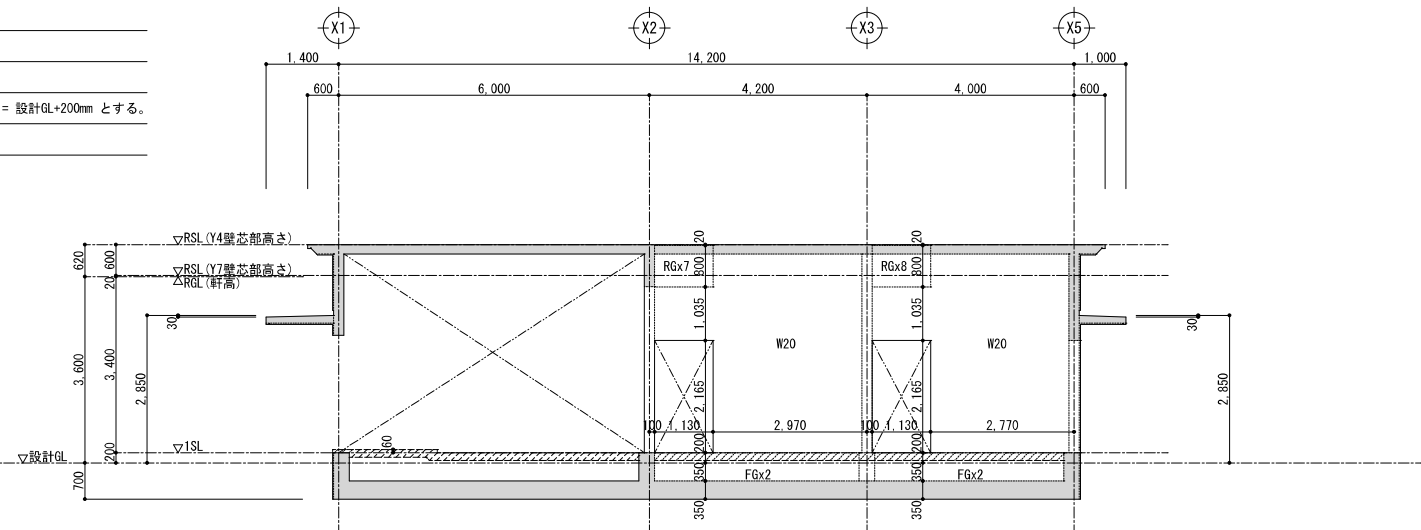


Y2通り軸組図 S=1:100

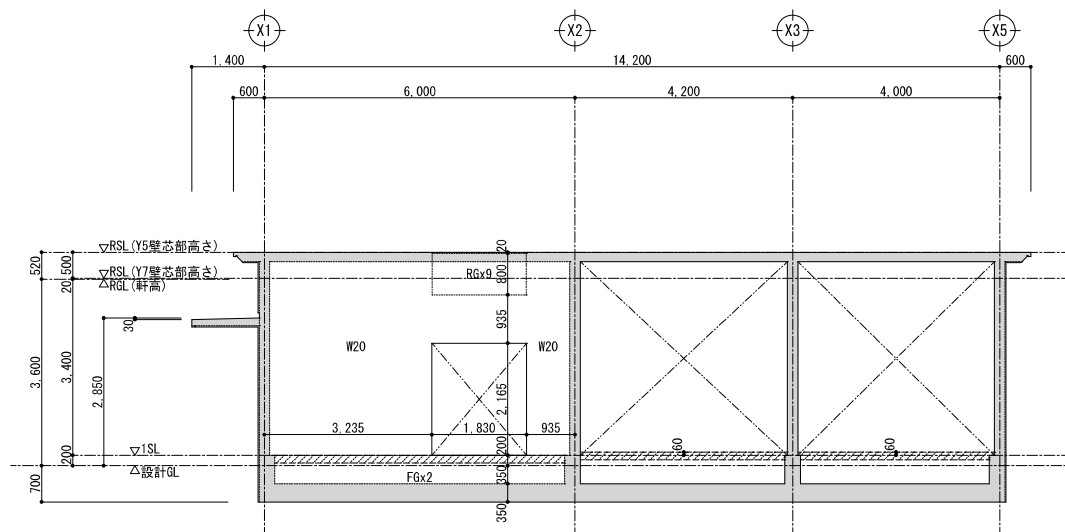
- 【特記事項】
- 設計GL = KBM+300mm とする。
 - 1FL = 設計GL+300mm とする。
 - 1SL (基礎梁天、基準土間コン天) = 設計GL+200mm とする。



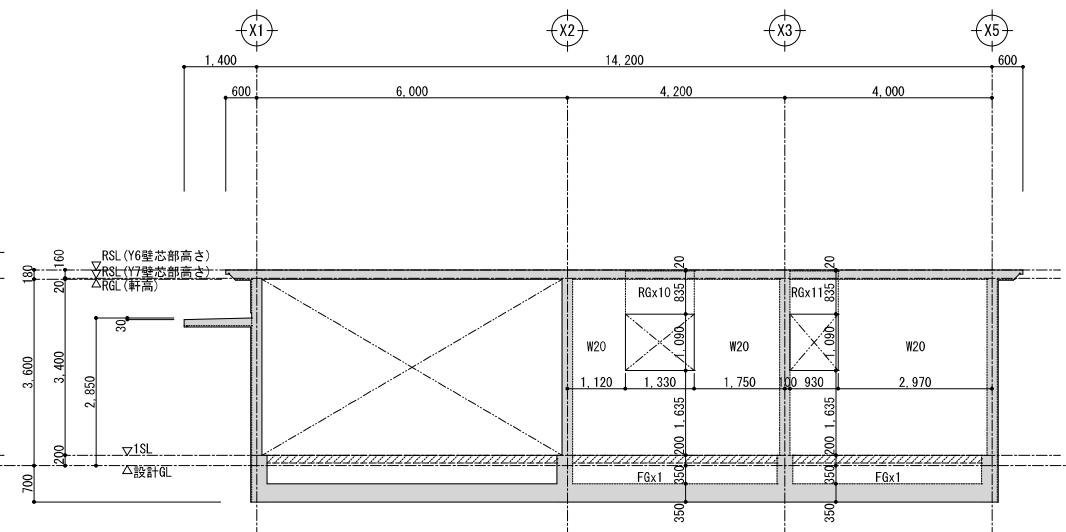
Y3通り軸組図 S=1:100



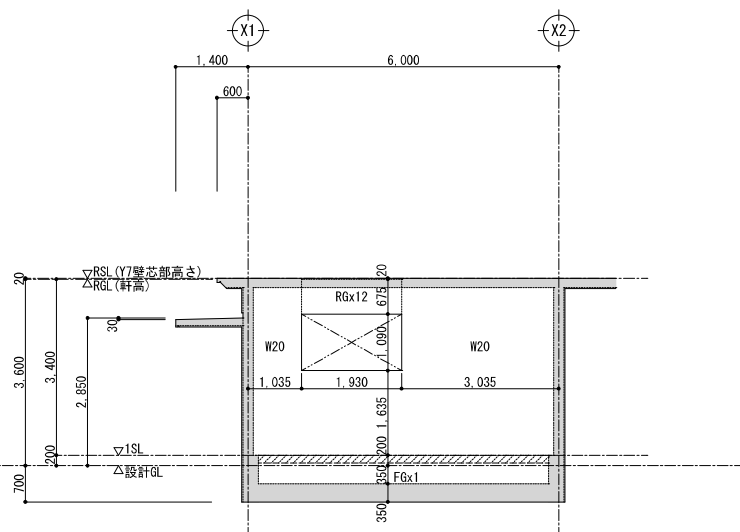
Y4通り軸組図 S=1:100



Y5通り軸組図 S=1:100

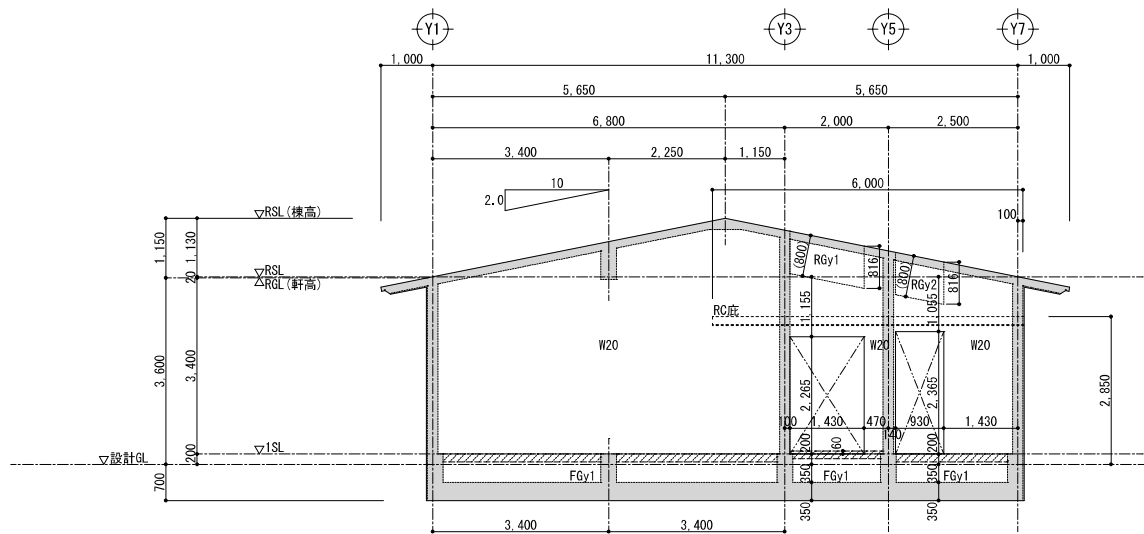


Y6通り軸組図 S=1:100

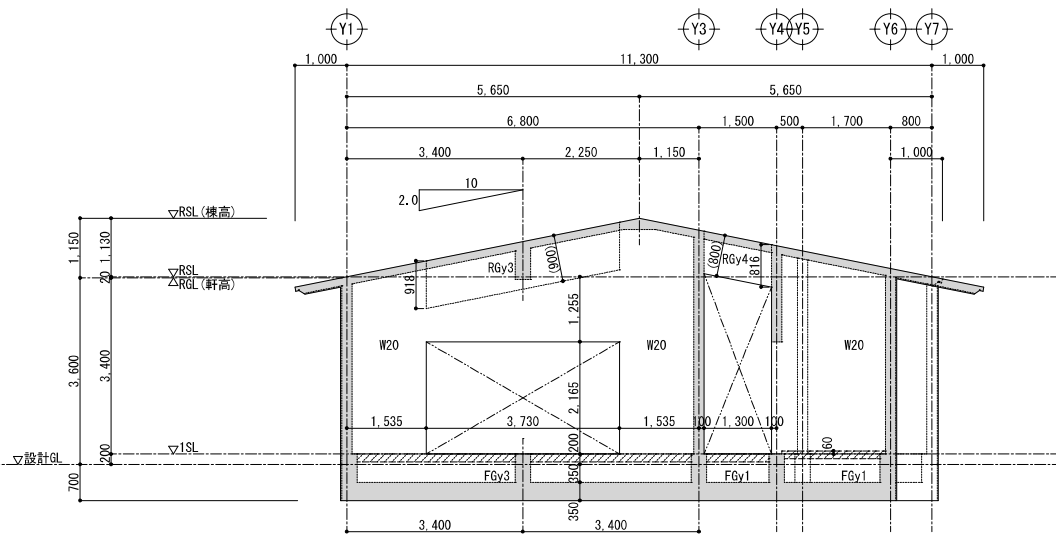


Y7通り軸組図 S=1:100

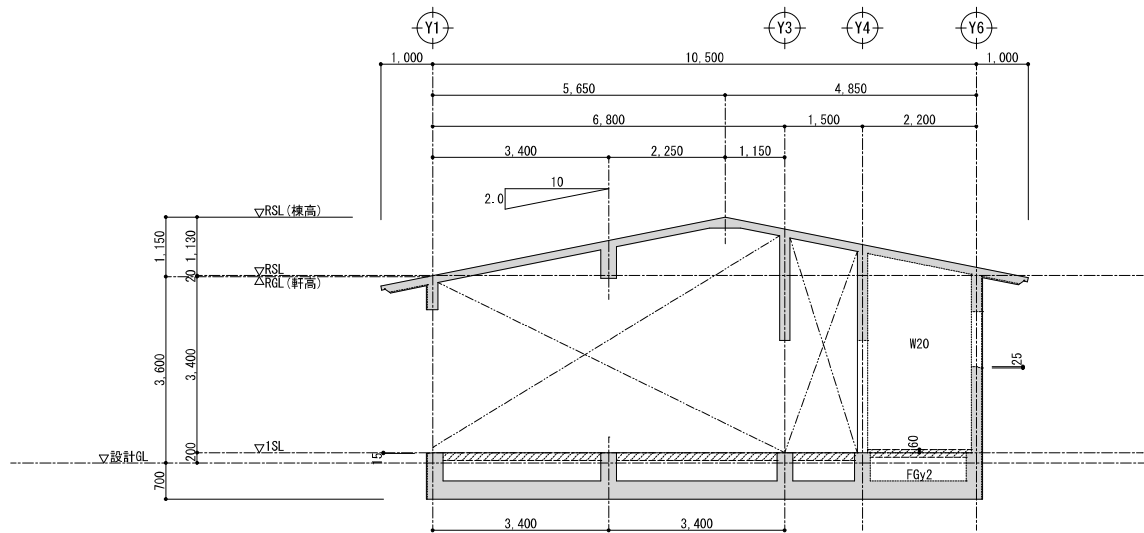
工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 軸組図 (1)		縮 尺 1 / 100	年 月 日 R7. 04	図 面 No. S — 08	意匠担当	構造担当 高知県知事登録 第3428号 一級建築士登録第186230号 構造設計一級建築士第8143号 細 川 隆 史	



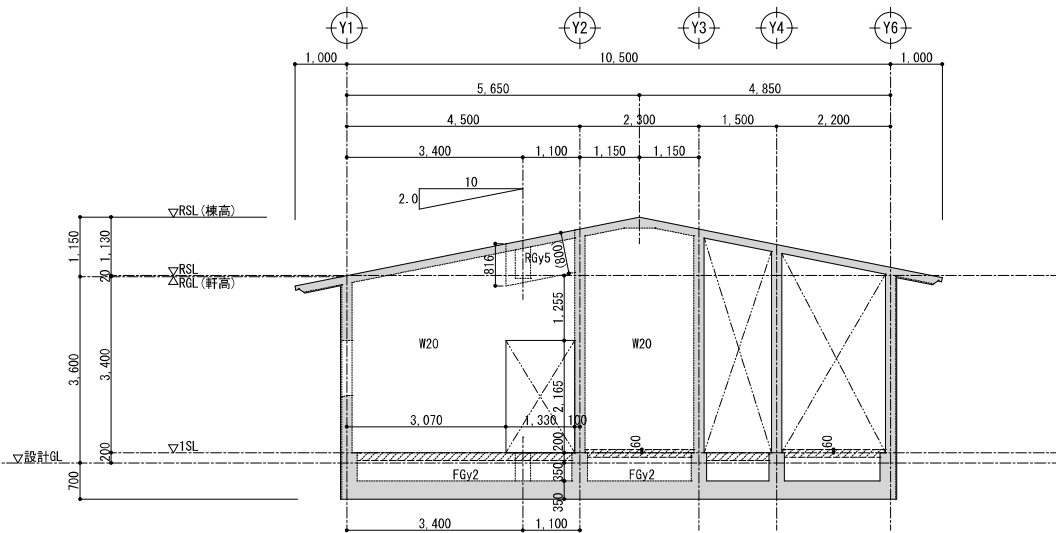
X1通り軸組図 S=1:100



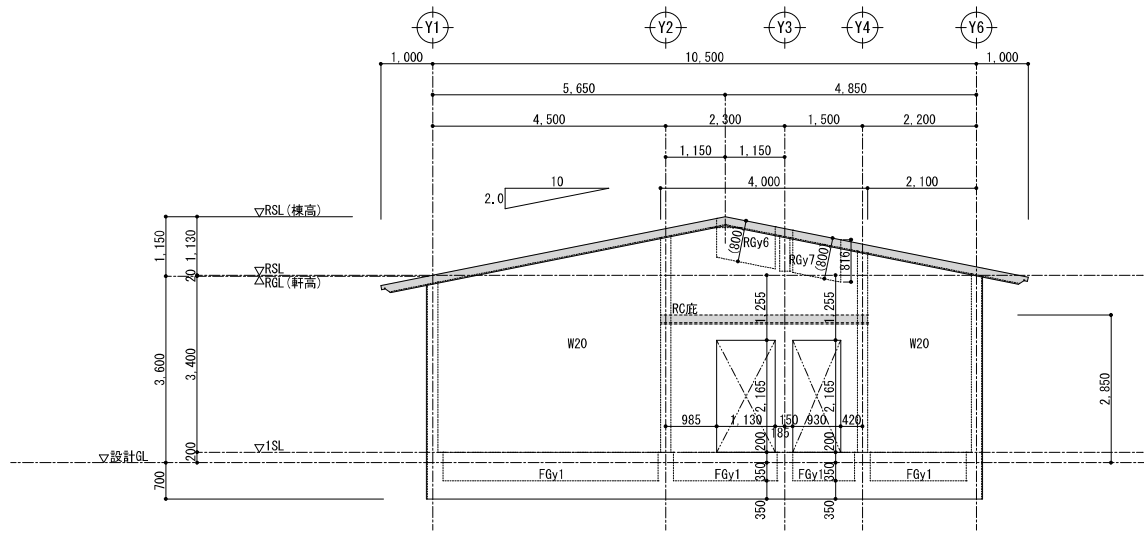
X2通り軸組図 S=1:100



X3通り軸組図 S=1:100



X4通り軸組図 S=1:100



X5通り軸組図 S=1:100

【凡例】
////////////////: 土間コンクリート t=150

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 軸組図 (2)	縮 尺 1 / 100	年 月 日 R7.04	図 面 No. S — 09	構造担当 高知県知事登録 第3428号 一級建築士登録第186230号 構造設計 一級建築士第8143号 細 川 隆 史

壁梁断面リスト S=1:30

層	符号	RGx1, 2, 3	RGx4, 5, 6	RGx7, 8, 9	RGx10, 11	RGx12	RGy1, 2, 4, 5, 6, 7	RGy3
R層	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面							
	b × D	200 × 635	200 × 800	200 × 800	200 × 835	200 × 675	200 × 816 (800)	200 × 918 (900)
	上端筋	4 — D16	4 — D16	2 — D16	2 — D16	2 — D16	2 — D16	4 — D19
	下端筋	4 — D16	4 — D16	2 — D16	2 — D16	2 — D16	2 — D16	4 — D19
	スターラップ	2—D10—@150	2—D10—@150	2—D10—@150	2—D10—@150	2—D10—@150	2—D10—@150	2—D10—@150
	ハラ筋	4 — D10	6 — D10	6 — D10	8 — D10	6 — D10	6 — D10	8 — D10
	幅止筋	D10 — @600	D10 — @600	D10 — @600	D10 — @600	D10 — @600	D10 — @600	D10 — @600
		※ () 内寸法は勾配屋根の垂直方向の壁梁せい寸法を表す			※ () 内寸法は勾配屋根の垂直方向の壁梁せい寸法を表す			

小梁断面リスト S=1:30

層	符号	RB1	
R層	位置	全断面	
	断面		
	b × D	300 × 700	
	上端筋	5 — D16	
	下端筋	5 — D16	
	スターラップ	2—D10—@150	
	ハラ筋	2 — D10	
	幅止筋	D10 — @600	

壁断面リスト S=1:30

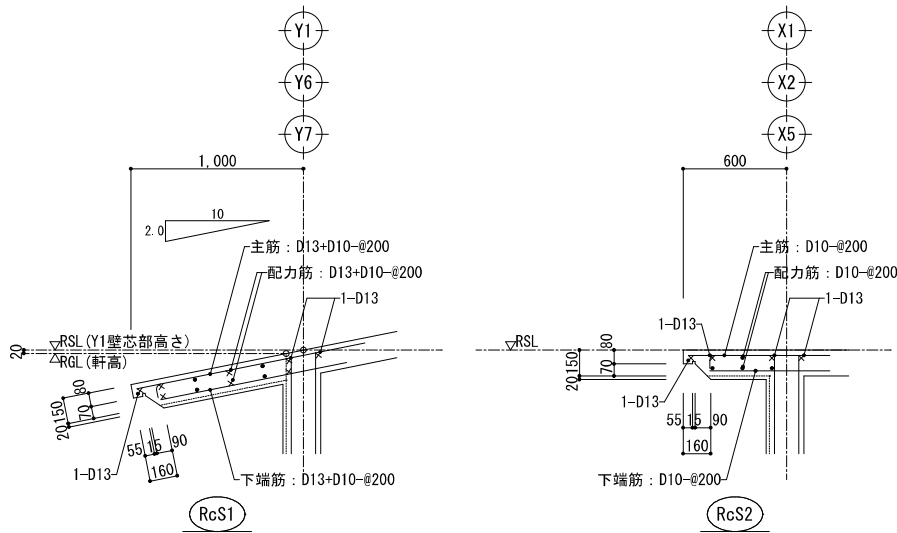
※ 開口補強筋は、壁曲げ補強筋及び壁梁主筋兼用とする
(壁配筋図及び壁梁断面リスト等参照のこと)

符号	W20	
壁厚	200	
断面 (縦断面)		
縦筋	D13—@150 (D)	
横筋	D13—@150 (D)	
開口部 補強筋	縦筋	2 — D16
	横筋	2 — D16
	斜筋	2 — D13
幅止筋	D10 — @900	

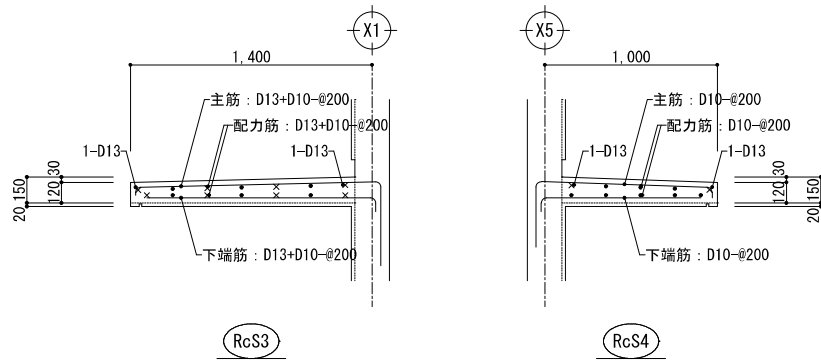
屋根スラブリスト S=1:30

符 号	スラブ厚	位 置	短 辺 方 向		長 辺 方 向		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
RS1, 2	150	上端筋	D13+D10—@200	D13+D10—@200	D13+D10—@200	D13+D10—@200	モチアミ配筋
		下端筋	D13+D10—@200	D13+D10—@200	D13+D10—@200	D13+D10—@200	

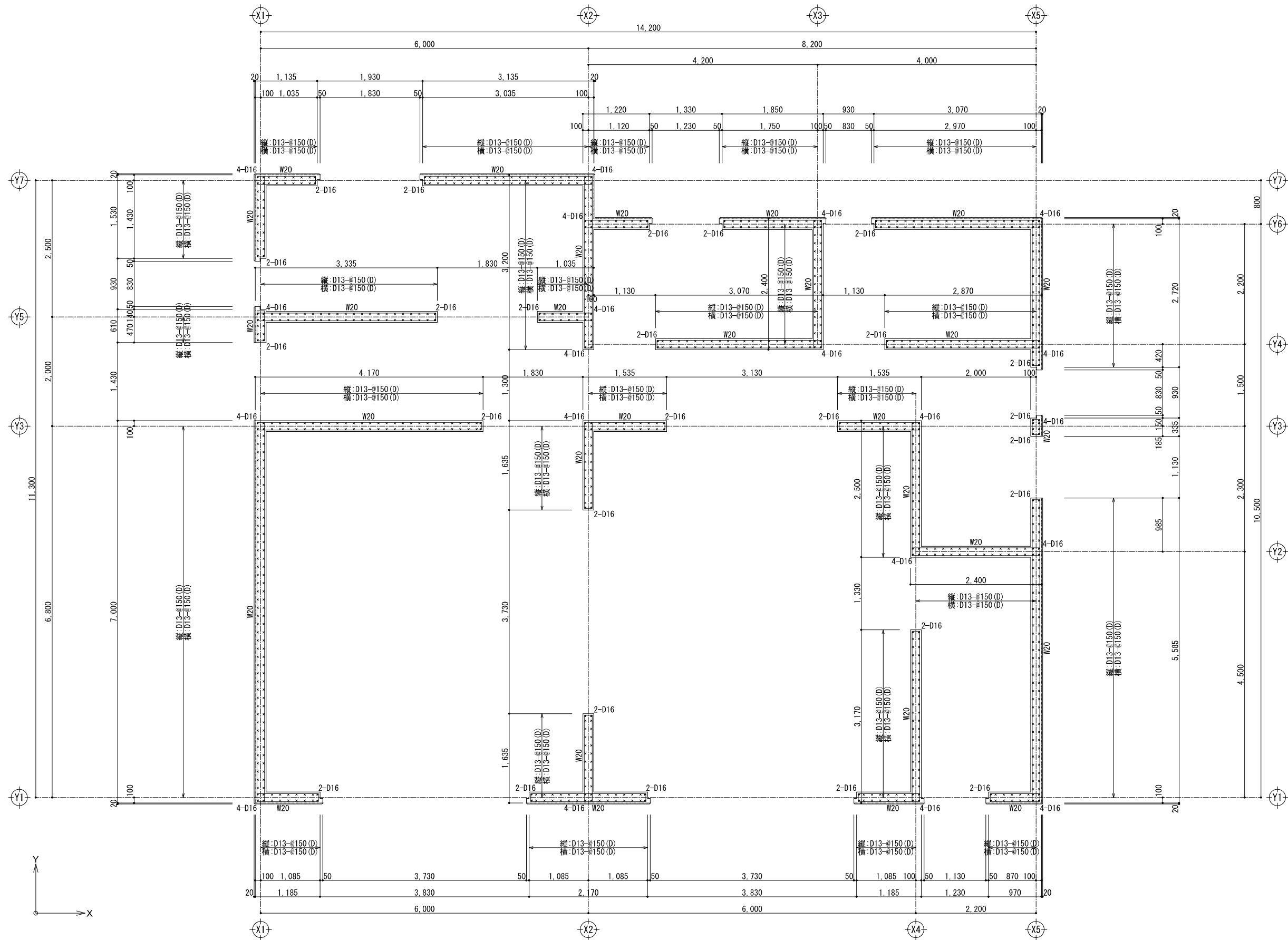
屋根スラブ配筋図 S=1:30



片持スラブ配筋図 S=1:30

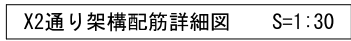


工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
	図 名 部材断面リスト	縮 尺 1 / 30	年 月 日 R7.04	図 面 No. S — 10	構造担当 高知県知事登録 第3428号 一級建築士登録第188230号 構造設計 一級建築士第8143号 細 川 隆 史



1階壁配筋詳細図 S=1:50

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明
図 名 壁配筋詳細図		縮 尺 1 / 50	年 月 日 R7.04	図 面 No. S — 11	意匠担当	構造担当 高知県知事登録 第3428号 一級建築士登録第186230号 構造設計 一級建築士第8143号 細 川 隆 史



工 事 名	(株)ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号	管理建築士	
令和7年度 協ノ山公民館新築工事	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	代表取締役	一級建築士登録第203207号	
		福家 正義	村 田 憲 明	
図 名	縮 尺 年 月 日 図 面 No.	意匠担当	構造担当 安藤美穂建築士 第3120号 （注）3月1日構造設計	
架橋配筋詳細図（2）	1 / 30 R7.04 S — 13		一級建築士登録第188290号 構造設計一級建築士第1843号 細 川 隆 史	

機 材 名		指 定 品	機 材 名	指 定 品	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名				
電線管類・同付属品		J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑﾌﾟﾗｷ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）						
電 線 類 等		国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業システム T O A（株） ﾊﾞﾅﾈｯｸｺﾈｸﾄ（株）						
耐火・耐熱ケーブル		耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）安川電機					盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 キュービｸﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設（株） 上記の他、令和5年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの		
配線器具類		J I S マーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎							太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ（株） ﾊﾞﾅﾈｯｸ（株）
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの		J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）	交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）GS17ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎						
電磁接触器 JIS C 8201-1、JIS C 8201-4-1 に 適合するもの		J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株）								
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの		J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ（株） ニ チ コ ン（株） 日 新 電 機（株） 三 菱 電 機（株） 利 昌 工 業（株） ※1								
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）		J I S マーク表示品			※1 モールドコンデンサに限る	高圧用変圧器 ※2 モールド変圧器に限る	愛知電機（株） 四 変 テ ッ ク（株） （株）ﾀﾞｲ ｴﾝ ﾀｶｵｶ化成工業（株）※2 （株）東 光 高 岳 東芝ｲﾝﾌﾗｽﾃﾑｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎 利 昌 工 業（株） ※2							
非常用照明器具		（社）日本照明器具工業会 のJ I L 適合マークが貼付 されたもの												
誘導灯器具		誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの												
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ		日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの												
防災電源用直流電源装置		蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの												
自動閉鎖装置		連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの												
非常放送装置の蓄電池		J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの												
非常警報装置（非常ベル）		日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの												
自動火災報知装置		日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの												
構内交換装置		（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品												

工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		（株）ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明					
図 名 機材指定表		縮 尺 N S		年 月 日 R7.05		図 面 No. E ー 02		意匠担当		構造担当		

改修前

×印は撤去

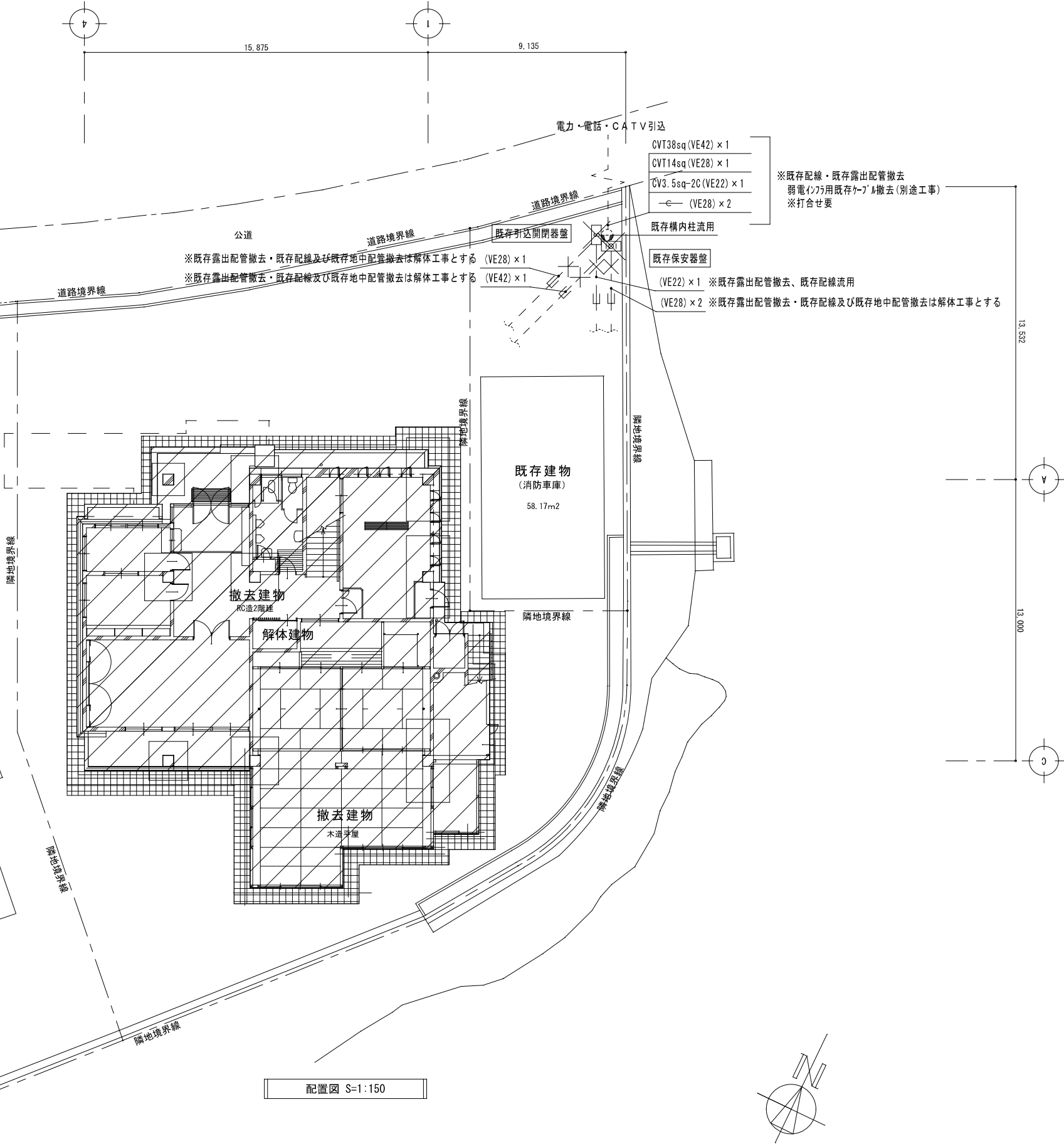
— は既存品及び配線管流用

【引込開閉器盤】撤去内容：電力量計以外の全て撤去

銅板製 防水露出型
電力量計 × 3個
MCB3P100AF × 2個
MCB2P50AF × 1個

【保安器盤】撤去内容：函体＋2分配器撤去

銅板製 防水露出型
既存ONU × 1台(別途工事)
電話保安器 × 1個(別途工事)
2分配器 × 1個



工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村田 憲明	
図名 配置図(改修前)	縮尺 1/150	年月日 R7.05	図面No. E-03	意匠担当	構造担当	

改修後

— は既存品及び配線管流用

A	電灯端子盤 LT-1	1Φ3W	CET22sq
	電灯端子盤 LT-1	1Φ3W	CET14sq
B	電灯端子盤 LT-1	1Φ3W	CET22sq (FEP40)
	電灯端子盤 LT-1	1Φ3W	CET14sq (FEP40)
C	電話・CATV	—C—	(FEP30) × 2
	電灯端子盤 LT-1	1Φ3W	CET22sq (FEP40)
D	電灯端子盤 LT-1	1Φ3W	CET14sq (FEP40)
	電話・CATV	—C—	(FEP30) × 2
E	電灯端子盤 LT-1	1Φ3W	CET22sq (HIVE42)
	消防車庫	1Φ2W	CE3.5sq-2C (HIVE22)
F	電話・CATV	—C—	(HIVE28) × 2
	消防車庫	1Φ2W	CE3.5sq-2C (HIVE22)

※露出部分はHIVE管で保護とする

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
3.5	CE3.5sq-3C	コロガシ

コンクリート壁への配線の立下りは電線管(PF)で保護とする

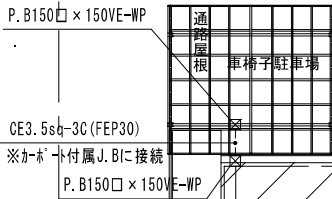
土砂堆積高さ3.25m

アスファルトカッター切り(単道)復旧共

電力・電話・CATV引込

既存構内柱流用

既存配管と接続し引込開閉器盤まで新設とする。既存配線は既存品再使用とする。



発電機接続盤

既存建物
(消防車庫)
58.17m²

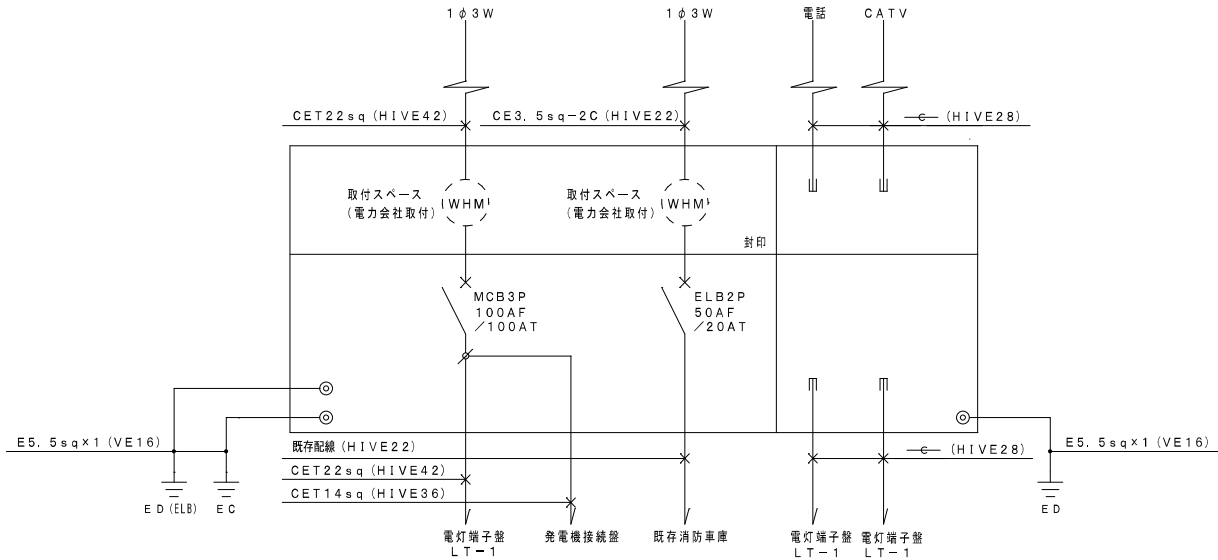
脇ノ山公民館新築建物

LT-1

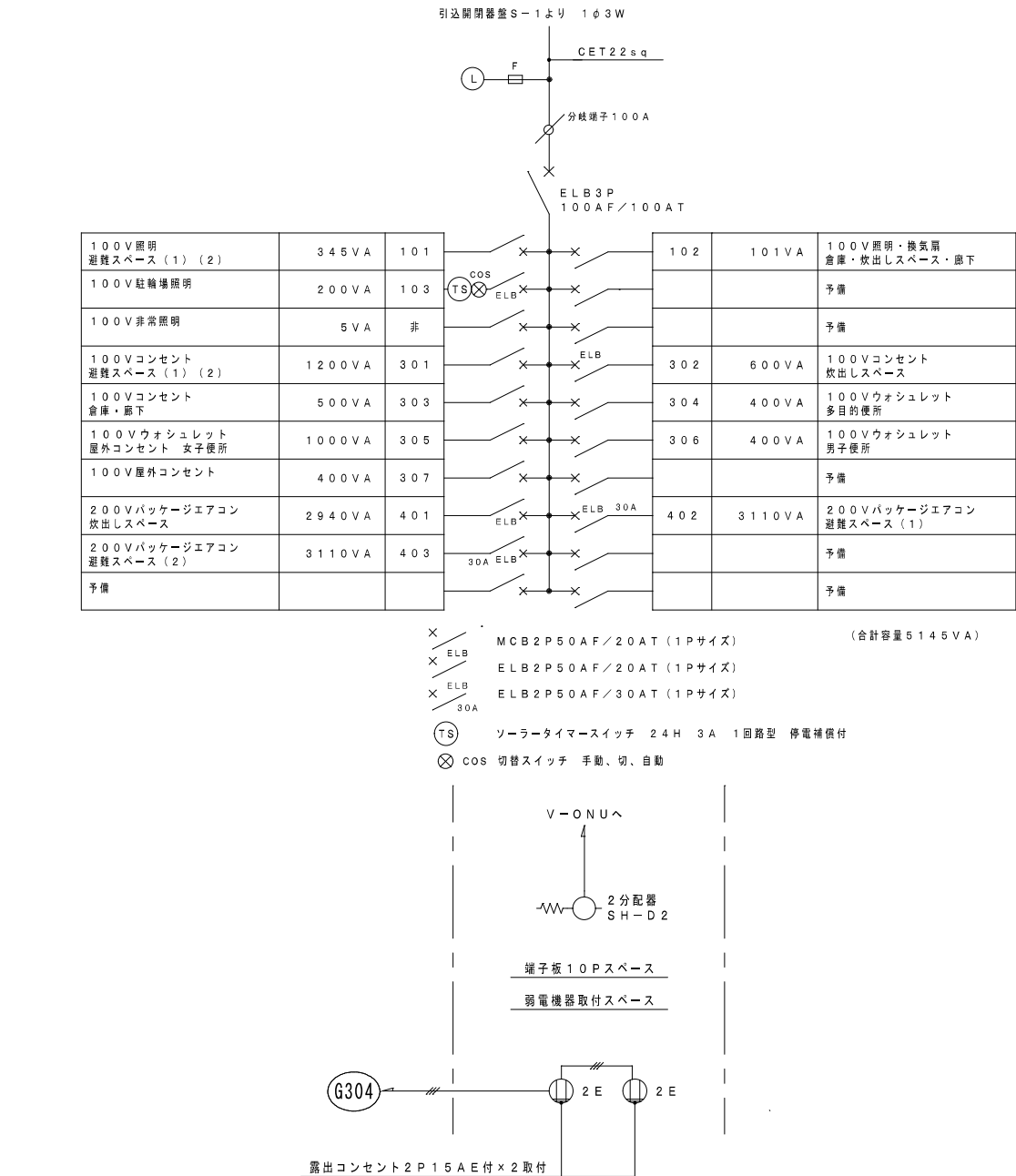
5.5 (VE16) ED (ELB) EC ED

A部仕様	構内コンクリート柱は既存品流用
共通事項	埋設配管には埋設シート保護砂を敷設し要所に埋設標を設置
	新設ハンドホール 国土交通省H2-9 R8K60セバ付
	埋設標 (ピン)

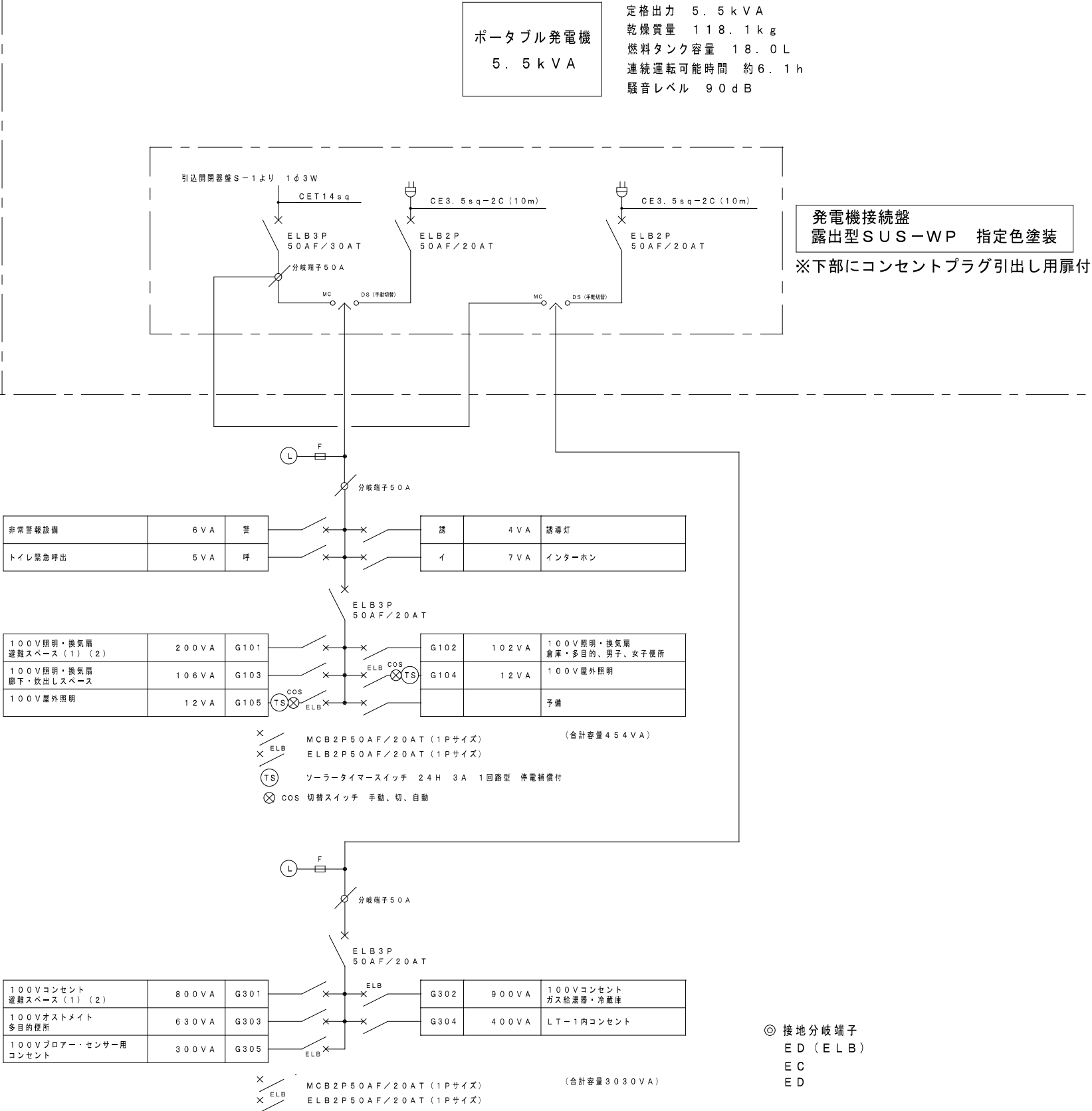
工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村田 憲明	
図名 配置図(改修後)	縮尺 1/150	年月日 R7.05	図面No. E-04	意匠担当	構造担当	



引込開閉器盤 S-1 露出型 SUS-WP 指定色塗装



電灯端子盤 LT-1 (鋼板製 露出型 指定色塗装)



ポータブル発電機
5.5kVA

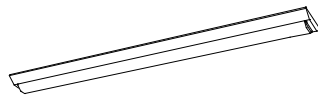
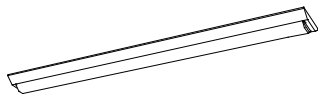


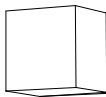


定格出力 5.5kVA
乾燥質量 118.1kg
燃料タンク容量 18.0L
連続運転可能時間 約6.1h
騒音レベル 90dB

発電機接続盤
露出型 SUS-WP 指定色塗装

※下部にコンセントプラグ引出し用扉付

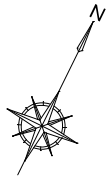
工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村田 憲明
図名 盤結線図	縮尺 N/S	年月日 R7.05	図面No. E-05	意匠担当	構造担当

照明器具姿図

A	LEDベースライト LSS9-4-65	B	LEDベースライト LSS9-4-30	C	LEDダウンライト	D	LEDダウンライト	E	LEDシーリングライト 白熱灯60W程度																											
消費電力：43. 1W		消費電力：20. 3W		消費電力：11. 6W		消費電力：7W		消費電力：6. 1W																												
																																				
一般タイプ、6900lmタイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		一般タイプ、3200lmタイプ 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 温白色（3500K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ> 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3500K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度 器具光束：1640lm、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：銅板（ホワイつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイつや消し仕上）、埋込穴φ100		LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ> 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3500K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度 器具光束：1010lm、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイ） 反射板（下部）：銅板（ホワイつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイつや消し仕上）、埋込穴φ100		昼白色（5000K）、Ra83 器具光束565lm、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、ツマミネジ方式 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイ）																												
ア	LED避難口誘導灯片面型 SH1-FBF20-BL	イ	LED非常照明 K1-LRS11-2																																	
																																				
LED誘導灯コンパクトスクエア B級・B.L形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209		φ100低天井用（～3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：LAL E-004 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売）																																		
		<table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>2.8m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>4.9</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.3</td><td>11.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.1</td><td>9.6</td></tr></table>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	2.8m	3.0m	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	4.9	直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.3	11.9	四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.1	9.6						
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	2.8m	3.0m																															
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	4.9																														
直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.3	11.9																														
四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.1	9.6																														

※照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3の測定方法による。

工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一般建築士登録第203207号 村田 憲明		
図名 照明器具姿図		縮尺 N S	年月日 R7.05	図面No. E — 06	意匠担当		構造担当		



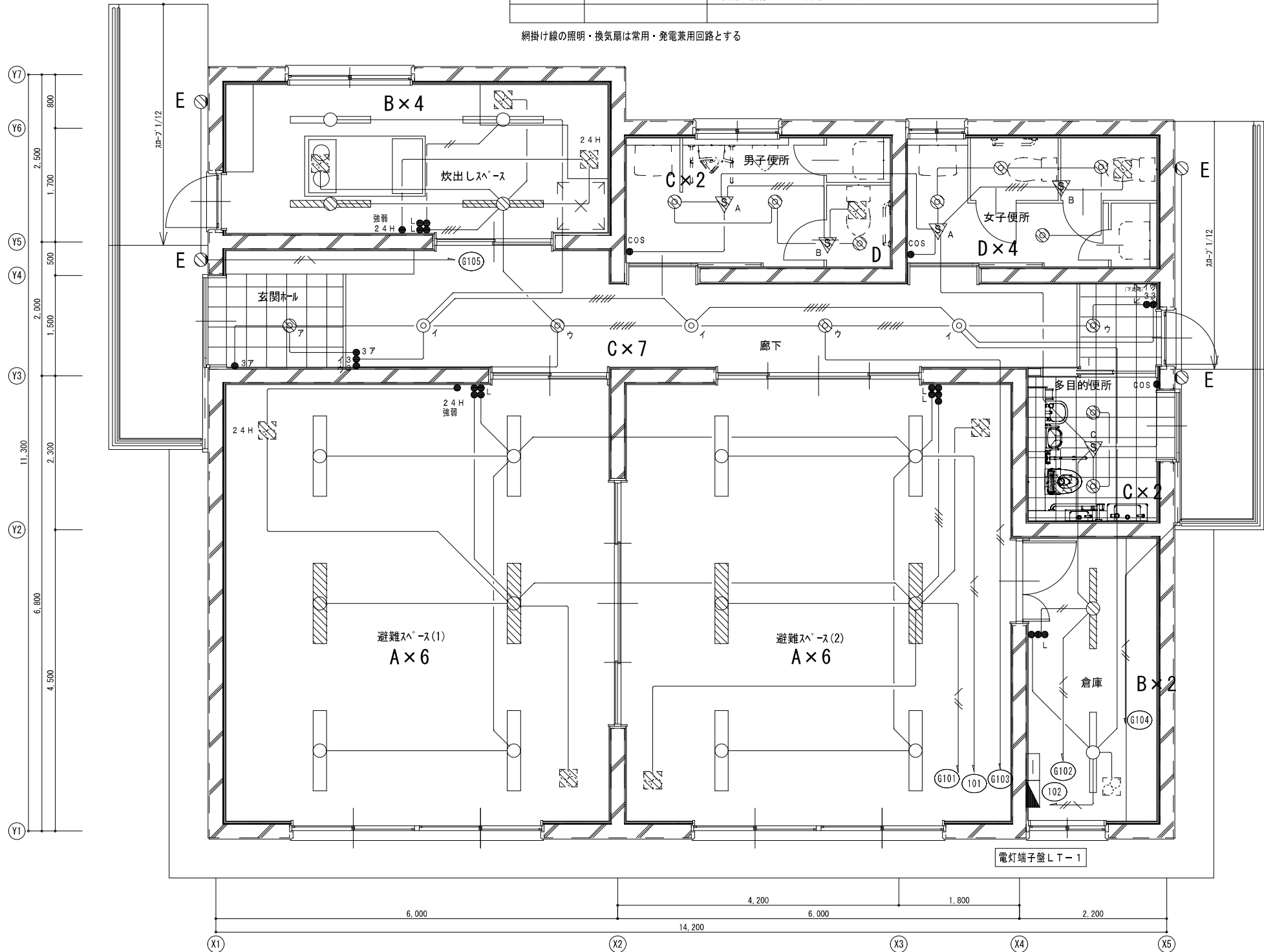
凡例

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯端子盤 (LT-1)	別図参照
●	埋込スイッチ	1 P × 1 新金属プレート共
● L	〃	1 P L × 1 〃
● 3	〃	3 W × 1 〃
● 2 4 H	2 4 時間換気用スイッチ	機械設備工事支給品取付
	熱線センサー自動スイッチ	親器 8 A 広角検知形 検知後動作時間約 1 0 秒 ~ 3 0 分可変形・明るさセンサー付
	〃	子器 〃 〃 換気扇接続端子付
	〃	親器 1. 2 A 検知後動作時間約 1 0 秒 ~ 3 0 分可変形・明るさセンサー付・換気扇遅れOFF機能付
● COS	操作ユニット	1 回路 熱線センサー自動スイッチ用

網掛け線の照明・換気扇は常用・発電兼用回路とする

注記事項			
図中明記なき配管配線は下記による。			
	照明	EEF 1. 6-2 C	コロガシ
	〃	EEF 1. 6-3 C	〃
	〃	EEF 1. 6-2 C+3 C	〃
	〃	EEF 1. 6-3 C×2	〃

コンクリート壁への配線の立下りは電線管(PF)で保護とする



工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778		高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 電灯設備図	縮 尺 1 / 50	年 月 日 R7. 05	図 面 No. E — 07	意匠担当	構造担当	



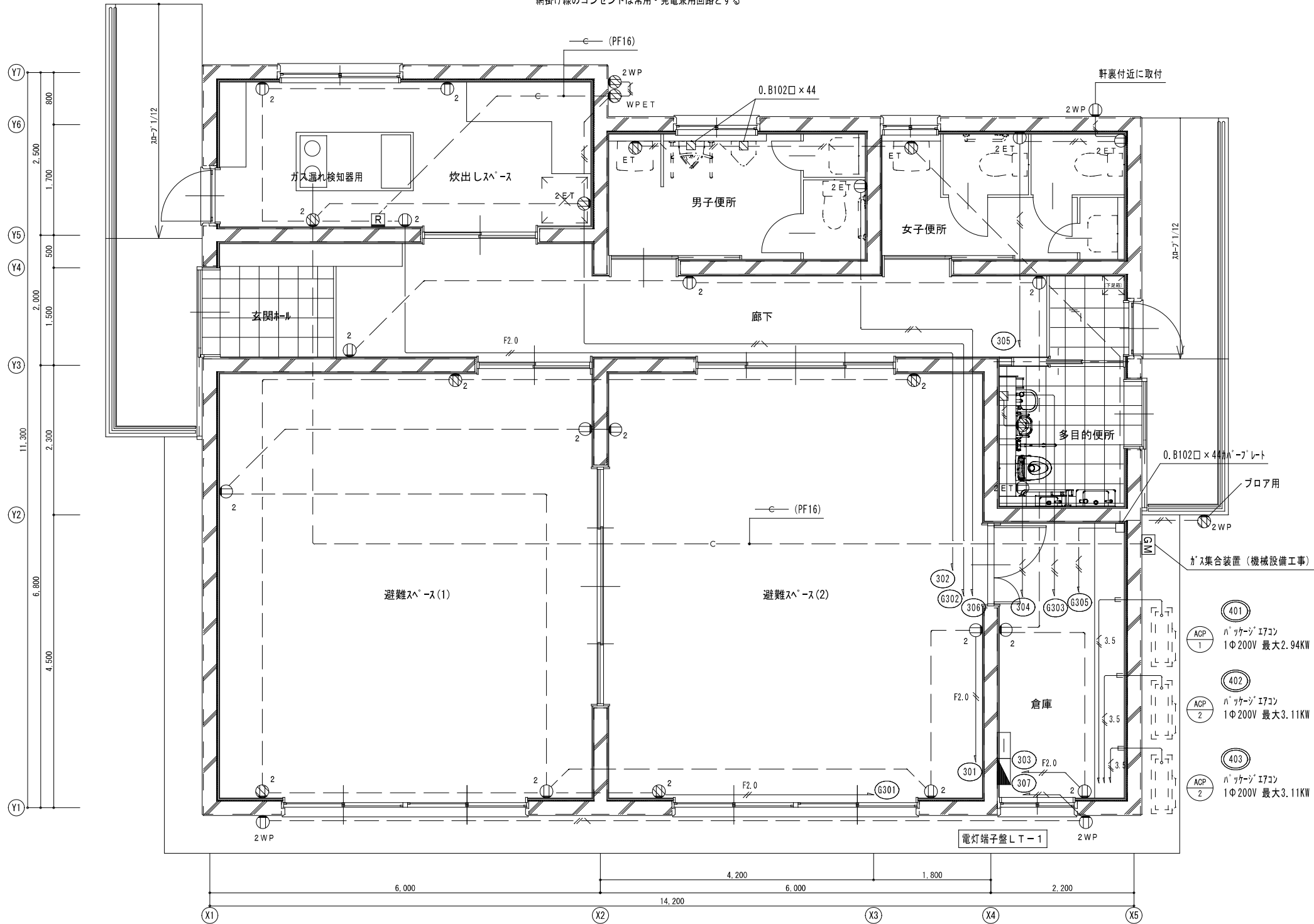
凡例

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯端子盤 (L T - 1)	別図参照
	埋込コンセント	2 P 1 5 A × 2 新金属プレート共
	"	2 P 1 5 A × 1 E T "
	"	2 P 1 5 A × 2 E T "
	防水コンセント	2 P 1 5 A × 2 E E T
	"	2 P 1 5 A × 1 E E T 入線機能付
	給湯器リモコン取付	スイッチボックス2個用 ※リモコン機器は機械設備工事支給品

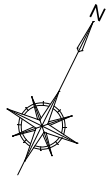
網掛け線のコンセントは常用・発電兼用回路とする

注記事項			
図中明記なき配管配線は下記による。			
	コンセント	EEF 2. 0 - 2 C	コロガシ
	"	EEF 2. 0 - 3 C	"
	"	EEF 2. 0 - 2 C (P F 1 6)	インベイ
	"	EEF 2. 0 - 3 C (P F 2 2)	"
	空調機	CE 3. 5 - 3 C	コロガシ

コンクリート壁への配線の立下りは電線管 (P F) で保護とする
パッケージエアコン電源の屋外露出部分は冷媒配管共巻とする (制御線との接触を避ける事)



工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村田 恵明	
図 名 コンセント設備図		縮 尺 1 / 50	年 月 日 R7. 05	図 面 No. E — 08	意匠担当	構造担当	



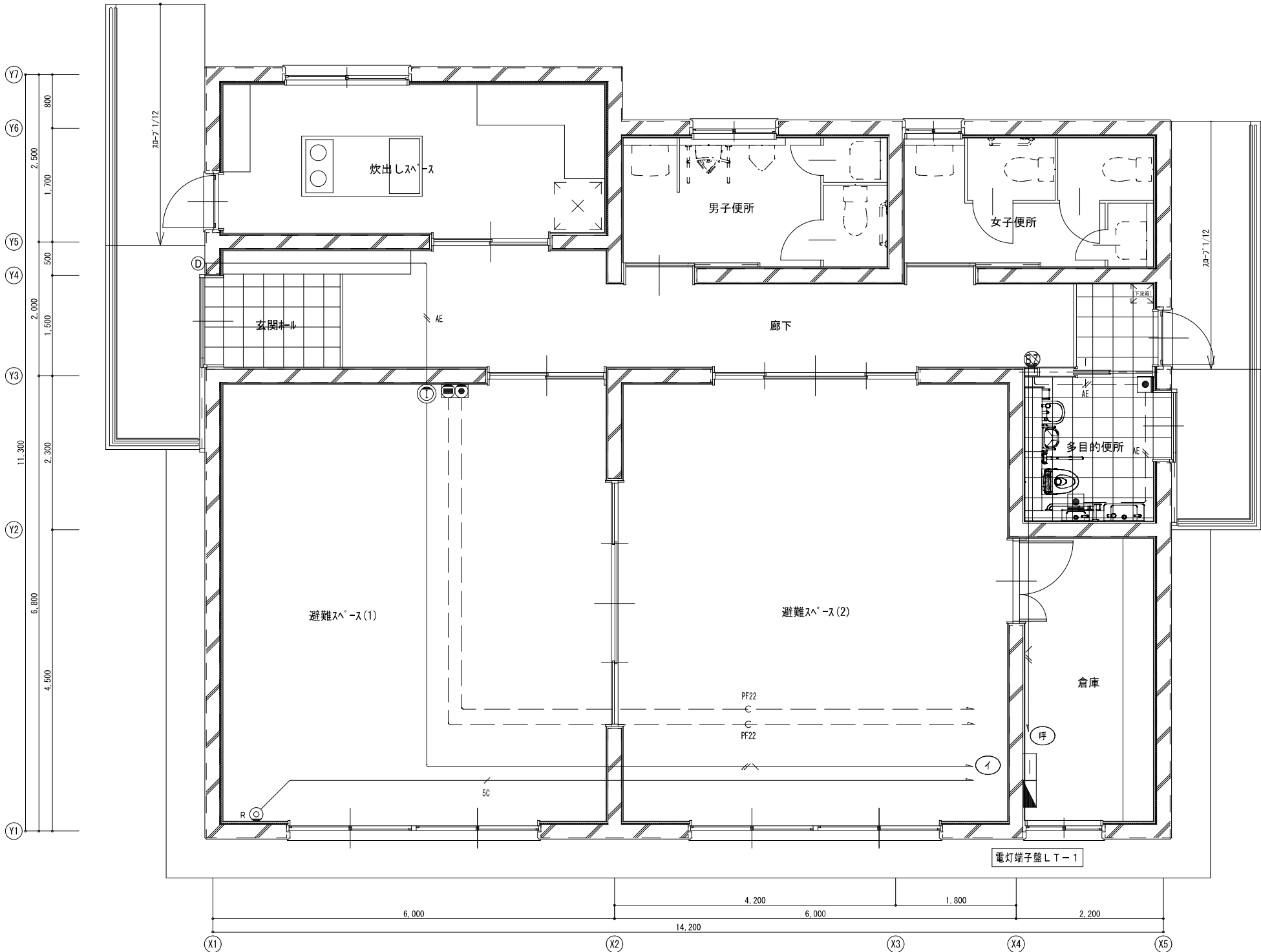
凡例

凡 例			
記 号	名 称	備 考	
	電灯端子盤(L T-1)	別図参照	
	電話・情報コンセント	電話モジュラー6極4芯×1+CAT6×1	新金属プレート共
	直列ユニット	一端子 端末	"
	インターホン親機	右図参照	
	ドアホン子機	右図参照	
	警報ランプ付ブザー	AC100V	参考品番:EA5501
	埋込押ボタンスイッチ	防沫形 プルススイッチ付 DC30V 常開形	参考品番:WS65771

網掛け線の警報ランプ付ブザーは常用・発電兼用回路とする。

注記事項			
図中明記なき配管配線は下記による。			
	電話・情報		コロガシ
	TV共聴		S5C-FB
	トイレ緊急呼出		AE0.9-2C(PF16)
	"		EEF2.0-3C
	インターホン		AE0.9-2C
	"		EEF2.0-3C

コンクリート壁への配線の立下りは電線管(PF)で保護とする



参考弱電機器姿図

①

インターホン親機

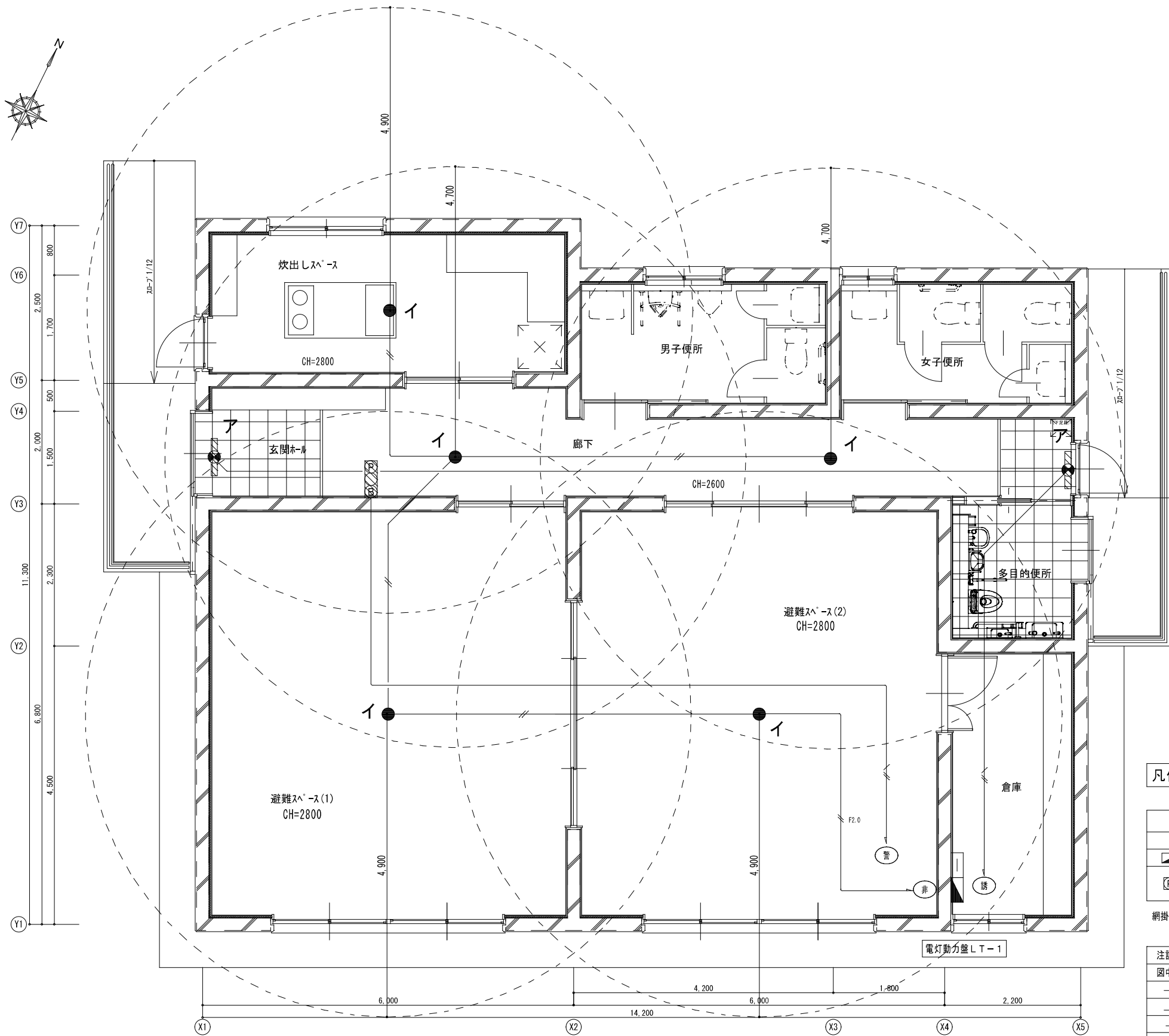
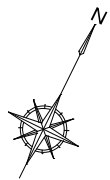
電源電圧	AC100V
形 状	壁取付型
画面表示	約5型ワイドカラー液晶ディスプレイ

②

玄関子機

電源電圧	待機時:DC約5V 動作時:DC約20V
外観色調	シルバー
形 状	露出形(JIS1個用スイッチボックス)

工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 弱電設備図		縮 尺 1/50	年 月 日 R7.05	図 面 No. E 09	意匠担当	構造担当	



凡例

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯端子盤	別図参照
	非常警報装置	露出型屋内型 LEDリング型表示灯、音響装置(90dB以上)組込型 AC100V 非常電源DC6Vニッケルカドニウム蓄電池

網掛け線の誘導灯・非常警報装置は常用・発電兼用回路とする。

注記事項			
図中明記なき配管配線は下記による。			
	非常照明	EEF1. 6-2C	コロガシ
	"	EEF2. 0-2C	"
	誘導灯	EEF1. 6-3C	"
	"	EEF2. 0-3C	"
	非常警報	EEF2. 0-3C	"

コンクリート壁への配線の立下りは電線管(PF)で保護とする

工事名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント			高知県知事登録119号	管理建築士	
	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778			代表取締役 福家 正義	一般建築士登録第203207号 村田 憲明	
図 名 非常照明・誘導灯・非常警報設備図	縮 尺 1/50	年 月 日 R7.05	図 面 No. E 10	意匠担当	構造担当	

特 記 仕 様 書 (1)

工事名称	脳ノ山公民館新築工事（機械設備）
設計年度(設計図)	令和 6 年度
工事期間(完成図)	令和 年 月 日～令和 年 月 日
工事場所	高知県吾川郡いの町脳ノ山264-2

棟 名	構 造	階 数	延床面積 (㎡)	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
公民館	R C造	1	153.9㎡		(1)項ロ
		戸 数			
		1			

共通事項																																																
種 目	項 目	特 記 仕 様 (※ 及び ●印をつけたものを適用する)																																														
一般	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和4年版)」による。 ※ 国土交通省大臣官庁営繕部監修 「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」 ※ 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要する部分はツバ付銅管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所等、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)																																														
	スリ ー プ	○ 国土交通省仕様 ● メーカー仕様 ※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※ 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。 建物の種別： ○ 特定の施設 ● 一般の施設 地域係数： 1. 0 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。																																														
	機器類 区画貫通処理 耐震措置	重要機器 防災機器 火を使用する機器 タンク類 消火設備機器																																														
	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注) ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。																																														
	配管の支持	※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図16) ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。 ※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト(亜鉛ドブ漬又はステンレス製)にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びビット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。																																														
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表																																														
		<table><tr><th>流体種別</th><th colspan="3">給水</th><th colspan="3">給湯</th><th colspan="3">冷水水</th></tr><tr><th>管 材 等 種 別</th><th>ステン管</th><th>ライニン管</th><th>水栓金具</th><th>弁類</th><th>ステン管</th><th>ライニン管</th><th>弁類</th><th>ステン管</th><th>ライニン管</th><th>銅管</th><th>弁類</th></tr><tr><td>テープシール材</td><td>(ロ)</td><td>(イ)</td><td>(ロ)</td><td></td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td></td><td>(ロ)</td><td></td><td></td><td>(ロ)</td></tr><tr><td>ベーストシール剤</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td></td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td></td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td></td></tr></table>	流体種別	給水			給湯			冷水水			管 材 等 種 別	ステン管	ライニン管	水栓金具	弁類	ステン管	ライニン管	弁類	ステン管	ライニン管	銅管	弁類	テープシール材	(ロ)	(イ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)		(ロ)			(ロ)	ベーストシール剤	(ハ)	(ハ)	(ハ)		(ハ)	(ハ)		(ハ)	(ハ)	(ハ)	
	流体種別	給水			給湯			冷水水																																								
	管 材 等 種 別	ステン管	ライニン管	水栓金具	弁類	ステン管	ライニン管	弁類	ステン管	ライニン管	銅管	弁類																																				
	テープシール材	(ロ)	(イ)	(ロ)		(ロ)	(ロ)		(ロ)			(ロ)																																				
ベーストシール剤	(ハ)	(ハ)	(ハ)		(ハ)	(ハ)		(ハ)	(ハ)	(ハ)																																						
(テープシール材)	※ (イ) テープシール材は、JIS K 6885 (シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ)) によるものとする。 注) 水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。																																															
(ベーストシール剤)	※ (ロ) 一般用ベーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※ (ハ) 給水用、給湯用及び冷水水用の防食用ベーストシール剤は、JWWA K 161 (水道用ライニング鋼管用液状シール剤) に規定する水道用シール剤とする。 注) 水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なベーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤 (ロ) (例：日本ヘルメチック株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメチックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメチック No. A0-9など) ライニング鋼管に使用する防食用ベーストシール剤 (ハ) (例：日本ヘルメチック株式会社のヘルメシール55-88・403・株式会社ヘルメチックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメチックNo. A0-9など)																																															
弁 サヤ管工法 埋設深さ(管上) 埋設管の保護	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。 ※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。(同時施工を行わない。) ● 一般敷地300mm以上 ● 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。 ● 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ※ 石綿含有分析調査 ○本工事 ○別途 ○無し アスベスト含有品(ガasket、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等)は関係法令に従い適切に処理を行う。																																															
石綿含有品	※ 構外搬出 処理場所 ()所在地 ()距離 () km その他、建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。																																															
建設発生土の処理	○ 構内指定場所に敷き均し ○ 構内指定場所に堆積 ※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・樹類の砂利地床は原則として再生クラッシュランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可) ※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。																																															
建設副産物	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。) ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ○騒音の測定 ○室内気流及びじんあいの測定																																															
コンクリート工事／骨材 はつり・非破壊検査	○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○ 冷凍空調和機器施工 ○ その他 完 成 図 ※ CADデータでCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ(PDF形式) ※ A4版黒紙金文字製本 1部 ※ 2ツ折りA3版製本 1部 施 工 図 ○ CADデータでCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ 2ツ折り製本(サイズは原因による) 工事管理資料(写し) ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 事 写 真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 事 日 誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 具 類 ● マンホールフック ○ 制水弁ハンドル ○ 掃除口ハンドル ○																																															
総合調整																																																
技能士の適用 完成後の提出物																																																
室内空気汚染対策	対象建築材料等	使用制限																																														
	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。																																														
	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。																																														
	③ 木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。																																														
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。																																														
⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。																																															
室内に関わる材料(上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。																																																

● 室内空気汚染対策	対 象 建 築 材 料 等	使 用 制 限
	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、 単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
	③ 木材保存剤(防虫処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。
	⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。

配管材料	① 配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】(JIS G 3452)	②① ポリブデン管 (JIS K 6778)						
	② 配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】(JIS G 3452)	②② 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】(WSP 042)						
	③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】(JWWA K 116・WSP 011)	②③ 排水用ノンタルエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)						
	④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】(JWWA K 116)	②④ 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)						
	⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)	②⑤ 鉛管(HASS 203)						
	⑥ 消防用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】(WSP 041)	②⑥ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】(JIS K 6741)						
	⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】(JWWA K 140)	②⑦ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】(JIS K 6741)						
	⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)	②⑧ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】						
	⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】(JIS G 3459)・・・60A以下は拡管式	②⑨ 卵形管 【ゴムリング】(JAWAS K-3)						
	⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管 【3種管】(JWWA G 113)	③⑩ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管						
	⑪ 鋼管 【M】(JIS H 3300)	③① 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白						
	⑫ 外面被覆鋼管 【M】(JIS H 3330) 給湯	③② ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)						
	⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】(JIS K 6776)	③③ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】						
	⑭ 水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】(JIS K 6742)	③④ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009) 冷媒						
	⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】(JIS K 6742)	③⑤ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品)						
	⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】(JWWA K 127)	③⑥ 空調用保温材付ドレン管 【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】 (内管JIS規格品)						
	⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】(JWWA K 129)	③⑦						
	⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	③⑧ -						
	⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)	③⑨ -						
	⑳ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)	④① -						
管種使用区分	工 種 場 所	屋 内 一 般	屋 内 ビ ッ ト	屋 内 コ ン ク リ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空	
	給 水 (直 圧)	⑮			⑮	⑮⑱		
	給 水 (一 般)							
	汚 水	⑳			㉑	㉑		※125A以上の地中埋設は㉑とする。
	雑 排 水	㉑			㉑	㉑		※125A以上の地中埋設は㉑とする。
	通 気	㉑			㉑	㉑	㉑	屋外露出はｶﾞｰVPとする。
	ガ ス	㉒					㉓	
	消 火							
	給 湯	㉔					㉔	
	器 具 接 続							
	冷 温 水							
	冷 却 水							
	中 水							
	冷 媒	㉕					㉕	
	空 調 ド レ ン	㉖					㉖	屋外露出はｶﾞｰVPとする。
塗装・防食	※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。 ※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 ※ 土中埋設する鋳鉄管、鋳鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。 ○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類(電気メッキ品)は塗装(さび止めペイント・中塗り・上塗り)を施す。 ※ 下記の露出配管、ダクト(ダクト構成部材含む)、電線管、フード類の塗装を行う。 屋外： ○ドレン管(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) 屋内： ○ダクト(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) ○フード類(指定色塗装)							
保温・防露	工 種 場 所	屋 内 露 出	機 械 室・倉 庫	天 井・PS内	床 下 暗 渠 内	屋 外 露 出	屋 外 埋 設	備 考
	給 水	a ₂ ()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ (ロ)Ⅶ	d()Ⅶ	e ₂ (ハ)Ⅶ	()	一般換気0Aダクトは保温する。 一般換気EAダクトは外壁から2m保温する。
	排水・空調ドレン	a()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ ()Ⅶ				
	給 湯	a()Ⅰ	b()Ⅰ	c ₂ (ロ)Ⅰ	d()Ⅰ	e ₂ (ロ)Ⅰ		
	冷水・冷水水管	A()Ⅲ	B()Ⅲ	C ₁ ()Ⅲ	D()Ⅲ	E ₂ ()Ⅲ		
	冷 媒 管	(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+スリムダクト		
	矩 形 ダ ク ト	J ₁ ()XI	I()XI	I()XI		K ₂ ()XI		
	スパイラルダクト	O ₁ ()XI	N()XI	N(ロ)XI		P ₂ ()XI		
	(イ)ロックウール保温材	(ニ)簡易保温筒10mm	(ト)簡易耐熱保温筒20mm	(ヌ)ガルバリウム鋼板				
	(ロ)グラスウール保温材	(ホ)簡易保温筒20mm	(チ)冷媒用被覆鋼管	(ル)カラーガルバリウム鋼板				
	(ハ)ポリスチレンホーム保温材	(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm	(リ)SUSラッキング	(ヲ)ー				
	●フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※ 器具類(洗面化粧台・給湯器・温水器等)と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。							
表示	※ 配管表記 ①機械室・ビット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。 ②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。 ③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 ※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ベンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。 ※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図13) ※ 水中に設置するような各種主要機器類(水中ポンプ等)は銘板を盤付近にも設ける。(製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。) ※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。 ※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示板(標示柱は県標準図8)を設ける。 ※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)							
発生材の処理	○ 引渡しを要するもの ()							
	○ 現場において再利用を図るもの ()							
	※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。							
	※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。							

工 事 名 令和7年度 脳ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 098-883-1030 FAX 098-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 村家 正義	管理建築士 一般建築士登録第203207号 村 田 憲 明		
図 名 特記仕様書(1)	縮 尺 1 / NS	年 月 日 R7.05	図 面 No. M — 01	親図担当	構造担当

特記仕様書（ 2 ）

Ⅱ 工事種目

●衛生器具設備

取付位置

大便秘器

化粧鏡

流量調整

洗濯機パンシール（コーキング）

※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。
（特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）
※ 和風大便秘器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（県標準図1）
※ 和風大便秘器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。
※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。
※ 小便器・大便秘器の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。
大便秘器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒
※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。
● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。

	設置場所の床が湿式（防水）		設置場所の床が乾式（非防水）	
機器種別	壁	床	壁	床
洋風便器	—	不	—	不
洗面器類	不	—	要	—
掃除流し	不	—	要	不
洗濯流し	不	—	要	不
洗濯パン	—	—	要	不
ステンレス流し台	要	不	要	不
化粧棚	不	—	要	—

●給水設備

負担金類

継手類

バルブボックス隠蔽部の保温

既設給水銅管への接続

水槽類の施工手順

水槽類の衛生管理

引渡前の水質の管理

●不要 ○要（ ）
※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁）
※ 二次側給水弁（土中）：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁（内面ライニング）
※ 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鑄鉄製 F 付き内面ライニング弁5K
※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。
※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。
※ ビニル管とライニング銅管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。
※ TSバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。
※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。
※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。
空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要
※ 改修工事等で銅管類（ライニング銅管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、銅管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等バイプライニング用）にて処置する。ただし、コープ体型管端防食タイプソケットRC-LA型継リケンを使用する場合は処理不要とする。）
※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。
※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。
○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。）
○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（ ）ヶ所とする。

●排水設備

保護砂

砂利

樹脂製排水樹脂生器具等の接続

排水管の防露

排水管の試験等

その他

●第1梯以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。
○ 適心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。
※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。
● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。
※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図5による。
● 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）
※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで一必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要
○ 満水試験 ● 通水試験 ○ 鏡確認
※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。

●消火設備

消火栓箱

○ 消火栓箱は（○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様）
○ 共住区画の消防検査受検必要

●給湯設備

弁絶縁対策

給湯管の保温

大気汚染対策

● 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス銅弁10K
※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。
※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。
※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。
※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。
※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。
○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。

●ガス設備

ガス集合装置

給湯器用止水弁

その他

※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。
※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。
※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。
※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。
※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。
※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。
※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。

●浄化槽設備

種試験

運転調整

その他

※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。
※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。
ゝ 維持管理を管理者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。
※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。
※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。
○ 補助金申請設備

●空気調和・換気設備

空調機器の仕様

パッケージエアコン等

自動空気抜き弁装置

冷媒配管のラッキング

ダクト

消音内貼り

厨房等の排気フード

送風機（大型）

エアコン類の電気工事

防振ハンガー

耐震対策措置

機器付属の制御盤

大気汚染対策

※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。
なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。
○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。
※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。
○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照）
1）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。
2）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊り进行器。
※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。
○ 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。
※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。
※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはエンドキャップ処理）（フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。）
○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品） ● スパイラルダクト
※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サプライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。
※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンパー・吸込口チャンパー・レターンチャンパーは25mm厚、サプライチャンパーは50mm厚）とし、グラスクロス押えとする。
※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚）
※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。
※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい）
※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。
（参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。）
※ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。
※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外旋り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。
※ リモコン線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のリモコン線は機器付属品でもよい。）
※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。）
※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。
※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。
※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。
※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の壁の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。
○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。

●別工事

別途工事

○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○
● 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ プロパンボンベ庫 ○ ○

Ⅲ 材料メーカー表

材 料	材 料 メ ー カ ー
衛 生 陶 器	TOTO、LIXIL (INAX)、ジャニス工業
水 栓 金 具 類	TOTO、LIXIL (INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P 水 槽	三菱、日立、積水
う ず 巻 ボ ン プ	荏原、日立、㊦、川本
水 中 モ ー タ ー ボ ン プ	荏原、日立、㊦、川本、鶴見
汚 水 ・ 汚 物 ボ ン プ	荏原、日立、㊦、川本、鶴見、新明和
電 気 温 水 器	四菱テック、ユバック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨 房 機 器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小 型 銅 板 ボ イ ラ ー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P 膨 張 タ ン ク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ル ー ム エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送 風 機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷 却 塔	矢崎、日立、荏原シノワ、空研、日本スピンドル
自 動 制 御 機 器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロ ー ル フィ ル タ ー	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
そ の 他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者

ボイラ

危険物

冷凍機

○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ） 級ボイラ技士
○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
○ 資格不要 ○ 第（ ） 種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打 合 せ 事 項			確 認 日	
給 水					令和 年 月 日	
排 水					令和 年 月 日	
消 防					令和 年 月 日	
浄 化 槽					令和 年 月 日	
ガ ス					令和 年 月 日	
そ の 他					令和 年 月 日	
					令和 年 月 日	

工 事 名

令和7年度 脇ノ山公民館新築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント

高知市南久保16-17 TEL 088-882-1030 FAX 088-882-4779

高知県知事登録119号

代表取締役

福家 正義

管理建築士

一級建築士登録第20207号

村 田 憲 明

図 名

特記仕様書（2）

縮 尺

1 / NS

年 月 日

R7.05

図 面 No.

M — 02

意匠担当

構造担当

県標準図 2

大便器廻り納まり図

作 図
平成28年 7月

和式トイレ納り図

洋式トイレ納り図

一般腰掛便器

平面

平面

側面

側面

(参考) 一般の便器の高さは 約400
(車いす対応便器の高さは約450)

景標準図 7	樹脂製インパート樹（ビニマス）・防護蓋	製 作 平成28年 8月
--------	---------------------	-----------------

防護蓋の設置高さはアスファルトやコンクリートでは上蓋すりあわせとするが、土や砂利等の場合は事前に仕上げ高さを確認しておく。

防臭キャップの取付高さは製造者の指定された高さとし、立ち上りがパイプ内部に土などが入りにくく、蓋が閉まる高さとする。
(Mazda・アロンマス・タキロン)

立ち上りパイプは水平な切り口とし、バリを除去して防臭パッキンを埋めさせる。

ビニマスの下部部にV口配管で接続する時はV口兼推進ソケットを使用して、上りの役兼なくして接続する。

ビニマスの差し込み部に挿入して、隙間は最小とする。

ビニマス内に付着した排炭等は除去する。

※ ビニマス周囲の保護砂は暫上100まで埋め戻す。

樹脂製インパート樹の施工における主な注意点

県標準図 13	パッケージエアコンの施工	製 作 平成 29 年 5 月
---------	--------------	--------------------

① 破線の取り付けは、取付金具の下部ダブルナット・増締めチェック用マーキングとする。
 ② 室内機付属のフレキシブルホースは機舎の後面に設置する。
 ③ ドレン管の立上り部にはホリを必ず設ける。
 ④ ドレン管排水用に、立上り滑車に破線口を設ける。
 ⑤ 立上り管に立上り金具の支持間隔は1m以内とする。(注：排水管の支持間隔)
 ⑥ ドレン管の立上り金具は排水業者の仕様とする。
 ⑦ 冷媒配管の支持間隔は基準外径9.52mm以下の場合1.5m以下、12.7mm以上の場合2.0m以下とする。
 ⑧ 冷媒管の継ぎ接ぎは、市販の保温材被覆シーストを被覆する。
 ⑨ 冷媒口は、機舎へのドレン管接続位置近辺に付ける。
 ⑩ 配管用の振れ止めに設けるおねじボルトはボルト・ナットにて機固に取り付けること。

天カセエアコン室内機の施工における主な注意点

天吊金正面図

天吊金側面図

① 吊ボルトと室内機との固定 (下記詳細図)
 ② 冷媒とドレン管養生側

① 配管の太さなどによって天吊金ボルトが破断され、取付金具が落ちたり外れて落下しない対策を行う。
 ② ドレン管の機固の付いていないドレン配管は、室内機直直で立ち上げる。

天吊りエアコン室内機の施工における主な注意点

室内機

室外機

文字書きは Cutting シート 切抜き文字とする。

エアコン室内外機等の表記

県標準図 1 6	金 属 系 ア ン カ ー	製 作 令和 2 年 6 月
----------	---------------	-------------------

スリーブ打込み式
(おねじタイプ)

ウェッジ式
(おねじタイプ)

機器の固定に使用する金属系アンカー

※ ポンベハウスの固定アンカーに関する注意点 (部分抜粋)

アンカーボルトの穴は、深度80mmとしてコンクリートドリル刃外径16.5mmを使用し、
 水平なコンクリート基礎の上に設置します。
 ポンベハウスの土台を付属品の後継アンカー(テーパードルト式アンカー外径16mm[※]深部重締め[※])
 にて止めてください。

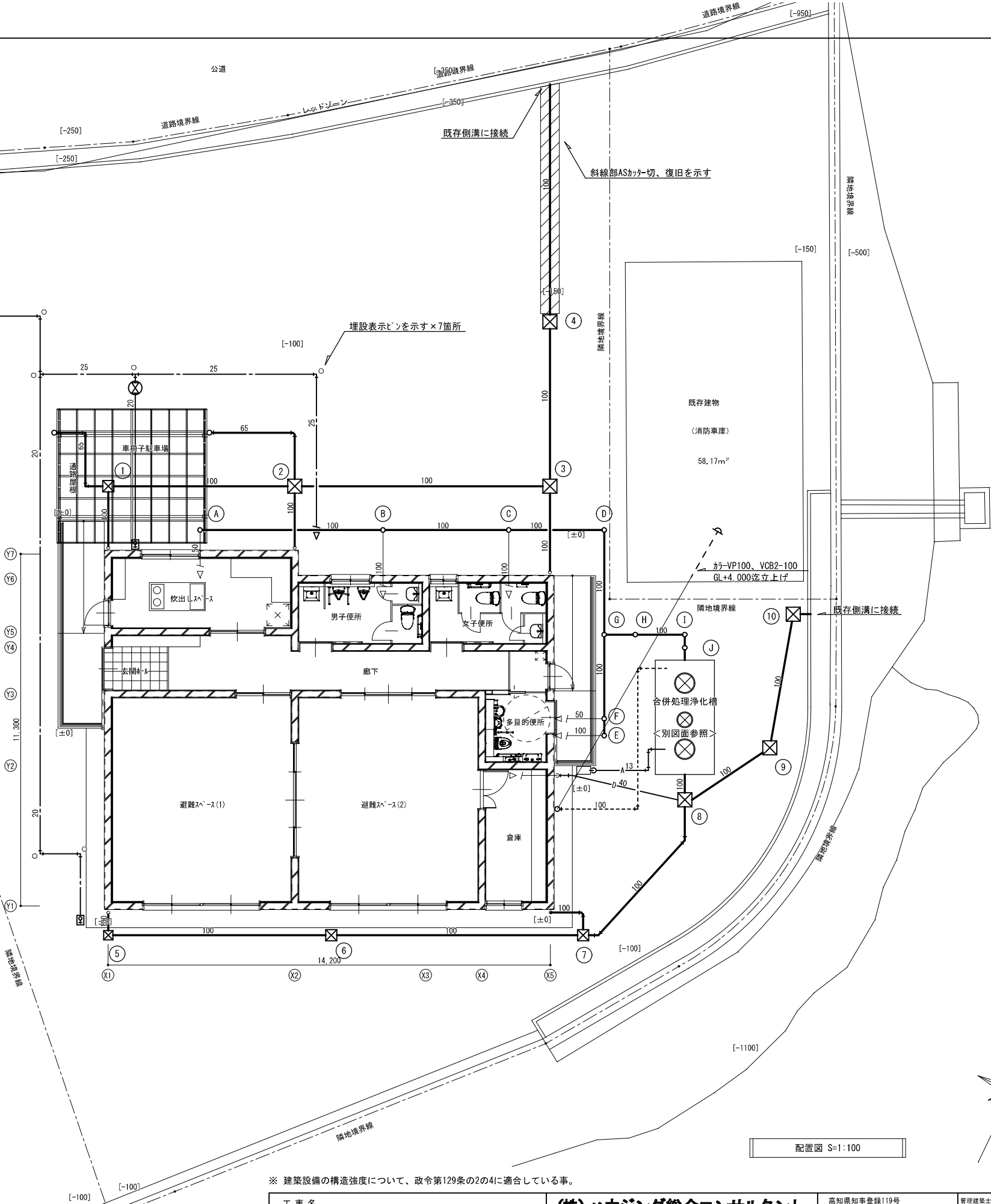
ポンベハウスの固定に使用する金属系アンカー

工 事 名 令和7年度 臨ノ山公民館新築工事	<div style="text-align: center;"> (株)ハウジング総合コンサルタント <small>高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779</small> </div>			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203220号 村田 憲明
図 名 特記仕様書(3)	縮 尺 $\frac{1}{NS}$	年 月 日 R7.05	図 面 No. M — 03	意匠担当	構造担当

汚水樹リスト 防護蓋は袋穴式とする							
記号	種 類	大きさ 接続口×管径-蓋径	管 底 基準GL	基準GLと 現地GL差	管 底 現地GL	蓋	備考
Ⓐ	樹脂製樹	90L×100-150A	-300	±0	-300	防護蓋(T-8, 止水キャップ)	
Ⓑ	樹脂製樹	90Y×100-150A	-360	±0	-360	防護蓋(T-8, 止水キャップ)	
Ⓒ	樹脂製樹	90Y×100-150A	-400	±0	-400	防護蓋(T-8, 止水キャップ)	
Ⓓ	樹脂製樹	90L×100-150A	-440	±0	-440	防護蓋(T-8, 止水キャップ)	
Ⓔ	樹脂製樹	90L×100-150A	-300	±0	-300	樹脂製蓋(タンフリップ)	
Ⓕ	樹脂製樹	90Y×100-150A	-310	±0	-310	樹脂製蓋(タンフリップ)	
Ⓖ	樹脂製樹	WLS×100-150A	-470	±0	-470	樹脂製蓋(タンフリップ)	
Ⓗ	樹脂製樹	ST×100-150A	-480	±0	-480	樹脂製蓋(タンフリップ)	マンホールイレ
Ⓘ	樹脂製樹	90L×100-150A	-500	±0	-500	樹脂製蓋(タンフリップ)	
Ⓙ	樹脂製樹	ST×100-150A	-510	±0	-510	樹脂製蓋(タンフリップ)	マンホールイレ

雨水樹リスト							
記号	種 類	大きさ	管 底 基準GL	基準GLと 現地GL差	管 底 現地GL	蓋	備 考
①	既製品樹	350口	-420	±0	-420	MHA-350	
②	既製品樹	450口	-480	±0	-480	MHA-450	
③	既製品樹	450口	-570	±0	-570	MHA-450	
④	既製品樹	450口	-630	-150	-480	MHA-450	
⑤	既製品樹	300口	-300	±0	-300	MHB-300	
⑥	既製品樹	350口	-380	±0	-380	MHB-350	
⑦	既製品樹	450口	-460	-50	-410	MHB-450	
⑧	既製品樹	450口	-630	±0	-630	MHB-450	
⑨	既製品樹	450口	-670	±0	-670	MHB-450	
⑩	既製品樹	450口	-720	±0	-720	MHB-450	

屋外		
甲型止水栓	20A	1
止水栓BOX		1
散水栓	T28KUNH13	2
散水栓BOX		2



※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 配置図		縮 尺 1/100	年 月 日 R7.05	図 面 No. M — 04	意匠担当	構造担当	

炊出しスベース		
BAV	15A	2
GC	15A	1
ヒューズボックス	双口	1

多目的便所		
コンパクトリフトトイレバック	UADBKG61L1C1ADN1WA	1
掃兼ドレン	T3-PCG 50	1
床上掃除口	COA100	1
通気金具	VC-S2 50	1

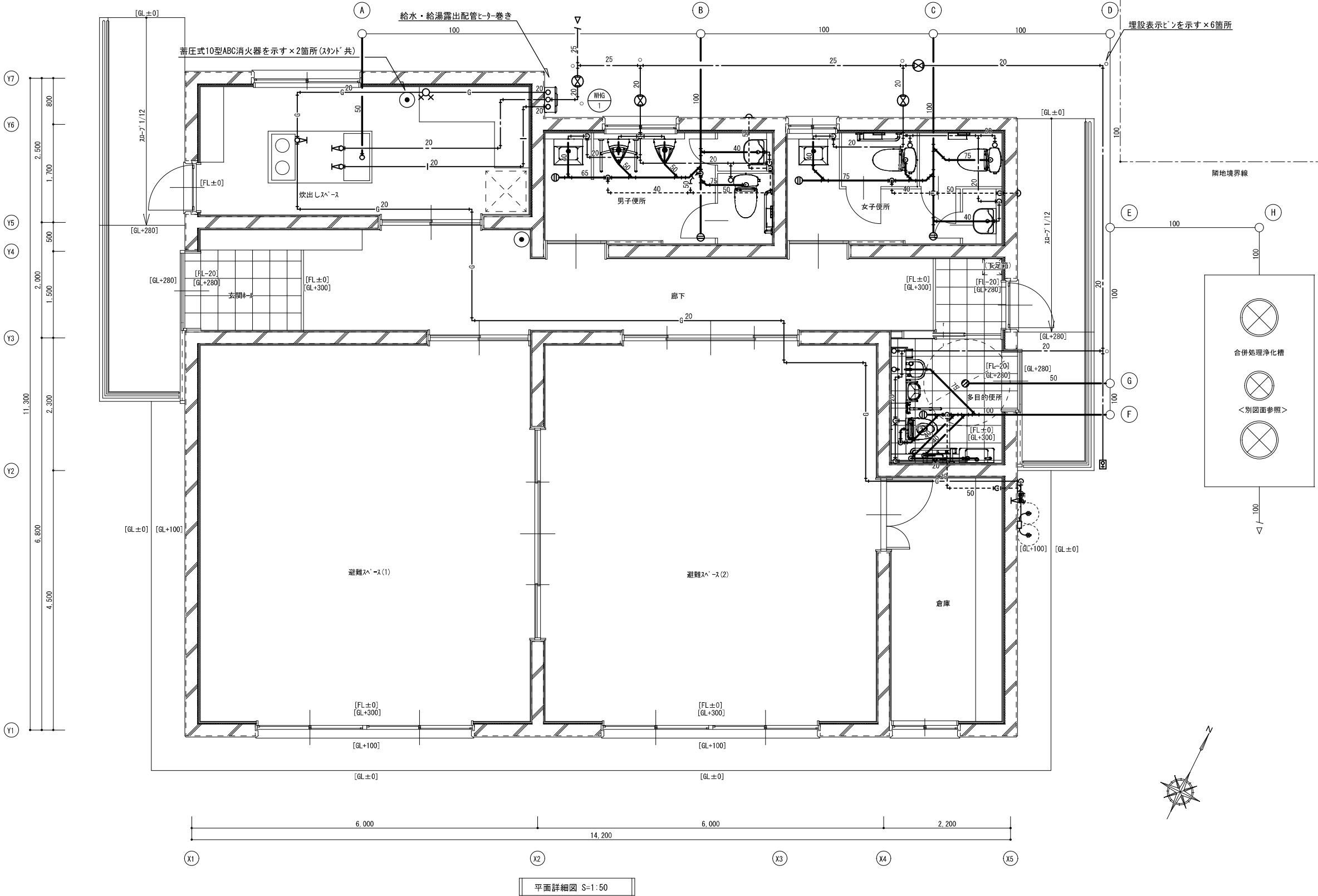
男子便所		
大便器(蓋有り)	CS232B	1
小便器	UFS900R	2
洗面器	LSG722AAPNW	1
マルシンク	SK500	1
鏡	YM4560F	1
紙巻器	YH702	1
L型手すり	T112CL10	1
小便器用手すり	T112CU22	1
床上掃除口	COA65	1
床上掃除口	COA100	1
通気金具	VC-S2 50	1

女子便所		
大便器(蓋有り)	CS232B	2
洗面器	LSG722AAPNW	1
マルシンク	SK500	1
鏡	YM4560F	1
紙巻器	YH702	2
L型手すり	T112CL10	1
床上掃除口	COA80	1
床上掃除口	COA100	1
通気金具	VC-S2 50	1

衛生器具 付属品リスト (品番は参考とし、同等品以上とする)		
コンパクトリフトトイレバック (壁掛/左勝手/汚物流/ベビーフリー・フィッティングボード)	UADBKG61L1C1ADN1WA	TCF5554AUPR YM6090A
大便器(ポタンク)蓋有り 寒冷地仕様(流動方式) 便器洗浄無、乾電池リモコン	CS232B	SH232BF TCF5514
マルシンク	SK500	T200SNR13C TL220D, T6PMR
L型手すり	T112CL10	T110D3R×3
小便器用手すり	T112CU22	T110D3R×4

WHG-1 ガス給湯器 (給湯専用)	
16号屋外壁掛け型 配管カバー リモコン リモコンコード (10m)	1
逆止弁付BAV15A SUS製7レキ15A×300L×2	
可とう管コック15A 可とう管金属7レキ15A×300L	
水撃防止装置15A リモコン配線・取付本工事	

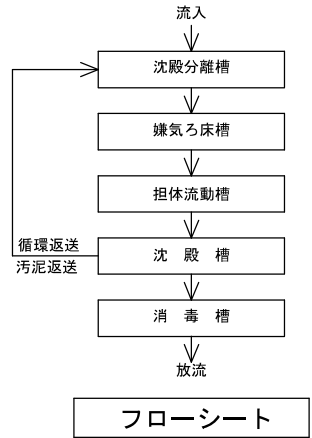
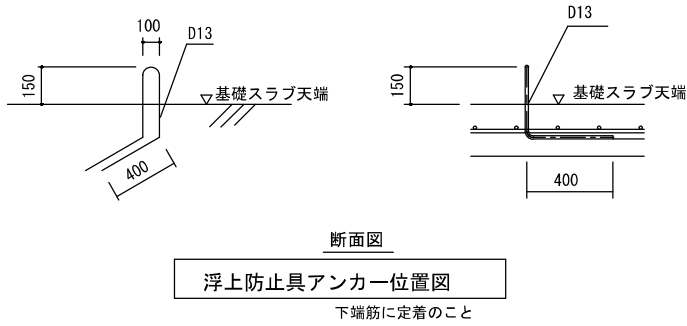
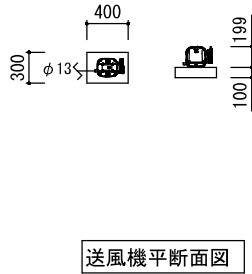
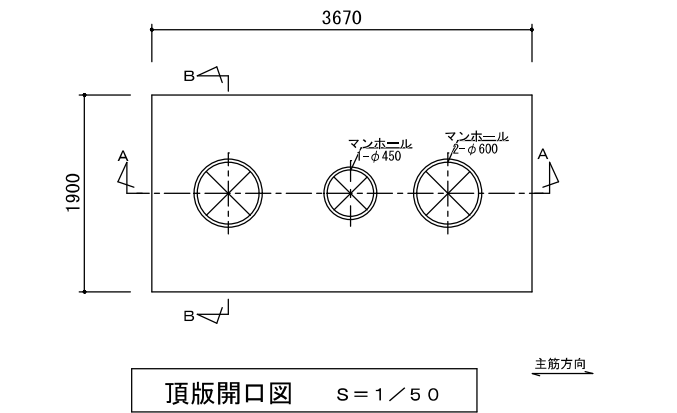
LPG集合装置	
50kg×2本立て 集合装置 GC20A SUS7レキ20A×300L	1
SUS製7レキ×2本 マイコンガスメーターは供給業者貸与	



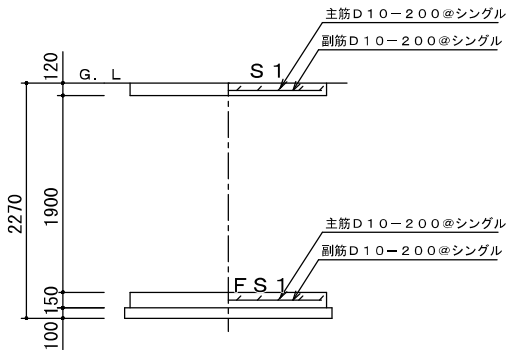
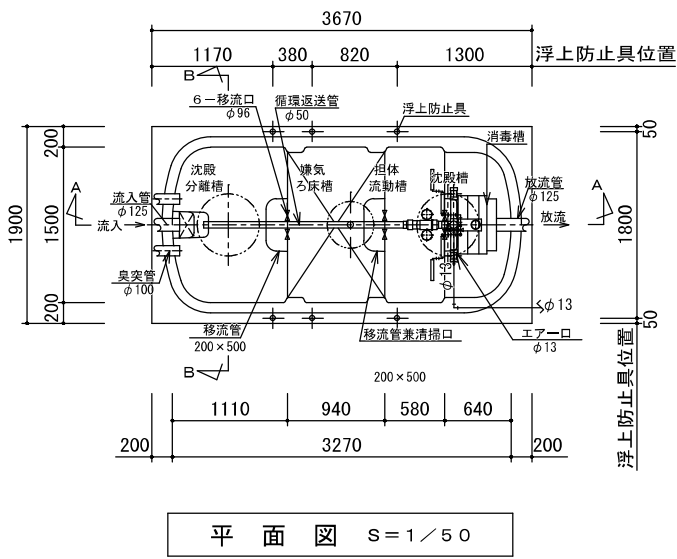
屋外		
甲型止水栓	20A	4
止水栓BOX		4
散水栓	T28KUNH13	1
散水栓BOX		1

※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。
※ 給湯設備 (満水時15kgを超えるもの) が、H24告示1447号に適合している事。

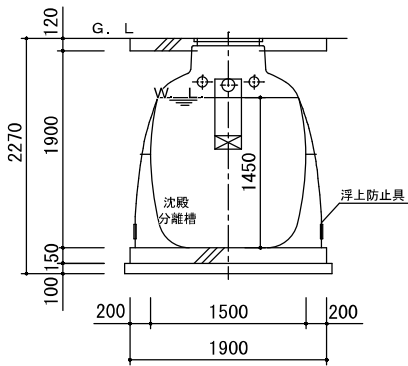
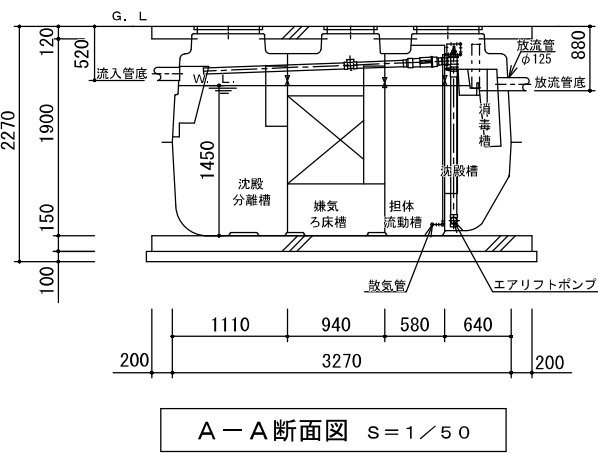
工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4778		高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 衛生平面詳細図		縮 尺 1/50	年 月 日 R7.05	図 面 No. M 〃 05	意匠担当	構造担当	



人槽算定（集会場）
n=0.08A
A：延べ床面積=153.9㎡
n=0.08×153.9㎡=12.312人
上記より、14人槽とする。



仕 様 表	
型式	ダイキ浄化槽 DCX2-14型
認定番号	8-23-H-001-1
処理計画人員	14 人
処理計画汚水量	2.8 m ³ /日
流入水質	BOD 200mg/L
	COD 100mg/L
	SS 160mg/L
	T-N 45mg/L
放流水質	BOD 20mg/L
	COD 30mg/L
	SS 20mg/L
	T-N 20mg/L
処理方式	分離嫌気ろ床担体流動方式
有 効 容 量 m ³	
沈殿分離槽	2.090
嫌気ろ床槽	1.763
担体流動槽	1.233
沈殿槽	0.846
消毒槽	0.037
電気機器仕様	
送風機	100V-単相-0.095KW 1台



注記
スラブ荷重は、T-Oとする。
コンクリート強度：F_c=21N/mm²とする。
開口部補強筋を設けること。
マンホールは、樹脂製とする。
臭突工事は、処理槽工事外とする。
臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。
流入・放流配管は、処理槽工事外とする。
処理槽流入部付近に給水栓を設けること。但し、処理槽工事外とする。
本図は、嵩上げ材H=300mmを設置した図面となります。

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図 名 合併浄化槽図	縮 尺 1/50	年 月 日 R7.05	図 面 No. M — 06	意匠担当	構造担当	

換気機器リスト

消費電力値は近似値で可とする。

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費電力 W	台	
			相	電圧			
			φ	V			
FE-1	天井換気扇 DCモーター	風量100m3/h 静圧15Pa時 弱20m3/h プラスチックタイプ 径100φ	1	100	2.5	1	炊出しスペース
	(24時間換気)	天吊金具 SUS製がり付深形フード100φ 24HRコントロールスイッチ(強弱タイプ)					
FE-2	天井換気扇 DCモーター	風量強140m3/h 静圧30Pa時 プラスチックタイプ 径100φ 天吊金具	1	100	5	2	多目的便所 倉庫
		SUS製がり付深形フード100φ					
FE-3	天井換気扇 DCモーター	風量強270m3/h 静圧25Pa時 弱70m3/h プラスチックタイプ 径150φ	1	100	7	1	避難スペース(1)
	(24時間換気)	天吊金具 SUS製がり付深形フード150φ 24HRコントロールスイッチ(強弱タイプ)					
FE-4	天井換気扇 DCモーター	風量強270m3/h 静圧25Pa時 プラスチックタイプ 径150φ	1	100	7	5	避難スペース(1)
		天吊金具 SUS製がり付深形フード150φ					避難スペース(2)×2
							男子便所 女子便所
FE-5	天井換気扇 DCモーター	風量強300m3/h 静圧30Pa時 金属タイプ 径150φ	1	100	8	2	炊出しスペース×2
		天吊金具 SUS製がり付深形フード150φ					
S-1	給気グリル	樹脂製 フィルター付風量調節全開可能タイプ 径150φ				6	炊出しスペース×2
		SUS製がり付深形フード150φ					避難スペース(1)×2
							避難スペース(2)×2

空調機器リスト

エアコンの消費電力表記は近似値で可とする。

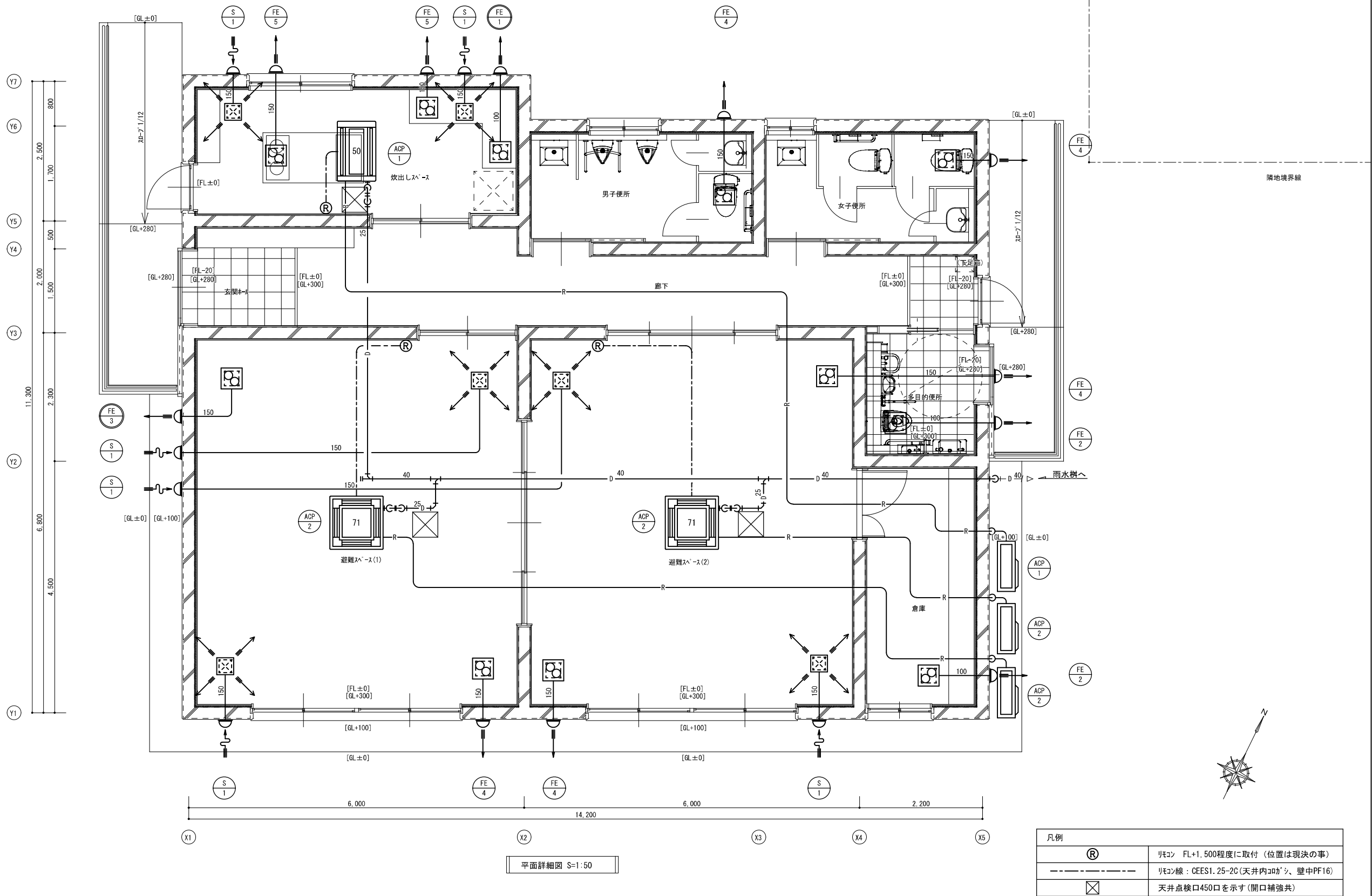
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		定格消費電力 kW	台	備 考
			相	電圧			
			φ	V			
ACP-1	パッケージエアコン	天井設置形2方向 グリーン購入法適合品	1	200	冷房	1	炊出しスペース
		冷房能力：定格5.0kw 暖房能力：定格5.6kw			1.21		
		冷媒配管6.35×12.7 ドレン管25A ワイヤードリモコン			暖房		
		ブロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			1.83		
ACP-2	パッケージエアコン	天井設置形4方向 グリーン購入法適合品	1	200	冷房	2	避難スペース(1)
		冷房能力：定格7.1kw 暖房能力：定格8.0kw			1.74		避難スペース(2)
		冷媒配管9.52×15.88 ドレン管25A ワイヤードリモコン			暖房		
		ブロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			1.83		

24時間換気計算（換気扇は計算による必要排気量以上を確保する事）									
室 名	床面積	平均天井高m	容 積	換 気 種 別	必 要 換 気 回 数	必要排気量	実排気量	実 質 換 気 回 数	適 用 換 気 扇
	m ²		m ³			m ³ /h	m ³ /h		
炊出しスペース	15.00	2.8	42.00	三 種	0.3	12.6	20	0.47	FE-1
避難スペース(1)	40.80	2.8	114.24						
避難スペース(2)	40.80	2.8	114.24						
合計			228.48	三 種	0.3	68.54	70	0.3	FE-3

火気使用室換気計算（炊出しスペース）
調理台グリル付ガスストーブ(10kW)×1台
ガス消費量 ： 10kW
必要換気量 ： V＝40・K・Q＝40×0.93×10＝372m3/h
選定換気量 ： FE-1(100m3/h)×1台＋FE-5(300m3/h)×1台＝400m3/h

火気使用室換気計算（炊出しスペース）
ガス炊飯器予定(5.54kW)×1台
ガス消費量 ： 5.54kW
必要換気量 ： V＝40・K・Q＝40×0.93×5.54＝206.088m3/h
選定換気量 ： FE-5(300m3/h)×1台＝300m3/h

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
	図 名 空調・換気機器リスト	縮 尺 1／NS	年 月 日 R7.05	図 面 No. M — 07	意匠担当		構造担当



※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。

工 事 名 令和7年度 脇ノ山公民館新築工事		(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義		管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明		
図 名 空調・換気平面図		縮 尺 1/50	年 月 日 R7.05	図 面 No. M — 08	意匠担当		構造担当		